

令和8年度 徳山高専学校要覧

College Bulletin 2026

緑あふれる環境の中で、知性を育み、感性を磨く



独立行政法人国立高等専門学校機構

徳山工業高等専門学校

National Institute of Technology, Tokuyama College



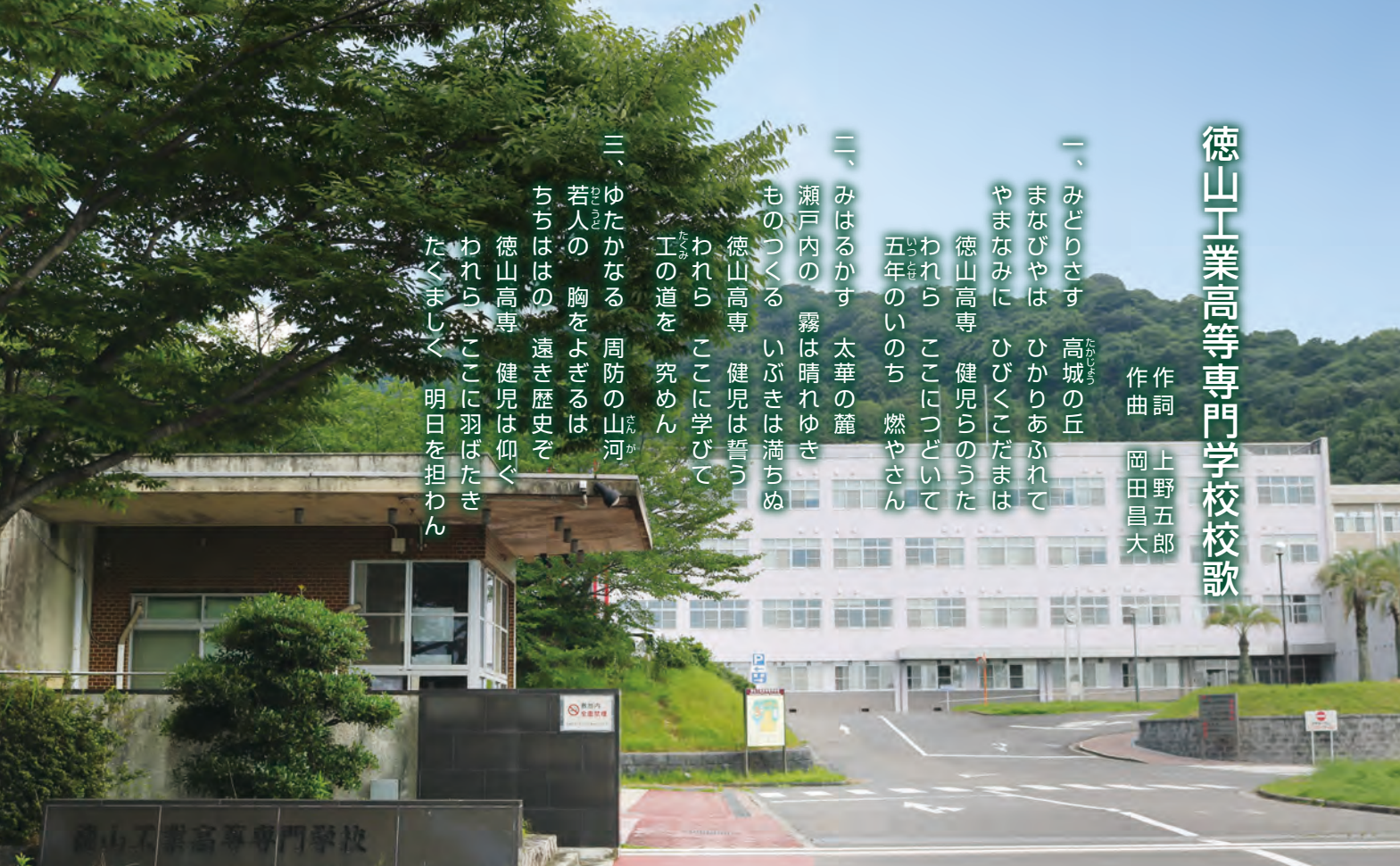
徳山工業高等専門学校校歌

作詞 上野五郎
作曲 岡田昌大

一、みどりさす 高城の丘
まなびやは ひかりあふれて
やまなみに ひびくこだまは
徳山高専 健児らのうた
われら ここにつどいて
五年のいのち 燃やさん

二、みはるかす 太華の麓
瀬戸内の 霧は晴れゆき
ものつくる いぶきは満ちぬ
徳山高専 健児は誓う
われら ここに学びて
工の道を 究めん

三、ゆたかなる 周防の山河
若人の 胸をよぎるは
ちちははの 遠き歴史ぞ
徳山高専 健児は仰ぐ
われら ここに羽ばたき
たくましく 明日を担わん



校章 College Emblem

本校の校章は、学校の所在地山口県徳山市（現在の周南市）の市章を基盤に、高専の文字を配して図案化したものです。翼にのってどこまでも飛躍と向上を求める青年学徒の理想を示しています。



ロゴマーク

建学の理念にある「信頼」をイメージする青を使用し、徳山高専の頭文字「t」と「c」でレイアウトした、堅苦しくなく、ポップで視認性の良いシンボルマークです。



徳山高専
National Institute of Technology,
Tokuyama College

小文字で表した「t」は、徳山高専で培った複合技術と高度なリテラシーを生かして、様々なフィールドで技術的な課題を解決し、新たな価値を創造する人材へ成長し続けていくという意味で、「+」（プラス）マークにも見えるようデザインしました。

学生一人ひとりが、技術者として必要な素養となる、次に表す5つの「c」を意識し、未来に向かって挑戦し、社会のために役立つ人材に成長してほしいという願いが込められています。

- ① Creation「創造」 ② Challenge「挑戦」 ③ Cooperation「協働」
- ④ Communication「コミュニケーション」 ⑤ Critical thinking「批判的思考」

スクールカラー Symbol Color

本校のスクールカラーは、本校校旗の地の色である「深緋色」です。



学科等カラー

平成26年には、各学科等のカラーを制定しました。機械電気工学科は「オレンジ」、情報電子工学科は「青」、土木建築工学科は「イエローグリーン」、一般科目は「珊瑚色」です。



設置学科

【本科】定員120名(修業年限5年)

機械電気工学科
情報電子工学科
土木建築工学科

【専攻科】定員12名(修業年限2年)

機械制御工学専攻
情報電子工学専攻
環境建設工学専攻

卒業者数

機械電気工学科	1,854名(45名)
情報電子工学科	1,881名(508名)
土木建築工学科	1,898名(518名)
合計	5,633名(1,071名)
	()は女子内数

修了者数

機械制御工学専攻	200名(1名)
情報電子工学専攻	172名(22名)
環境建設工学専攻	290名(62名)
合計	662名(90名)
	()は女子内数

令和8年3月31日現在



徳山高専マスコットキャラクター
阜徳巧命(ツカサナルタクミノミコト)

目次

Table of Contents

校長挨拶	Message from the President	2
建学の理念	The Founding Ideal of Tokuyama College	3
沿革	History	4
学校組織	College Organization	5
1) 学科及び学生定員	Departments and Quota	5
2) 専攻科及び学生定員	Advanced Course and Quota	5
3) 教職員現員	Present Number of Staff	5
4) 役職者名	Administrative Staff	5
5) 組織図	Organization Chart	6
6) 各種委員会	Committees	6
教育体制	Educational System	7
育成しようとする技術者像	Our Vision of the "Ideal Engineer" at Tokuyama College	8
各学科/専攻で修得する技術	Technological Skills the Students Are Required to Master	9
学習・教育目標	Educational Goal	10
具体的到達目標	Concrete Goals for the Students to Achieve	11
三つのポリシー	Policy	12
教育プログラム	Engineering Education Program	16
機械電気工学科	Dept.of Mechanical and Electrical Engineering	17
情報電子工学科	Dept.of Computer Science and Electronic Engineering	21
土木建築工学科	Dept.of Civil Engineering and Architecture	25
一般科目	Liberal Arts Division	29
専攻科	Advanced Courses	31
機械制御工学専攻	Mechanical and Control Engineering Course	34
情報電子工学専攻	Computer Science and Electronic Engineering Course	35
環境建設工学専攻	Environmental and Civil Engineering Course	36
図書館	Library	37
実習工場・起業家工房	Workshop・Creation Room	37
情報処理センター	Information Processing Center	38
テクノ・リフレッシュ教育センター	Center for Collaborative Research and Education	39
教育研究支援センター	Support Center for Education and Research	40
学生相談室	Student Counseling Office	40
キャリア教育・学習支援室	Career and Learning Support Office	40
教育改善IR室	Institutional Research for Educational Improvement Office	40
教員のFD/SD活動	Faculty Development / Staff Development	41
教員の研究活動	Research Activities	42
1) 科学研究費助成事業応募状況	Number of Applicants Scientific Research	42
2) 科学研究費助成事業採択状況	Grant-in-Aid for Scientific Research	42
3) 寄附金受入状況	The Amount of Donations Received	42
4) 共同研究受入状況	Joint Research with Private Enterprises	42
社会との連携	Cooperation with Society	43
1) 徳山高専テクノ・アカデミア事業	What the Techno Academia Has Done with or for Local Companies	43
2) 公開講座等	Extension Courses	43
3) 夏休みジュニア科学教室	Science Courses Offered for Children during Summer Vacation	44
4) 地域からの依頼による開設講座等	Science and Engineering Classes Offered for the Local Communities	44
5) 公的な機関からの依頼による各種委員会等	Committee Member Posts Appointed by Public Organizations	45
学生	Students Statistics / Financial Information	46
1) 学科定員及び現員	Quota and Enrollment in Departments	46
2) 専攻科定員及び現員	Quota and Enrollment in Advanced Course	46
3) 学科別入学志願者状況	Number of Applicants in Departments	46
4) 専攻科別入学志願者状況	Number of Applicants in Advanced Course	46
5) 本科出身地別在学生数	Classification of Student Hometown	47
6) 修学経費	Tuition Fee	47
7) 高等学校等就学支援金制度	High school Tuition Support Fund System	47
8) 奨学制度	Student Financial Services	47
9) 授業料減免制度	Reduction of the Tuition Fee System	47
外部からの学生の受け入れ	Acceptance of Foreign Students and Transferees	48
1) 外国人留学生及び編入学生	Foreign Students and Transferees	48
2) 編入学生志願者状況	Number of Applicants of Transfer	48
3) 研究生及び聴講生制度	Research Students and Auditors	48
国際交流	International Exchange	49
学寮	Dormitory	50
学生会	Student Council	51
学校行事	College Calendar	51
就職・進学状況	Employment and Entering to Universities	52
1) 求人及び進路状況	Job offers and Classification of Graduates	52
2) 就職先	Employment	52
3) 進学(編入学)状況	Entrance to Universities	52
4) 職種・就職先地域	Job Classification and The Area of the Employment	53
キャンパスマップ	Campus Map	54
学校所在地	Location Map	55
周南市の紹介	Guide to Shunan City	55

校長 阿部 恵

President Megumi Abe, Ph.D



徳山工業高等専門学校は、次代を切り拓く技術者の育成を担う教育機関として、我が国の高度経済成長と工業化に伴う社会の強い要望のもと、1974年に周南市（当時、徳山市）に高等教育機関として設立されました。以来、地域とともに歩みながら、多くの優れた技術者を社会に送り出してまいりました。

本校は、「技術を愛する人、信頼される人」の理念のもと、中学校卒業後に入学する5年一貫教育の本科と、その上に設置された2年制の専攻科からなる教育体制を整えています。本科は、機械電気工学科、情報電子工学科、土木建築工学科の3学科から構成され、各学科において複数の専門分野を組み合わせた特色ある教育を行っています。さらに専攻科では、より高度で実践的な専門知識と技術の修得が可能です。

本校では、多くの技術分野で不可欠となっている「情報技術」を基盤とし、創立以来の特色である「複合技術」と融合させることで、社会の変化に対応できる実践的技術者の育成を目指しています。「世界に通用する実践力のある開発型技術者の育成」を教育目標に掲げ、講義や演習に加え、実験・実習や課題発見・解決型の学びを通じて、7つの能力、すなわち、①基本的能力（工学の基礎知識・スキル）、②専門的能力（複合分野の専門知識・スキル）、③汎用的技能（課題発見・解決、コミュニケーションスキルなど）、④人間力（自己管理能力、責任感、チームワークなど）、⑤創造的思考力（知識・スキルを活用・統合し創成する能力）、⑥異文化対応力、⑦倫理的判断力といった総合的な力を育てています。

また、グローバル社会で活躍できる人材の育成にも力をいれており、海外派遣や留学の機会を積極的に提供するとともに、海外協定校からの学生受入れも推進しています。さらに、地域・自治体・企業との連携によるインターンシップや共同活動を通じて、実社会とつながる学びを展開し、技術力と人間力の双方を高めています。

加えて、本校の学生は学内外で主体的に活動しており、学生会活動やボランティア、地域連携事業などを通じて、社会との関わりの中で責任感や協働性を育てています。その成果は各種コンテストや競技会にも表れており、プログラミングコンテストやデザインコンペティション、スポーツ大会など多様な分野で優れた実績を取っています。さらに、国際プログラミングコンテストへの出場・受賞など、活躍の場は世界へと広がっています。

現在、世界は先行きが不透明で変化の激しい時代にあります。このような時代において求められるのは、確かな専門性に加え、多様な価値観を理解し、他者と協働しながら新しい価値を創造できる人材です。本校は、学生一人ひとりが技術と人間性を兼ね備え、社会に信頼される技術者として主体的に行動できるよう、教育の充実に努めてまいります。



技術を愛する人物、人々から信頼される人物を育み、
広く社会の安全と人々の幸福に寄与する

To foster “individuals who will be able to not only pursue technology but also gain the trust of others”, and to contribute to a more stable society and universal happiness.

徳山高専は、創設時に初代校長城温三先生が示された「技術を愛する人物、信頼される人物」の育成を教育の目標としてきた。以来、本校は全人教育の上に立った創造的技術者の育成を目指し、広く社会のために役立つ有為な人材を送り出すよう努力を重ねてきた。創設40周年を迎えた平成26年3月、本校はこの受け継がれてきた精神を「技術を愛する人物、人々から信頼される人物を育み、広く社会の安全と人々の幸福に寄与する」と表記し、建学の理念として定めた。

(題字は、さかもときょうえん坂本 杏 苑氏の書による)

The educational purpose of Tokuyama College is to foster “individuals who will be able to not only pursue technology but also gain the trust of others”, which was advocated by the first president of Tokuyama College, Onzo Jyo .

In order to realize this educational purpose, we have made every effort to nurture creative engineers, launching promising graduates into society.

To mark the 40th anniversary of the founding of the school in March 2014, the following ideal was established: “We seek to foster individuals who will be able to not only pursue technology but also gain the trust of others, and contribute to a more stable society and universal happiness”.

(masthead written by Kyoen Sakamoto)

徳山工業高等専門学校は、時代の強い要望により、昭和49年6月に設立された国立工業高専です。学科は、機械電気工学科、情報電子工学科、土木建築工学科の3学科と専攻科は機械制御工学専攻、情報電子工学専攻、環境建設工学専攻の3専攻より成り、それぞれの境界領域を含めた専門分野において基礎理論の習熟とともに実験実習に重点をおいた教育を行い、総合判断力に優れた実践力のある開発型技術者の育成をめざしています。

National Institute of Technology, Tokuyama College was founded in 1974. It consists of three departments - Mechanical and Electrical Engineering, Computer Science and Electronic Engineering, Civil Engineering and Architecture and three advanced courses-Mechanical and Control Engineering Course, Computer Science and Electronic Engineering Course, Environmental and Civil Engineering Course.

In 1995 advanced courses were added to meet today's demand in research and development.

昭和48年12月29日	徳山工業高等専門学校（機械電気工学科、情報電子工学科、土木建築工学科各40名）創設が閣議決定
昭和49年5月8日	仮校舎を旧富岡小学校跡（旧徳山市大字下上）、仮寄宿舎を旧加見小学校跡（旧徳山市大字上村）に開設
6月7日	国立学校設置法の一部改正公布に伴い開校決定。初代校長 城温三（前山口大学工学部教授）就任
6月15日	第1回入学式挙行
昭和50年3月28日	第1期工事竣工
4月1日	学校所在地（旧徳山市久米高城3538）に移転
昭和51年3月27日	第2期工事竣工
昭和52年3月31日	陸上競技場、野球場が竣工
4月1日	事務に部制がしかれ、3課（庶務課、会計課、学生課）を設置
昭和57年3月31日	福利厚生施設、柔道場が竣工
昭和58年3月30日	第2体育館、合宿研修施設が竣工
4月8日	研究生の受け入れを開始
昭和60年4月8日	編入学生の受け入れを開始
昭和61年4月8日	聴講生の受け入れを開始
昭和62年4月1日	外国人留学生の受け入れを開始
4月10日	1、2年の混合学級の制度を開始
平成3年3月12日	男子寄宿舎の一部を改修、女子寄宿舎を設置
10月1日	地域協力開発センター発足
平成4年4月1日	学校週5日制を開始
平成6年3月25日	男子寄宿舎の一部を改修、女子寄宿舎を増設
4月7日	地域協力開発センターに代わり、テクノ・リフレッシュ教育センター発足
11月4日	テクノ・リフレッシュ教育センター竣工
平成7年4月1日	専攻科（機械制御工学専攻、情報電子工学専攻、環境建設工学専攻各4名）設置
平成9年3月28日	専攻科棟竣工
12月6日	徳山高専テクノ・アカデミア発足
平成11年7月31日	視聴覚棟（メディアホール）竣工
平成16年4月1日	独立行政法人国立高等専門学校機構として発足
5月10日	日本技術者教育認定機構（JABEE）から、「設計情報工学」プログラムが工学（融合複合・新領域）関連分野に認定
6月19日	創立30周年記念式典挙行
平成18年10月2日	住所表示が「周南市学園台」に変更
平成19年3月28日	大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価に認定
4月1日	事務部が、2課制（総務課、学生課）に再編成
12月1日	徳山高専テクノ・アカデミア創立10周年記念行事挙行
平成21年4月5日	2年生混合学級廃止
4月23日	日本技術者教育認定機構（JABEE）「設計情報工学」プログラムの認定が継続
平成24年4月27日	日本技術者教育認定機構（JABEE）「設計情報工学」プログラムの認定が継続
平成25年3月27日	大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定が継続
平成26年9月26日	創立40周年記念式典挙行
平成27年3月9日	日本技術者教育認定機構（JABEE）「設計情報工学」プログラムの認定が継続
4月1日	大学評価・学位授与機構による専攻科の学士の学位の授与に係る特例の適用が認定
令和2年3月24日	大学改革支援・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定が継続
令和4年3月3日	日本技術者教育認定機構（JABEE）「設計情報工学」プログラムの認定が継続
令和5年10月10日	テクノ・リフレッシュ教育センター地階に起業家工房を設置
令和6年9月20日	創立50周年記念式典挙行
令和8年3月26日	大学改革支援・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定が継続

学校組織

College Organization

(1) 学科及び学生定員 Departments and Quota

学科名 Department	入学定員 Quota	学生定員 Total
機械電気工学科 Department of Mechanical and Electrical Engineering	40	200
情報電子工学科 Department of Computer Science and Electronic Engineering	40	200
土木建築工学科 Department of Civil Engineering and Architecture	40	200
計 Total	120	600

(2) 専攻科及び学生定員 Advanced Course and Quota

専攻名 Course	入学定員 Quota	学生定員 Total
機械制御工学専攻 Mechanical and Control Engineering Course	4	8
情報電子工学専攻 Computer Science and Electronic Engineering Course	4	8
環境建設工学専攻 Environmental and Civil Engineering Course	4	8
計 Total	12	24

(3) 教職員現員 Present Number of Staff

令和8年4月1日現在
As of April.1 2026

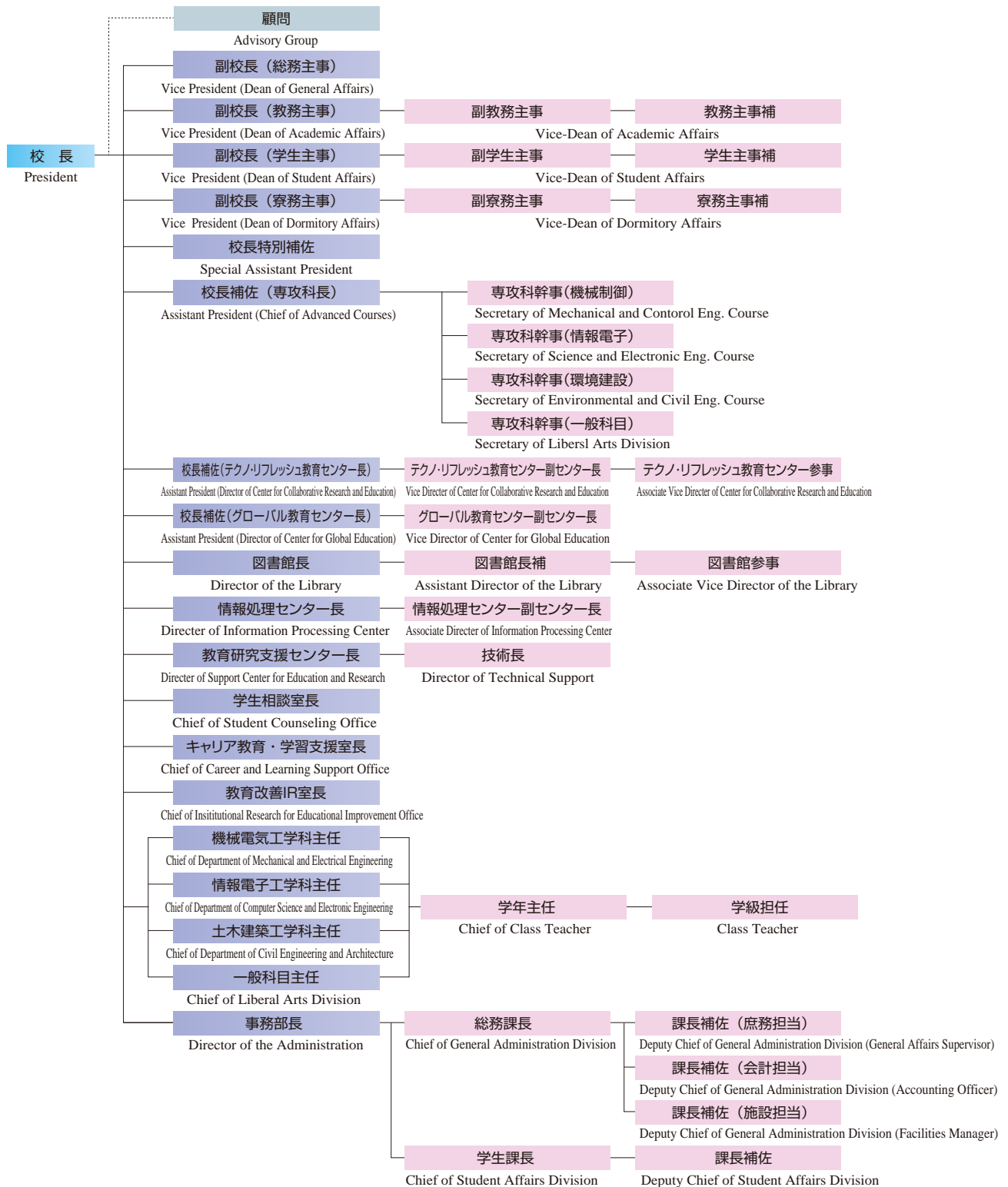
区分 Classification	教育職員 Academic Staff								技術職員 Technical Staff	事務職員 Administrative Staff	合計 Total
	校長 President	教授 Professor	嘱託教授 Professor on a short-term contact	特命教授 A Specially Appointed Professor	准教授 Associate Professor	嘱託准教授 Associate Professor on a short-term contract	講師 Lecture	助教 Assistant Professor			
現員 Present Number	1	16	1	2	25	1	2	6	9	49	112

(4) 役職者名 Administrative Staff

令和8年4月1日現在
As of April.1 2026

校長 President 阿部 恵 ABE, Megumi	教育研究支援センター長 Director of Support Center for Education and Research 倉増 泰弘 KURAMASHI, Yasuhiro
副校長(総務主事) Vice President (Dean of General Affairs) 倉増 泰弘 KURAMASHI, Yasuhiro	学生相談室長 Chief of Student Counseling Office 桑嶋 啓治 KUWAJIMA, Keiji
副校長(教務主事) Vice President (Dean of Academic Affairs) 室谷 英彰 MUROTANI, Hideaki	キャリア教育・学習支援室長 Chief of Career and Learning Support Office 宮崎 亮一 MIYAZAKI, Ryoichi
副校長(学生主事) Vice President (Dean of Student Affairs) 浦上 美佐子 URAKAMI, Misako	教育改善IR室長 Chief of Institutional Research for Educational Improvement Office 菊地 右馬 KIKUCHI, Yuma
副校長(寮務主事) Vice President (Dean of Dormitory Affairs) 福田 明 FUKUDA, Akira	機械電気工学科主任 Chief of Department of Mechanical and Electrical Eng. 張間 貴史 HARIMA, Takashi
校長特別補佐 Special Assistant President 西村 太志 NISHIMURA, Futoshi	情報電子工学科主任 Chief of Department of Computer Science and Electronic Eng. 新田 貴之 NITTA, Takayuki
校長補佐(専攻科長) Assistant President (Chief of Advanced Courses) 島袋 淳 SHIMABUKURO, Atsushi	土木建築工学科主任 Chief of Department of Civil Eng. and Architecture 海田 辰将 KAITA, Tatsumasa
校長補佐(テカ/リフレッシュ教育センター長) Assistant President (Director of Center for Collaborative Research and Education) 海田 辰将 KAITA, Tatsumasa	一般科目主任 Chief of Liberal Arts Division 菊地 右馬 KIKUCHI, Yuma
校長補佐(グローバル教育センター長) Assistant President (Director of Center for Global Education) 上田 真梨子 UEDA, Mariko	事務部長 Director of the Administration 村重 清司 MURASHIGE, Kiyoshi
図書館長 Director of the Library 奥山 広規 OKUYAMA, Hiroki	総務課長 Chief of General Administration Division 熊崎 大樹 KUMASAKI, Hiroki
情報処理センター長 Director of Information Processing Center 新田 貴之 NITTA, Takayuki	学生課長 Chief of Student Affairs Division 桂 仁 KATSURA, Jin

(5) 組織図 Organization Chart



(6) 各種委員会 Committees

運営審議会	Steering Council	学生支援委員会	Student Services Committee
運営会議	Steering Committee	いじめ対策委員会	Bullying Measures Committee
自己評価委員会	Self-Evaluation Committee	ヒト医学系研究倫理委員会	Moral Committee of Human Medical Research
人事委員会	Personnel Committee	施設マネジメント委員会	Facilities Management Committee
予算委員会	Budget Committee	知的財産委員会	Intellectual Property Committee
リスク管理室	Risk Management Committee	情報セキュリティ管理委員会	Information Security Management Committee
教務委員会	Academic Affairs Committee	情報セキュリティ推進委員会	Information Security Promotion Committee
専攻科委員会	Advanced Course Committee	安全衛生委員会	School Safety and Hygiene Committee
入学試験委員会	Admissions Committee	ハラスメント防止委員会	Harassment Prevention Committee
学生委員会	Student Affairs Committee	男女共同参画推進室	Committee for Promotion of Gender Equality
学寮運営委員会	Dormitory Affairs Committee	学校等輸出管理委員会	Export Management Committee

教育体制

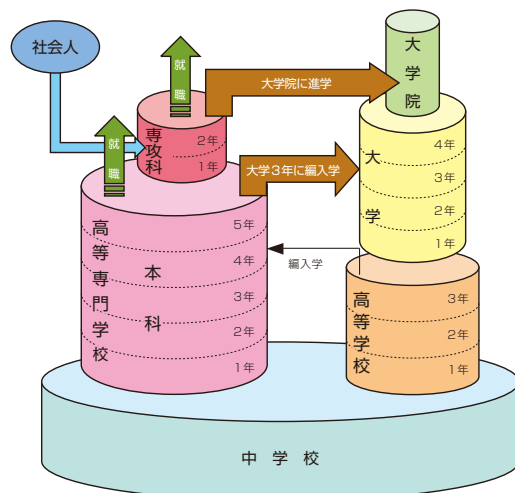
Educational System

我が国の教育体系は大きく二つに分かれています。一つは高校から大学へと続くものであり、他の一つは高専本科から専攻科へと続くものです。本科は5年間の教育課程で、卒業者は「準学士」と称することが認められます。専攻科は2年間の教育課程で、専攻科修了者は一定の要件を満たせば「学士」の学位を得ることができます。

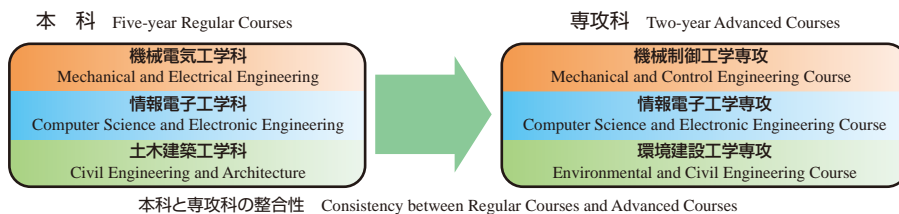
There are mainly two educational courses to take in Japan. One is a tier of a three-year high school followed by a four-year college. The other is a tier of a five-year national institute of technology continued with two-year advanced course. When you have completed the five-year regular course here at National Institute of Technology, Tokuyama College, you will be able to earn the title of Associate. Also, when you have finished the two-year advanced course here, you will be able to get a bachelor's degree.

本校は本科に3学科、専攻科に3専攻を設置しており、それぞれ1対1に対応しています。そのため、本科における複合教育を専攻科においても継続して行うことができ、日本における複合教育のパイオニア的役割を、引き続き果たしています。

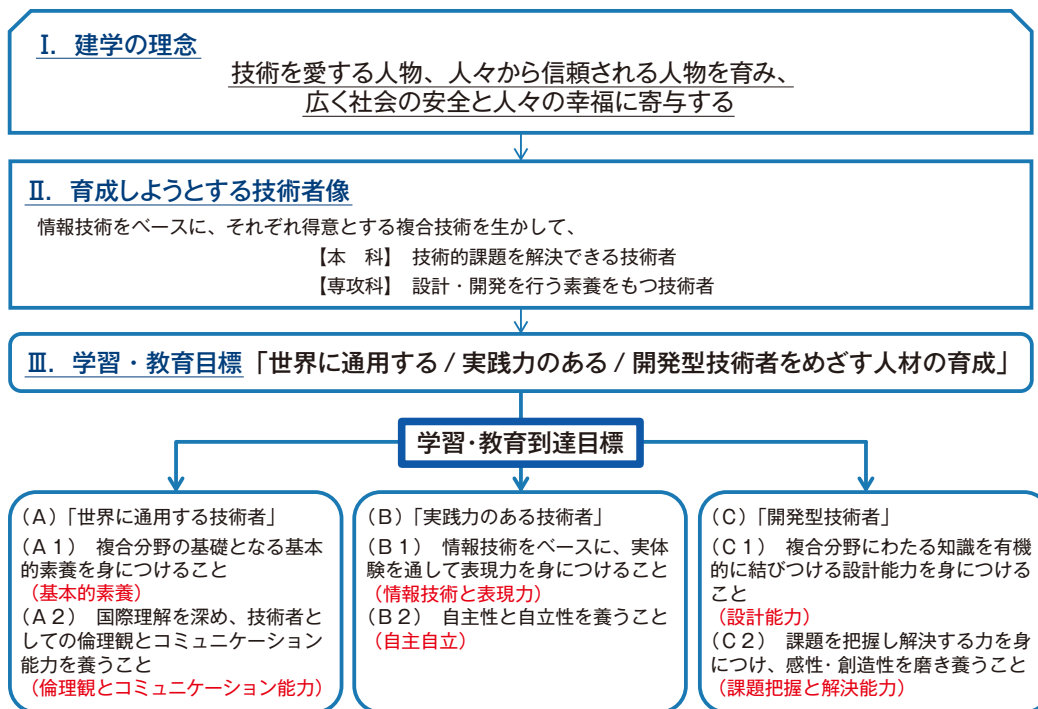
Our college has three five-year regular courses and each regular course is followed by its corresponding two-year advanced course. This educational system makes it possible to continue providing consistent interdisciplinary engineering education for the advanced course students. Thus, our college is playing a leading role in interdisciplinary education in Japan.



日本の教育システム Japanese Educational Systems



徳山高専の教育理念 (建学の理念から学習・教育目標まで)



育成しようとする技術者像

Our Vision of the “Ideal Engineer” at Tokuyama College

本校では、建学の理念に基づき、次のような技術者を育てようとしています。

We seek to foster engineers upon our founding ideals:

【本科】

情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、技術的課題を解決できる技術者

To bring up engineers with technological problems solving skills capable of utilizing interdisciplinary technologies based upon information technology.

【専攻科】

情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、設計・開発を行う素養をもつ技術者

To nurture engineers capable of conducting research and development with interdisciplinary technologies based upon information technology.

これは、卒業生の活躍分野が、業種・職種ともに多岐にわたっていることから、多くの技術分野で必須である「情報技術」をベースとし、それに、本校開校以来の伝統である「複合技術」を活用して活躍する技術者を想定しています。

ただし、本科と専攻科では修業年限が異なりますので、めざす技術者像は自ずと異なってきます。しかし、それらはいずれも社会の要請に応えるものでなくてはなりません。そこで本科では、発見した「技術的課題を解決できる技術者」を、専攻科ではそこから新たなものを「設計・開発できる技術者」を育てようとしています。

Tokuyama College offers professional qualifications based on information technology for a variety of occupations and industries. Since its founding we have aimed at fostering engineers capable of utilizing interdisciplinary technologies.

There are two courses available – Regular Course and Advanced Course. Each course has its own vision. But essentially both courses must meet society’s high expectations. For this reason, we nurture engineers with skills for solving technological problems at the level in the Regular Course, and produce engineers capable of conducting research and development in the Advance Course.



各学科／専攻で修得する技術

Technological Skills the Students Are Required to Master

本校は本科と専攻科が1対1に対応しているため、学科／専攻を通して修得する技術を定めています。また、本科卒業生と専攻科修了生のめざす技術者像も踏まえ、各学科と専攻で修得する技術を明確にしました。

Our college has three five-year regular courses and each regular course is followed by its corresponding two-year advanced course. The technological skills that the regular and advanced course students are required to master in common have already been shown, in addition, on the basis of the images of a desirable engineer that our college aims to send out into society, we have specified the following as technological skills that the regular and advanced course students are required to master respectively.



Technologies of mechatronics engineering

機械電気工学科

「データ・情報・通信技術を活用し、持続可能な社会を実現する機械システムを設計製作する技術」

Technological skills to design and produce mechanical systems that contribute to a sustainable society through the application of data science and ICT

機械制御工学専攻

「データ・情報・通信技術を活用し、持続可能な社会を実現する機械システムを設計開発する技術」

Technological skills to design and develop mechanical systems that contribute to a sustainable society through the application of data science and ICT

情報電子工学科

「コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを設計・構築する技術」

Technological skills to design and build computer-based electronic telecommunications systems

情報電子工学専攻

「コンピュータを核とする多様なシステムを設計・開発する技術」

Technological skills to design and develop various computer-based systems



Technologies of computer science and electronic engineering



Technologies of environmental and civil engineering

土木建築工学科

「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・施工する技術」

IT-based skills to design and construct infrastructure and architectural space

環境建設工学専攻

「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・開発する技術」

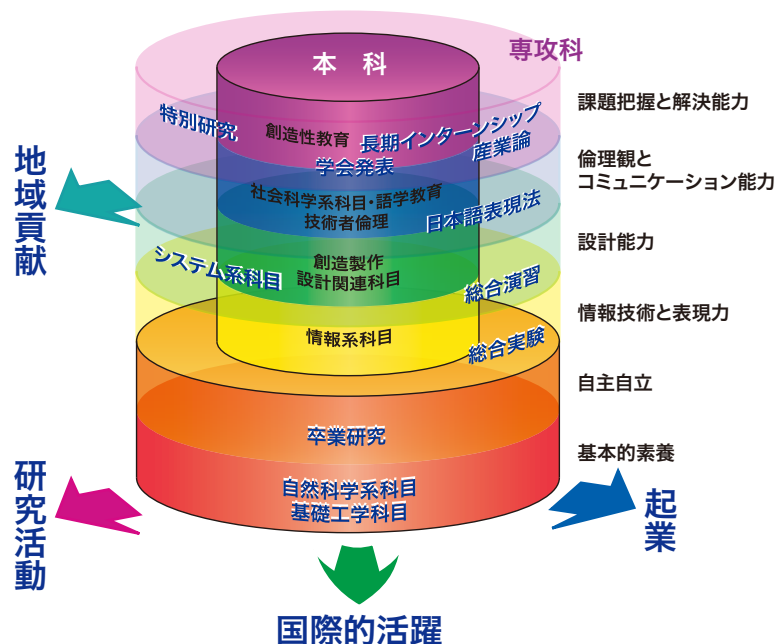
IT-based skills to design and develop infrastructure and architectural space

学習・教育目標

Educational Goal

世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成

To educate the students to be future engineers with a world-class competitive edge, practical skills, and competence in research and development.



徳山高専は、「世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成」を、平成5年度から学習・教育目標として掲げてきました。平成14年度にはその内容をさらに具体化し、次に示す6つの学習・教育到達目標にまとめました。左のイラストは、そのイメージをまとめたものです。

National Institute of Technology, Tokuyama College has put “to educate the students to be future engineers with a world-class competitive edge, practical skills, and competence in research and development” forward as its educational goal since 1993. Based on the educational goal, our college set the following six concrete goals in 2002. The chart on the left illustrates how these goals are pursued in our college.

- (A) 「世界に通用する」技術者をめざすために
 - (A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること（基本的素養）
 - (A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと（倫理観とコミュニケーション能力）
 - (B) 「実践力のある」技術者をめざすために
 - (B1) 情報技術をベースに、実体験を通して表現力を身につけること（情報技術と表現力）
 - (B2) 自主性と自立性を養うこと（自主自立）
 - (C) 「開発型」技術者をめざすために
 - (C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること（設計能力）
 - (C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと（課題把握と解決能力）
- (A) In order to educate our students to be future engineers with a world-class competitive edge, we get them
- (A1) to acquire basic knowledge to apply to interdisciplinary fields, and
 - (A2) to deepen their global understanding, cultivate their ethics for engineers, and improve their communicative ability.
- (B) In order to educate our students to be future engineers with practical skills, we get them
- (B1) to be able to utilize information technology and improve their presentation ability through practice and internship programs, and
 - (B2) to be independent.
- (C) In order to educate our students to be future engineers with competence in research and development, we get them
- (C1) to improve the ability to combine and organize their knowledge of various fields, and
 - (C2) to be able to analyze, address and solve problems and polish their sensibility and creativity.

具体的到達目標

Concrete Goals for the Students to Achieve

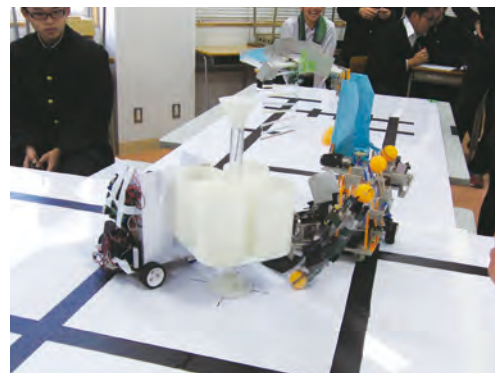
本科卒業生と専攻科修了生のめざす到達目標を、学習・教育目標に沿って、より具体的に定めました。この具体的目標は、本科課程（準学士課程）と専攻科課程を終えるとき、全員が到達する内容を示しています。

In line with our educational goal, our college has set more specific goals for regular and advanced courses respectively. All the students are supposed to achieve the following goals when they have completed their regular and advanced courses.

準学士課程卒業時

When You Have Completed the Regular Course

- (A) 「世界に通用する」技術者をめざすために
 - (A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること
 - ・ 数学・自然科学・基礎工学の科目を修得する
 - (A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと
 - ・ 国際文化・技術者倫理・日本語・外国語の科目を修得する
 - ・ 自らの目標を定め、外部試験を活用して、英語力のステップアップを図る
- (B) 「実践力のある」技術者をめざすために
 - (B1) 情報技術をベースに、実体験を通して表現力を身につけること
 - ・ 情報関連・実験の科目を修得する
 - (B2) 自主性と自立性を養うこと
 - ・ 卒業研究の科目を修得する
- (C) 「開発型」技術者をめざすために
 - (C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること
 - ・ メカトロ技術・情報電子技術・社会環境整備技術のうち、ひとつの分野の定められた科目を修得する
 - (C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと
 - ・ 創造系の科目を修得する
 - ・ 創造演習発表会、卒業研究発表会などで発表を行う



専攻科課程修了時

When You Have Completed the Advanced Course

- (A) 「世界に通用する」技術者をめざすために
 - (A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること
 - ・ 数学・自然科学・基礎工学の科目を修得する
 - (A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと
 - ・ 国際文化・技術者倫理・日本語・外国語の科目を修得する
- (B) 「実践力のある」技術者をめざすために
 - (B1) 情報技術をベースに、実体験を通して表現力を身につけること
 - ・ 情報技術・実験、及び総合実験の科目を修得する
 - (B2) 自主性と自立性を養うこと
 - ・ 卒業研究の科目を修得する
- (C) 「開発型」技術者をめざすために
 - (C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること
 - ・ メカトロ技術・情報電子技術・社会環境整備技術のうち、ひとつの分野の定められた科目を修得する
 - ・ 総合科目（2科目以上）・問題発見解決科目、及び総合演習の科目を修得する
 - (C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと
 - ・ インターンシップ及び特別研究の科目を修得する
 - ・ 国内外の学協会で発表を行う



三つのポリシー

Policy

本科

ディプロマポリシー（卒業認定の基本方針）

本科では、「情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、技術的課題を解決できる技術者」を育成するため、所定の年限在籍し、以下に示す能力・技能に加え、複合分野にわたる知識を有機的に結びつける能力を備え、各学科が規定する単位を修得したものに卒業を認定します。

- | | |
|----------------|---|
| 1. 基本的能力 | 技術的課題の解決に必要な数学、自然科学、人文・社会科学の知識・能力を修得している。 |
| 2. 専門的能力 | 各学科の専門分野及び複合分野にわたる知識・能力を修得している。 |
| 3. 汎用的技能 | 技術的課題を解決する技術者として必要なコミュニケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、課題発見、論理的思考などの技能を身に付けている。 |
| 4. 態度・志向性（人間力） | 技術的課題を解決する技術者として必要な主体性、自己管理能力、責任感、チームワーク力、リーダーシップ、未来志向型キャリアデザインなどの能力を身に付けている。 |
| 5. 創造的思考力 | 技術的課題を解決する技術者として必要な創成能力やエンジニアリングデザイン能力などの思考力を修得している。 |
| 6. 異文化対応力 | 技術的課題を解決する技術者としてグローバルな視点で異文化に対応するための教養・感性を修得している。 |
| 7. 倫理的判断力 | 技術的課題を解決する技術者として公衆の安全、健康、福利を優先して自らの技術を倫理的に活用するための知識・能力を修得している。 |

カリキュラムポリシー（教育課程編成および実施の基本方針）

本科では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を育成するために、以下に示す科目群を用意しており、具体的な科目群をまとめると次のようになります。

<機械電気工学科>

1. 基本的能力
豊かな教養を身につけることを目的として人文・社会科学、芸術などに関する科目を用意しています。また、工学の専門知識や技術の修得に必要な学問的基礎を学ぶことを目的として、数学、自然科学などに関する科目群を教育課程に用意しています。
2. 専門的能力
材料力学、水力学、熱力学、機械力学などの機械工学および電気回路、電子回路、電磁気学などの電気・電子工学の科目群、工学実験、工作実習、設計製図などの実技科目群を用意しています。
3. 汎用的技能
創造演習・創造製作、卒業研究、学科学年縦横断型の活動などの、汎用的技能を身につけるための実技科目群や活動を用意しています。
4. 態度・志向性（人間力）
創造演習・創造製作、卒業研究、体育などととも、学科学年縦横断型の活動、キャリア教育支援プログラム、課外活動など、態度・志向性（人間力）を育成するための科目群や学生の自発的参加型の活動を用意しています。
5. 創造的思考力
創造演習・創造製作、卒業研究、学科学年縦横断型の活動などの、創造的思考力を育成するための課題解決能力・開発力の育成に関する科目群や活動を用意しています。
6. 異文化対応力
技術者としての異文化対応能力を身につけることを目的として、英語、中国語、ドイツ語などの外国語科目や国内研修・海外研修・語学研修プログラムを用意しています。
7. 倫理的判断力
技術者としてグローバルな視点で自らの技術を公衆の安全、健康、福利を優先して活用するための倫理観を身につけることを目的として倫理、哲学、技術者倫理などの科目を用意しています。

<情報電子工学科>

1. 基本的能力
豊かな教養を身につけることを目的として人文・社会科学、芸術などに関する科目を用意しています。また、工学の専門知識や技術の修得に必要な学問的基礎を学ぶことを目的として、数学、自然科学などに関する科目群を教育課程に用意しています。
2. 専門的能力
情報理論、コンピュータアーキテクチャ、プログラミングなどの情報工学および電磁気学、アナログ回路、デジタル回路などの電気・電子工学の科目群、アルゴリズムとデータ構造などの実践的なプログラミング関連科目群、電子工学実験、情報システム実験、電子通信システム実験などの実技科目群を用意しています。
3. 汎用的技能
創造演習・創造製作、卒業研究、学科学年縦横断型の活動などの、汎用的技能を身につけるための実技科目群や活動を用意しています。
4. 態度・志向性（人間力）
創造演習・創造製作、卒業研究、体育などととも、学科学年縦横断型の活動、キャリア教育支援プログラム、課外活動など、態度・志向性（人間力）を育成するための科目群や学生の自発的参加型の活動を用意しています。
5. 創造的思考力
創造演習・創造製作、卒業研究、学科学年縦横断型の活動などの、創造的思考力を育成するための課題解決能力・開発力の育成に関する科目群や活動を用意しています。
6. 異文化対応力
技術者としての異文化対応能力を身につけることを目的として、英語、中国語、ドイツ語などの外国語科目や国内研修・海外研修・語学研修プログラムを用意しています。
7. 倫理的判断力
技術者としてグローバルな視点で自らの技術を公衆の安全、健康、福利を優先して活用するための倫理観を身につけることを目的として倫理、哲学、情報システムと技術者倫理などの科目を用意しています。

<土木建築工学科>

1. 基本的能力

豊かな教養を身につけることを目的として人文・社会科学、芸術などに関する科目を用意しています。また、工学の専門知識や技術の修得に必要な学問的基礎を学ぶことを目的として、数学、自然科学などに関する科目群を教育課程に用意しています。

2. 専門的能力

土木構造・材料、水工学、地盤工学、測量学などの土木工学および建築構造・材料、建築計画、建築史、建築環境、都市計画などの建築学の科目群、工学実験、測量実習、設計演習、情報処理、CADなどの実技科目群を用意しています。

3. 汎用的技能

創造演習、卒業研究、学科学年縦横断型の活動などの、汎用的技能を身につけるための実技科目群や活動を用意しています。

4. 態度・志向性（人間力）

創造演習、卒業研究、体育などととも、学科学年縦横断型の活動、キャリア教育支援プログラム、課外活動など、態度・志向性（人間力）を育成するための科目群や学生の自発的参加型の活動を用意しています。

5. 創造的思考力

創造演習、卒業研究、学科学年縦横断型の活動などの、創造的思考力を育成するための課題解決能力・開発力の育成に関する科目群や活動を用意しています。

6. 異文化対応力

技術者としての異文化対応能力を身につけることを目的として、英語、中国語、ドイツ語などの外国語科目や国内研修・海外研修・語学研修プログラムを用意しています。

7. 倫理的判断力

技術者としてグローバルな視点で自らの技術を公衆の安全、健康、福利を優先して活用するための倫理観を身につけることを目的として倫理、哲学、技術者倫理などの科目を用意しています。

<成績評価及び単位認定基準>

これらの科目に対する単位取得の認定は、以下の方法で行います。

(1) 成績評価は、定期試験の成績、レポート等の課題、履修状況等を総合して実施します。

(2) 成績は履修と認められた科目で100点法により採点し、60点以上の成績をもって所定の単位を認定します。

(3) 単位認定のための成績評価の評点区分（評語）は4段階です。

※GPA算出のためのGrade Point (GP) は5段階です。

単位認定のための成績評価

最終成績（点）	評点区分（評語）
80～100	優
70～79	良
60～69	可
0～59	不可

GPAによる区分

最終成績（点）	評語	Grade Point (GP)
90～100	A	4
80～89	B	3
70～79	C	2
60～69	D	1
0～59	F	0

アドミッションポリシー（入学者選抜の基本方針）

本科のアドミッションポリシーは、ディプロマポリシーに基づき、次のような能力と意欲を持った学生を入学させるためのものです。具体的には次のような人を求めています。

<本科入学者および編入学者に求める学生像>

本科（準学士課程）では、以下の素養を有する人を求めています。

- ・数学と理科の基礎学力が身につけている人
- ・信頼される技術者を目指し、コミュニケーション能力の基礎を身につけている人
- ・勉強や課外活動などに意欲を持って取り組んでいる人
- ・ものづくりが好きで社会の発展に役立ちたいと考えている人

本科では、入学者の選抜に関して以下の方針を定めています。

<本科入学者選抜の基本方針>

- ・推薦による選抜においては、出身中学校長が責任を持って推薦した生徒に対して、調査書および推薦書等の提出資料の内容に加え、作文（コミュニケーション能力の基礎として国語による表現力、ものづくりが好きであるかを評価）、目的意識・意欲などに関する一般面接（コミュニケーション能力や意欲、ものづくりが好きで、信頼される技術者を目指しているか、社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価）、各学科への適性に関する適性面接（数学や理科の基礎学力を評価）の結果を総合的に評価し、本校への適性を有すると判断した人を選抜します。
- ・学力検査による選抜においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した者を選抜するため、学力検査の結果と調査書の内容を総合的に評価します。学力検査は筆記試験で、国語、英語、数学、理科、社会の5教科です。なお、数学と理科の基礎学力が身につけているかを評価するため、他の教科に比べ、数学を2倍、理科を1.5倍に換算します。また、他の教科と調査書は主に十分なコミュニケーション能力の基礎を身につけているかを評価します。
- ・帰国生徒特別選抜においては、筆記試験で、国語、英語、数学、理科の4教科を実施し、数学と理科の基礎学力が身につけているかを評価するため、他の教科に比べ、数学を2倍、理科を1.5倍に換算します。また、他の教科では主に十分なコミュニケーション能力を身につけているかを評価します。さらに一般面接（意欲、ものづくりが好きで社会の発展に役立ちたいと考えているか、信頼される技術者を目指しているかを評価）を行い、本校への適性を有すると判断した人を選抜します。

<編入学者の選抜方針>

編入学希望者の選抜においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した者を選抜するため、数学と英語、および物理または専門科目の学力検査（基礎学力を評価）を行い、調査書等の内容を参考に面接（コミュニケーション能力、意欲、ものづくりが好きで社会の発展に役立ちたいと考えているか、信頼される技術者を目指しているかを評価）を行い、これらの結果を総合的に評価し、本校への適性を有すると判断した人を選抜します。

専攻科

ディプロマポリシー（修了認定の基本方針）

専攻科では、「情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、設計・開発を行う素養をもつ技術者」を育成するため、所定の年限在籍し、以下に示す能力・技能に加え、複合分野にわたる知識を有機的に結びつける能力を備え、各専攻が規定する単位を修得したものに修了を認定します。

- | | |
|----------------|---|
| 1. 基本的能力 | 設計・開発に必要な高度な数学、自然科学、人文・社会科学、工学基礎の知識・能力を修得している。 |
| 2. 専門的能力 | 各専攻の専門分野及び複合分野にわたる高度な知識・能力を修得している。 |
| 3. 汎用的技能 | 設計・開発を行う技術者として必要な高度なコミュニケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、課題発見、論理的思考などの技能を身に付けている。 |
| 4. 態度・志向性（人間力） | 設計・開発を行う技術者として必要な高い主体性、自己管理能力、責任感、チームワーク力、リーダーシップ、未来志向型キャリアデザインなどの能力を身に付けている。 |
| 5. 創造的思考力 | 設計・開発を行う技術者として必要な卓越した創成能力やエンジニアリングデザイン能力などの思考力を修得している。 |
| 6. 異文化対応力 | 設計・開発を行う技術者としてグローバルな視点で異文化に対応するための高度な教養と優れた感性を修得している。 |
| 7. 倫理的判断力 | 設計・開発を行う技術者として公衆の安全、健康、福利を優先して自らの技術を倫理的に活用するための高度な知識・能力を修得している。 |

カリキュラムポリシー（教育課程編成および実施の基本方針）

専攻科では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を育成するために、以下に示す科目群を用意しており、具体的な科目群をまとめることとなります。

<機械制御工学専攻>

1. 基本的能力
豊かな教養を身につけることを目的として人文・社会科学などに関する科目を用意しています。また、より高度な工学の専門知識や技術の修得を目的として、数学、自然科学などに関する科目群を教育課程に用意しています。
2. 専門的能力
ロボット制御工学や応用計測工学などの応用・学際的科目群及び機械制御工学専攻総合実験などの実技科目群を用意しています。
3. 汎用的技能
機械制御工学専攻総合演習、応用研究や特別研究などの、汎用的技能を身につけるための実技科目群や活動を用意しています。
4. 態度・志向性（人間力）
機械制御工学専攻総合演習、応用研究、特別研究やインターンシップなど、態度・志向性（人間力）を育成するための科目群や学生の自発的参加型の活動を用意しています。
5. 創造的思考力
機械制御工学専攻総合演習、応用研究や特別研究などの、創造的思考力を育成するための課題解決能力・開発力の育成に関する科目群や活動を用意しています。
6. 異文化対応力
技術者としての異文化対応能力を身につけることを目的として、科学英語表現法、総合英語、国際比較文化論などの外国語科目や国内研修・海外研修・語学研修プログラムを用意しています。
7. 倫理的判断力
技術者としてグローバルな視点で自らの技術を公衆の安全、健康、福利を優先して活用するための倫理観を身につけることを目的として技術者の倫理や安全工学概論などの科目を用意しています。

<情報電子工学専攻>

1. 基本的能力
豊かな教養を身につけることを目的として人文・社会科学、芸術などに関する科目を用意しています。また、工学の専門知識や技術の修得に必要な学問的基礎を学ぶことを目的として、数学、自然科学などに関する科目群を教育課程に用意しています。
2. 専門的能力
メディア信号処理、半導体電子工学などの応用・学際的科目群及び情報電子工学専攻総合実験などの実技科目群を用意しています。
3. 汎用的技能
情報電子工学専攻総合演習、応用研究や特別研究などの、汎用的技能を身につけるための実技科目群や活動を用意しています。
4. 態度・志向性（人間力）
情報電子工学専攻総合演習、応用研究、特別研究やインターンシップなど、態度・志向性（人間力）を育成するための科目群や学生の自発的参加型の活動を用意しています。
5. 創造的思考力
情報電子工学専攻総合演習、応用研究や特別研究などの、創造的思考力を育成するための課題解決能力・開発力の育成に関する科目群や活動を用意しています。
6. 異文化対応力
技術者としての異文化対応能力を身につけることを目的として、科学英語表現法、総合英語、国際比較文化論などの外国語科目や国内研修・海外研修・語学研修プログラムを用意しています。
7. 倫理的判断力
技術者としてグローバルな視点で自らの技術を公衆の安全、健康、福利を優先して活用するための倫理観を身につけることを目的として技術者の倫理や安全工学概論などの科目を用意しています。

<環境建設工学専攻>

1. 基本的能力
豊かな教養を身につけることを目的として人文・社会科学、芸術などに関する科目を用意しています。また、工学の専門知識や技術の修得に必要な学問的基礎を学ぶことを目的として、数学、自然科学などに関する科目群を教育課程に用意しています。

2. 専門的能力

建設プログラミングや応用水理学、建築生産論などの応用・学際的科目群及び環境建設工学専攻総合実験などの実技科目群を用意しています。

3. 汎用的技能

環境建設工学専攻総合演習、応用研究や特別研究などの、汎用的技能を身につけるための実技科目群や活動を用意しています。

4. 態度・志向性（人間力）

環境建設工学専攻総合演習、応用研究、特別研究やインターンシップなど、態度・志向性（人間力）を育成するための科目群や学生の自発的参加型の活動を用意しています。

5. 創造的思考力

環境建設工学専攻総合演習、応用研究や特別研究などの、創造的思考力を育成するための課題解決能力・開発力の育成に関する科目群や活動を用意しています。

6. 異文化対応力

技術者としての異文化対応能力を身につけることを目的として、科学英語表現法、総合英語、国際比較文化論などの外国語科目や国内研修・海外研修・語学研修プログラムを用意しています。

7. 倫理的判断力

技術者としてグローバルな視点で自らの技術を公衆の安全、健康、福利を優先して活用するための倫理観を身につけることを目的として技術者の倫理や安全工学概論などの科目を用意しています。

<成績評価及び単位認定基準>

これらの科目に対する単位取得の認定は、以下の方法で行います。

(1) 成績評価は、定期試験の成績、レポート等の課題、履修状況等を総合して実施します。

(2) 成績は履修と認められた科目で 100 点法により採点し、60 点以上の成績をもって所定の単位を認定します。

(3) 単位認定のための成績評価の評点区分（評語）は 4 段階です。

※ GPA 算出のための Grade Point (GP) は 5 段階です。

単位認定のための成績評価

最終成績（点）	評点区分（評語）
80～100	優
70～79	良
60～69	可
0～59	不可

GPA による区分

最終成績（点）	評語	Grade Point (GP)
90～100	A	4
80～89	B	3
70～79	C	2
60～69	D	1
0～59	F	0

アドミッションポリシー（入学者選抜の基本方針）

専攻科のアドミッションポリシーは、ディプロマポリシーに基づき、次のような能力と意欲を持った学生を入学させるためのものです。具体的には次のような人を求めています。

<専攻科入学者に求める学生像>

専攻科では、次のような人を広く求めています。

- ・複合分野の基礎となる基本的素養が身につけている人
- ・コミュニケーション能力や倫理的判断能力が身につけている人
- ・実験・演習や卒業研究に意欲をもって取り組んでいる人
- ・ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えている人

専攻科では、入学者の選抜に関して以下の方針を定めています。

<専攻科入学者選抜の基本方針>

専攻科入学者の選抜は、「学校長の推薦による選抜」、「学力検査による選抜」および「社会人特別選抜」の三つの方法で行います。

- ・「学校長の推薦による選抜」においては、在籍学校長が学力・人物ともに優れていると認め推薦した者に対して、研究計画書に基づく面接（実験・演習や卒業研究の取り組みを評価）及び願書、推薦書などを参考にした面接（コミュニケーション能力、ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価）の結果並びに出願書類をもとに、総合的に判定します。
- ・「学力検査による選抜」においては、数学、英語及び専門科目の得点（複合分野の基礎となる基本的素養を評価）、面接（コミュニケーション能力、ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価）の結果並びに出願書類をもとに、総合判定により行います。英語は TOEIC スコアを本校専攻科で定めた基準により換算します。また専門科目は口頭試問で実施します。なお、専門科目は外部資格による免除制度があります。
- ・「社会人特別選抜」においては、所属する機関の長が学力・人物ともに優れていると認め推薦した者に対して、面接（コミュニケーション能力、ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価）の結果及び出願書類をもとに、総合判定により行います。

教育プログラム

Engineering Education Program

「設計情報工学」プログラム

Communication and IT-based Design Engineering

徳山高専では、本科4・5年と専攻科のカリキュラムで「設計情報工学」プログラムを構成しています。この教育プログラムは、平成15年度に日本技術者教育認定機構（JABEE）の審査を受け、国際的に通用する教育の品質が保証された教育プログラムとして、工学（融合複合・新領域）関連分野において認定されました。本校では、本科・専攻科とも3つの複合学科に分かれていますが、「設計情報工学」プログラムでは本校の教育全体をまとめて一本化しました。これは、専門とする知識や得意分野は違っていても、目標とする技術者像は同じであり、また、教育方法も共通するところが多いからです。

「設計情報工学」プログラムを修了することにより、4年制大学と同等の教育内容が保証されることはもちろん、高度情報化社会において開発型技術者として活躍するために必要とされる能力を兼ね備えた人材として、大きく飛躍していくことが期待されます。

At our college, the curriculums for the fourth and fifth-year regular course students and the advanced course students constitute the engineering education program, “Communication and IT-based Design Engineering.” In 2003, this educational program was accredited as a general engineering program that is on a par with global standard by the Japan Accreditation Board for Engineering Education.

Though our college has three different regular courses followed by three corresponding advanced courses, we have adopted this educational program as one that can comprehensively be applied to all the courses. For these three courses have a lot in common in terms of their educational goal and educational methods despite the differences in their expertise and strong compound technologies.

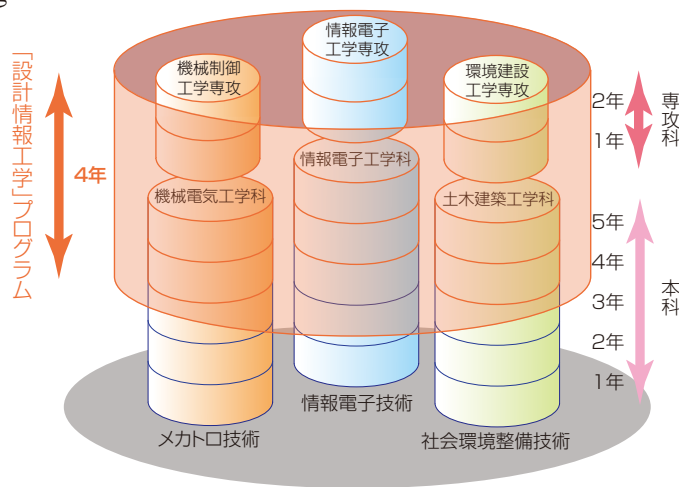
Any student who completes the JABEE program in Communication and IT-based Design Engineering is guaranteed to get a university-level education. On top of that, any student who completes the educational program is expected to play an active part as a competent engineer in various areas of research and development in a highly-developed information-oriented society.

JABEE（日本技術者教育認定機構）とは？

Japan Accreditation Board for Engineering Education

日本技術者教育認定機構の略称で、大学や高専など高等教育機関で行われている「技術者教育プログラム」が社会の要求水準を満たしているかどうかを評価・認定します。JABEEは、技術者教育の実質的同等性を相互承認するための国際協定であるワシントン・アコードに2005年から加盟しており、JABEEによる認定は、教育環境も含め、入学から卒業までの教育プロセスすべてを含めたもので、我が国の工学（技術）教育を質的に向上させ、国際的に通用させることをめざしています。

JABEE stands for Japan Accreditation Board for Engineering Education. By assessing and accrediting the engineering education programs provided by institutions of higher education such as colleges of technology and universities, JABEE ensures the international equivalency of the quality of education the colleges and universities offer. JABEE has been accredited by Washington Accord which is an international agreement among bodies responsible for accrediting engineering degree programs since 2005. JABEE assesses and accredits the whole process of education at Japanese colleges and universities including educational environments. The ultimate goal of JABEE is to raise the level of engineering education programs in Japan to a global standard.



「設計情報工学」プログラム構成図



JABEE認定証

機械電気工学科

Department of Mechanical and Electrical Engineering

持続可能な社会を構築する挑戦的エンジニアをめざす集団

現在、自動車に自動運転機能が搭載されるなど、機械製品に情報・通信技術を組み合わせた製品が多数存在しています。またこれらの動向は今後さらに加速していく傾向にあります。一方で現在の社会を取り巻く環境は持続可能な社会を構築するために様々な技術革新が要求されています。

徳山高専機械電気工学科では、前述したような機械製品に情報・通信技術が組み合わさった製品を設計・製作できる技術者を目指す人材を育成するために「データ・情報・通信技術を活用し、持続可能な社会を実現する機械システムを設計製作する技術者の育成」を掲げ、カリキュラムを構築しています。

現在の日本は、変遷する世界の産業分野においてリーダーであり続けることが必要であると同時に、地球環境と調和しながら持続可能な社会を構築するという大きな課題を抱えています。これらの課題を克服するためには、自ら新しい技術を生み出していく必要があります。すなわち創造性豊かな技術者が今求められています。

機械電気工学科ではこれらの課題に応えるべく、創造性豊かな挑戦的エンジニアを育成するための教育プログラムに基づき、低学年から自発性、創造性を育成することを重視した実践的な教育を行っています。

Mechanical and Electrical Engineering serves as the foundation for various industries and our daily lives. Our department offers comprehensive training in Information and Communications Technologies, as well as Mechanical, Electrical Engineering subjects.

Additionally, our curriculum incorporates courses that foster creativity, encouraging students to become innovative engineers equipped with practical skills.



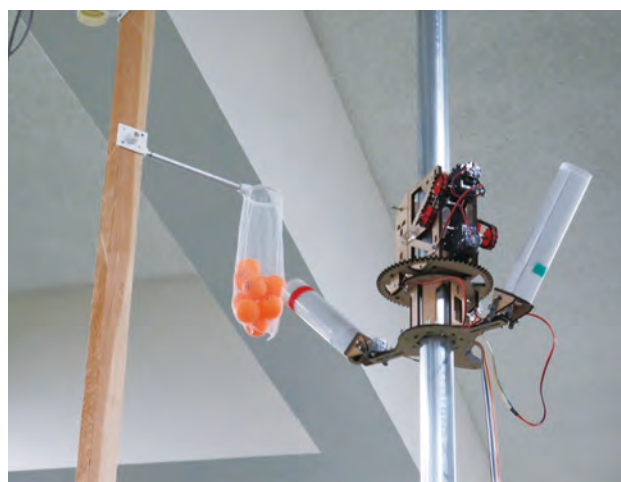
3DCADを使った設計図の授業風景



ロボットの製作



マシニングセンタを用いた工作実習



創造製作の授業風景

教育課程の特色 Features of Curriculum

機械システム技術を修得するために、機械・制御、電気・電子、データサイエンスに関する科目が設けられています。また未知の課題にアプローチし、その課題に自ら取り組む創造演習や、自由な発想に基づいてモノづくりを行う創造製作が設けられており、創造性を養う同時に、モノづくりに必要な計画力や創造的遂行能力が身につけられます。

We provide courses on mechanical/control, electrical/electronic, and data-science to master mechanical and electrical technology. We also offer “Creation Production” which gives students opportunities to tackle unknown issues on their own and “Creative Production” which allows them to create things based on free ideas. Through the course work, students will be capable of carrying out planning abilities and creativity necessary for manufacturing as well as of cultivating creativity.

教育課程 Curriculum

※Ⅰ：学則第14条第2項第1号に定める学修単位のうち、授業30時間、自修15時間で構成されるもの（学修単位Ⅰ）を示す。
 ※Ⅱ：学則第14条第2項第1号に定める学修単位のうち、授業15時間、自修30時間で構成されるもの（学修単位Ⅱ）を示す。

	授業科目	Subjects	単位数 Credits	学年別単位数 Credits by Year					備考
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	
	工作実習Ⅰ	Workshop Practice I	2	2					
	工作実習Ⅱ	Workshop Practice II	2		2				
	機械の基礎	Introduction of Mechanical Engineering	1	1					
	電気の基礎	Basis of Electricity	1		1				
	技術発達史論	Development of Technology	1	1					
	コンピュータ基礎	Computer Literacy	1	1					
	プログラミング基礎	C Language Programming	1	1					
	プログラミング応用	Applied Programming	2		2				
	工業英語Ⅰ	English for Industrial Technology I	1			1			
	モータ制御	Motor Control	1			1			
	電気回路Ⅰ	Electric Circuit I	2			2			
	電子回路Ⅰ	Electronics Circuits I	1			1			
	※Ⅰ 電子回路Ⅱ	Electronics Circuits II	2				2		
	※Ⅰ 電磁気学	Electromagnetism	2				2		
	材料力学Ⅰ	Materials and Mechanics I	2			2			
	水力学	Fluid Mechanics	1			1			
	※Ⅰ 熱力学Ⅰ	Thermodynamics I	1				1		
	人工知能	Artificial Intelligence	1				1		
	知的財産権	Intellectual Property	1			1			
	※Ⅰ 技術者倫理	Engineering Ethics	1					1	
	※Ⅰ 制御工学Ⅰ	Control Engineering I	1				1		
	※Ⅱ 制御工学Ⅱ	Control Engineering II	2					2	
	※Ⅰ 計測工学	Measurement II Engineering	2					2	
	加工学	Working and Processing Methods	1			1			
	※Ⅰ 機構学	Mechanisms	1				1		
	工業力学	Industrial Dynamics	1			1			
	※Ⅰ 機械力学Ⅰ	Mechanical Dynamics I	1					1	
	※Ⅰ 環境リサイクル論	Environment and Recycling	1					1	
	材料学Ⅰ	Materials I	2			2			
	※Ⅰ 材料学Ⅱ	Materials II	1				1		
	※Ⅰ 機械設計論Ⅰ	Mechanical Design I	1				1		
	※Ⅰ 機械設計論Ⅱ	Mechanical Design II	1					1	
	基礎設計製図Ⅰ	Fundamental Mechanical Design and Drawing I	2	2					
	基礎設計製図Ⅱ	Fundamental Mechanical Design and Drawing II	2		2				
	設計製図Ⅰ	Mechanical Design and Drawing I	1			1			
	※Ⅰ 設計製図Ⅱ	Mechanical Design and Drawing II	1				1		
	※Ⅰ 設計製図Ⅲ	Mechanical Design and Drawing III	1					1	
	創造演習Ⅰ	Creation and Research Practice I	1	1					
	創造演習Ⅱ	Creation and Research Practice II	1			1			
	創造製作Ⅰ	Creative Production I	2		2				
	コンピュータ制御	Computer Control	2			2			
	工学実験Ⅰ	Experiments in Engineering I	1			1			
	※Ⅰ 工学実験Ⅱ	Experiments in Engineering II	3				3		
	課題発見解決プロジェクトⅡ	Problem Discovery and Resolution Project II	1		1				
	工学セミナー	Seminar in Engineering	1				1		
	卒業研究	Graduation Research	10					10	
	修得単位数	Credits Required	71	9	10	18	15	19	
	総合実地演習Ⅰ	Internship Program I	1			1			注①
	総合実地演習Ⅱ	Internship Program II	2			2			
	プログラミング実践	Programming Practice	1			1			
	校外実習Ⅰ	Internship I	1				1		注②
	校外実習Ⅱ	Internship II	2				2		
	※Ⅰ 材料力学Ⅱ	Materials and Mechanics II	1				1		
	※Ⅰ 弾塑性論	Elasto-Plasticity	1				1		
	※Ⅰ 流体力学	Fluid Dynamics	1				1		
	※Ⅰ 電気回路Ⅱ	Electric Circuit II	1				1		
	※Ⅰ 創造製作Ⅱ	Creative Production II	2				2		
	※Ⅰ 関数論	Theory of Functions	1				1		
	※Ⅰ 確率・統計	Probability and Statistics	1				1		
	※Ⅰ 工業英語Ⅱ	Industrial English II	1					1	
	※Ⅰ フーリエ変換	Fourier Analysis	1					1	
	※Ⅰ 熱力学Ⅱ	Thermodynamics II	1					1	
	※Ⅰ 機械力学Ⅱ	Mechanical Dynamics II	1					1	
	※Ⅰ 一般物理	General Physics	1					1	
	※Ⅰ 数値計算	Numerical Mathematics	1					1	
	※Ⅰ 流体機械	Fluid Machinery	1					1	
	※Ⅰ 伝熱工学	Heat Transfer	1					1	
	※Ⅰ 有限要素法	Finite Element Method	1					1	
	※Ⅰ ベンチャービジネス論	Theory of Venture Business	1					1	
	※Ⅰ 通信工学	Communication Engineering	1					1	
	※Ⅰ データ解析	Data Analysis	1					1	
	※Ⅰ 特別講義	Special Lecture	1				1		
	海外研修	Global Training	2			2(在学中1回のみ)			
	基礎電気電子工学	Fundamental Electrical Engineering	2			2			外国人留学生科目
	基礎機械工学	Fundamental Mechanical Engineering	2			2			外国人留学生科目
	AI実践	AI Practice	1					1	
	開設単位数	Credits Offered	31	2	5	3	14	15	
	外国人留学生開設単位数	Credits Offered for Foreign Students	32			7	14	15	

注① 総合実地演習Ⅰ及び総合実地演習Ⅱは、重複して履修することができない。

注② 校外実習Ⅰ及び校外実習Ⅱは、重複して履修することができない。

教員 Teaching Staff

職名 Title	氏名 Name	研究テーマ Subject of Research	専門分野 Field of Expertise	校務 School Affairs
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	西村 太志 NISHIMURA, Futoshi	金属疲労に関する研究 Study on Fatigue of Metals ナノインデンテーション試験法の開発 Application of Nanoindentation Techniques	材料強度学 Strength and Fracture of Materials 材料工学 Materials Engineering	校長特別補佐 Special Assistant President 3年担任 Class Teacher
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	池田 光優 IKEDA, Mitumasa	水・軽油乳化燃料の燃焼特性 Combustion Characteristics in Water-Diesel Fuel Emulsion Fuel ポリエチレンフィルムの融解・燃焼挙動 Melting and Combustion Characteristics of Polyethylen Film	熱工学 Thermal Engineering	4年担任 Class Teacher テクノ・リフレッシュ教育センター参事 Associate Vice Director of Center for Collaborative Research and Education 情報処理センター副センター長 Vice Director of Information Processing Center
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	張間 貴史 HARIMA, Takashi	複数噴流の流れ場の制御に関する研究 Control of the Flowfield Using Multiple Jets	流体工学 Fluid Mechanics	学科主任 Chief of Department
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	片山 光亮 KATAYAMA, Kosuke	無線通信、アンテナ、自動設計 Wireless Communication, Antenna, Autonomous Design	通信工学 Telecom Engineering	5年担任 Class Teacher グローバル教育センター員 Member of Center for Global Education
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	福田 明 FUKUDA, Akira	半導体デバイス研磨に関する研究 Chemical-Mechanical Planarization (CMP) and its Related Technologies	計算力学 Computational Mechanics 精密加工学 Precision Machining	副校長(寮務主事) Vice President (Dean of Dormitory Affairs)
教授 Professor 博士(理学) Dr.Sci.	三浦 靖一郎 MIURA, Seichiro	科学技術教育のためのe-learning教材開発 Development of E-learning Materials for Science and Engineering Education 障害者のための支援技術の開発 Development of Assistive Technologies for Persons with Disabilities 磁性体薄膜における磁区構造のパターン形成 Pattern Formation of Magnetic Domain Structure in Magnetic Thin Film	教育工学 Education Technology 福祉工学 Welfare Engineering 物性物理学 Fundamental Physics	キャリア教育・学習支援室 キャリアアドバイザー Career Advisor
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	石田 浩一 ISHIDA, Koichi	うず電流変位計・うず電流非破壊検査 Eddy Current Displacement Sensor, Eddy Current Inspection 計算機ホログラムの光学情報処理への応用 Application to Optical Information Processing of Computer-Generated Hologram	応用物理 Applied Physics	
准教授 Associate Professor 理学博士 Dr.rer.nat	飛車 来人 Kurt, Fischer	解析的整数論 Analytic Number Theory	論理物理・数学 Theoretical Physics Mathematics	図書館参事 Associate Vice Director of the Library
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	坪郷 浩一 TUBOGO, Koichi	気液二相流解析 Analysis of Two Phase Gas and Liquid Flow 数値計算手法の開発 Development of Numerical Methods	データサイエンス Data Science 数値流体力学 Computational Fluid Dynamics	学生主事補 Vice-Dean of Student Affairs 教育改善IR室員 Institutional Research for Educational Improvement Officer
准教授 Associate Professor 博士(理学) Dr.Sci.	垣内田 翔子 KAICHIDA, Shoko	生体の協調制御に関する研究 Study on Biological Synergy Control	生体情報工学 Biological Information Engineering, Biological Cybernetics	教務主事補 Vice-Dean of Academic Affairs 学生相談室相談員 Student Counseling Officer
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	池田 将晃 IKEDA, Masaaki	生物模倣型ロボットの開発および運動制御 Development and Motion Control of Biomimetic Robot	ロボティクス Robotics, Mechatronics	2年担任 Class Teacher
講師 Lecturer 技術士(機械) P.E.Jp (Mechanical Eng.)	奥藤 康司 OKUTO, Koji	連続体の振動による遊泳動作の解析及びそのロボット実現に関する研究 Analysis of swimming motion by vibration of a continuous body and its realization in a robot	機械力学 Dynamics of Machinery ものづくり Manufacturing Design	専攻科幹事 Secretary of Advanced Course
助教 Assistant Professor 博士(理学) Dr.Sci.	南 岳 NAN, Gaku	標準宇宙論モデルを超えたダークエネルギーの探究 Exploring Dark Energy Beyond Standard Cosmology	宇宙論 Cosmology 理論宇宙物理 Theoretical Astrophysics 電子工学 Electronics	寮務主事補 Vice-Dean of Dormitory Affairs グローバル教育センター員 Member of Center for Global Education

非常勤講師 Part-time Lecturer

氏名	Name	担当科目	Subject	勤務先
阿部 忠人	ABE, Tadato	知的財産権 創造演習Ⅱ	Intellectual Property Creation and Research Practice II	維新国際特許事務所

主な教育・研究設備 Main Facilities for Education and Research



●材料力学研究室

Material-strength Test Laboratory

1. 材料試験機 Material testing machine

- (1) 複合負荷精密材料試験機 島津AG-100kNE
- (2) サーボパルサー 島津EHF-EV-100kN-20-T
- (3) 電気油圧式引張圧縮疲労試験機 (±30kN)
- (4) 小野式回転曲げ疲労試験機 島津 H7型
- (5) 4連式片持ち回転曲げ疲労試験機 ホーコス
- (6) 超微小押し込み硬さ試験機 エリオニクス ENT-2100
- (7) 超微小押し込み硬さ試験機 島津 DUH-211
- (8) マイクロビッカース硬さ試験機 島津 HMV

2. 顕微鏡 Microscope

- (1) 走査型電子顕微鏡 日立 S-3400N
- (2) 各種光学顕微鏡
- (3) 万能投影機

●生体情報工学研究室

Biological Cybernetics Laboratory

- (1) 高速度カメラ DITECT HAS-L1
- (2) 3次元動作解析ソフトウェア DITECT Dipp-MotionV
- (3) ワイヤレス筋電センサ LOGICAL PRODUCT 乾式
- (4) ワイヤレス筋電センサ DELSYS Trigno Lab
- (5) 同期パルス発生装置 LOGICAL PRODUCT
- (6) オシロスコープ Tektronix TBS1000C
- (7) モーションキャプチャシステム OptiTrack Primex13,
Motive:Tracker



●通信工学研究室

Communication Engineering Laboratory

1. 通信工学実験装置

Communication Engineering Experimental Equipment

- ・20 Gsa/sオシロスコープ
Keysight MSOX6004A
- ・8.5/18GHzネットワークアナライザ
Keysight E5063E
- ・マルチメーター
Texio GDM-9061
- ・ファンクションジェネレータ
Keysight 33500B
- ・7.5GHzスペクトラムアナライザ
Keysight N9000B
- ・DC電源
Keysight E36312A
- ・直流電源
菊水 PMX18-5A



電子情報通信システム実験

コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを 設計・構築する技術者の育成

情報電子工学科の教育理念は「基礎力、実践力を備えた信頼されるエンジニアの育成」です。これは技術的な面だけでなく、能力的、人物的な面においても十分な基礎力を備え、将来さまざまな分野でさらに発展できる能力をもった信頼される技術者を育成しようというものです。とりわけ技術的な面での基盤となるカリキュラムは「電子・通信のわかるコンピュータシステム技術者を目指した」構成になっています。その主な内容は、

- (1) コンピュータのハードウェア技術とソフトウェア技術
- (2) 情報処理システムを支える応用ソフトウェア技術とユーザインタフェース技術
- (3) 通信情報システムを支える通信技術とネットワーク技術
- (4) コンピュータ応用機器システムを支える電子技術と計測制御技術

などです。このような技術を基礎から系統的に身につけることにより、『コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを設計・構築する技術者を育成』します。またこれらの技術をより実践的なものに高めるために、多くの実験実習時間を設けています。更に自分で問題をとらえ、自ら解決していく創造性豊かな技術者の育成をめざして、創造演習や卒業研究の指導にも力を注いでいます。

Our educational philosophy is to cultivate every student as a reliable and creative engineer who has a sufficient foundation in terms of “technology”, “ability” and “humanity”. We offer a curriculum that supports the technological basis for various computer systems. It includes the following:

- (1) Computer hardware and computer software technology
- (2) Application software and man-machine interface technology
- (3) Communication and network technology
- (4) Electronics, sensor and control technology

The students can systematically learn subjects in the technology fields shown above and then put their fundamental knowledge to practice through various experiments, exercises and graduation research. We assure that each student will be a reliable and creative engineer in the future.



電子工学実験



2月 卒業研究の発表

教育課程の特色 Features of Curriculum

情報工学と電子工学とをバランスよく学習する複合学科です。すなわち、コンピュータやこれに関連する技術によって構成される電子装置に必要なソフトウェア・ハードウェア両面の技術を並行して学習でき、先端技術も修得できるように教育課程を構成しています。

The CSEE department's curriculum has been carefully prepared so that classes of computer science are studied in correspondence with classes of electronics. For example, the up-to-date computer software technology class could be studied with that of the hardware.

教育課程 Curriculum

※Ⅰ：学則第14条第2項第1号に定める学修単位のうち、授業30時間、自修15時間で構成されるもの（学修単位Ⅰ）を示す。

※Ⅱ：学則第14条第2項第1号に定める学修単位のうち、授業15時間、自修30時間で構成されるもの（学修単位Ⅱ）を示す。

	授業科目	Subjects	単位数 Credits	学年別単位数 Credits by Year					備考
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	
	基礎電気電子回路	Fundamentals of Electrical and Electronic Circuits	2	2					
	基礎コンピュータ工学	Fundamentals of Computer Engineering	2	2					
	コンピュータの基礎知識	Introduction to Computer Science	1	1					
	基礎プログラミングⅠ	Fundamentals of Programming I	1	1					
	基礎プログラミングⅡ	Fundamentals of Programming II	1	1					
	基礎プログラミング演習	Fundamentals of Programming Seminar	1	1					
	電子工学実験	Electronic Engineering Experiments	4			4			
	※Ⅰ コンピュータシステム実験	Computer Engineering Laboratory	4				4		
	※Ⅱ 創造演習	Creation and Research Practice	2				2		
	※Ⅰ 創造製作	Creative Production	1				1		
	※Ⅰ 電子情報通信システム実験	Electronics, Information and Communication Engineers Laboratory	2					2	
	卒業研究	Graduation Research	10					10	
	情報工学演習Ⅰ	Practice of Information Engineering I	1		1				
	集合と論理	Set and Logic	1		1				
	情報工学演習Ⅱ	Practice of Information Engineering II	1			1			
	情報数学	Mathematics for Computer Science	2			2			
	※Ⅰ フーリエ・ラプラス変換	Fourier and Laplace Transform	1				1		
	確率	Probability	1			1			
	※Ⅰ 統計学	Statistics	1				1		
	※Ⅰ 情報理論	Information Theory	1				1		
	※Ⅰ 電磁気学	Electromagnetism	1				1		
	※Ⅰ 情報システムと技術者倫理	Information Systems and Engineer ethics	1				1		
必修科目 Required Subjects	電気電子回路	Electrical and Electronic Circuits	2		2				
	計測工学	Electronic Instruments and Measurements	2			2			
	アナログ回路	Analog Electronic Circuits	2			2			
	デジタル回路	Digital Circuit	2			2			
	コンピュータ演習	Seminar for Computer	1	1					
	コンピュータ工学	Computer Engineering	2		2				
	プログラミング	Programming	2		2				
	プログラミング言語	Programming Language	1		1				
	コンピュータシステム概論	Introduction to Computer System	1			1			外国人留学生除く
	アルゴリズムとデータ構造	Algorithms and Data Structures	2			2			
	システムプログラミングⅠ	System Programming I	1			1			
	※Ⅰ システムプログラミングⅡ	System Programming II	1				1		
	※Ⅰ コンピュータアーキテクチャ	Computer Architecture	2				2		
	※Ⅰ ソフトウェア工学	Software Engineering	1				1		
	※Ⅰ データベース	Database	1				1		
	※Ⅰ オペレーティングシステムⅠ	Operating System I	1				1		
	工学セミナー	Seminar in Computer Science & Electronic Engineering	1				1		
	特別講義	Guest Lecture	1				1		
	課題発見解決プロジェクトⅡ	Problem Discovery and Resolution Project II	1		1				
	情報電子工学概論	Introduction to Computer Engineering	1			1			外国人留学生科目
修得単位計	Total Credits Required		69	9	10	18	20	12	
選択科目 Elective Subjects	※Ⅱ 集積回路設計	Integrated Circuits Design	2					2	
	※Ⅱ オブジェクト指向プログラミング	Object-Oriented Programming	2					2	
	※Ⅱ コンピュータグラフィックス	Computer Graphics	2					2	
	※Ⅱ 知的情報処理	Intelligent Information Processing	2					2	
	※Ⅱ システム数理工学	System Mathematical Engineering	2					2	
	※Ⅱ ネットワークアーキテクチャ	Network Architecture	2				2		注①
	※Ⅱ 情報通信工学	Communication Network	2				2		
	※Ⅱ オペレーティングシステムⅡ	Operating System II	2					2	
	※Ⅱ 制御工学	Control Engineering	2					2	
	※Ⅱ デジタル回路応用	Applications of Digital Circuits	2					2	
	※Ⅱ デジタル信号処理	Digital Signal Processing	2					2	
	校外実習Ⅰ	Internship I	1				1		注②
	校外実習Ⅱ	Internship II	2				2		
	海外研修	Global Training	2		2 (在学中1回のみ)				
	情報電子工学演習	Practice of Computer Engineering	2			2			外国人留学生科目
	AI実践	AI Practice	1					1	
開設単位計	Credits Offered		28	2	2	2	9	21	
外国人留学生開設単位計	Credits Offered for Foreign Students		30			4	9	21	

注① ネットワークアーキテクチャ又は情報通信工学のいずれかは、卒業時までには必ず修得すること。

② 校外実習Ⅰ及び校外実習Ⅱは、重複して履修することができない。

教員 Teaching Staff

職名 Title	氏名 Name	研究テーマ Subject of Research	専門分野 Field of Expertise	校務 School Affairs
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	原田 徳彦 HARADA, Norihiko	FD-TD法による電磁界解析 Finite Difference Time Domain Method in Electromagnetics	応用物理 Applied Physics	3年担任 Class Teacher テクノ・リフレッシュ教育センター参事 Associate Vice Director of Center for Collaborative Research and Education 図書館参事 Associate Vice Director of the Library
教授 Professor 博士(理学) Ph.D.	浦上 美佐子 URAKAMI, Misako	分散情報システム応用・管理 Distributed Information Systems	情報工学 Information Engineering	副校長(学生主事) Vice President (Dean of Student Affairs)
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	新田 貴之 NITTA, Takayuki	教育支援システムに関する研究 Computer Assisted Instruction	計算機工学 Computer Engineering	学科主任 Chief of Department 情報処理センター長 Director of Information Processing Center 学生相談室相談員 Student Counseling Officer
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	室谷 英彰 MUROTANI, Hideaki	半導体光物性評価に関する研究 Semiconductor Optics	半導体工学 Semiconductor Engineering	副校長(教務主事) Vice President (Dean of Academic Affairs)
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	柳澤 秀明 YANAGISAWA, Hideaki	プロセッサの設計自動化、ハードウェア設計、Webベース共同開発環境 Design Automation for Developing Processors, Hardware Design, Web-based Collaborative Development Environment	情報工学 Information Engineering	4年担任 Class Teacher グローバル教育センター員 Member of Center for Global Education
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	宮崎 亮一 MIYAZAKI, Ryoichi	音響信号処理 Acoustic Signal Processing	情報工学 Information Engineering	キャリア教育・学習支援室長 Chief of Career and Learning Support Center 5年担任 Class Teacher
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	増井 詠一郎 MASUI, Yoichiro	無限次元システムの解析と制御系設計 Analysis and Synthesis of Infinite Dimensional Systems	制御工学 Control Engineering	専攻科幹事 Secretary of Advanced Course
准教授 Associate Professor 博士(生命科学) Ph.D.	荻原 宏是 OGIHARA, Hiroyuki	個別化医療への応用に関する研究 Medical Diagnostic Support System	情報工学 Information Engineering	学生主事補 Vice-Dean of Student Affairs 教育改善IR室員 Institutional Research for Educational Improvement Officer
嘱託准教授 Associate Professor on a short-term contract	杉村 敦彦 SUGIMURA, Atsuhiko	画像処理(2次元巡回型フィルタ) Image Processing	デジタル信号処理 Digital Signal Processing	
講師 Lecturer 博士(工学) Dr.Eng.	山本 陽平 YAMAMOTO, Yohei	計算機を用いた折り紙設計の研究 Computational Origami	情報工学 Information Engineering	寮務主事補 Vice-Dean of Dormitory Affairs
助教 Assistant Professor	力 規晃 CHIKARA, Noriaki	帰納学習および充足可能性判定に関する研究 Inference System	情報工学 Information Engineering	教務主事補 Vice-Dean of Academic Affairs

非常勤講師 Part-time Lecturer

氏名 Name	担当科目 Subject	勤務先
義永 常宏 YOSHINAGA, Tsunehiro	データベース Database 数値解析 Numerical analysis 微分積分学Ⅰ Differential and Integral Calculus I 微分積分学Ⅱ Differential and Integral Calculus II	
重村 哲至 SHIGEMURA, Tetsuji	システムプログラミングⅡ System Programming II オペレーティングシステムⅠ Operating System I オペレーティングシステムⅡ Operating System II オブジェクト指向プログラミング Object-Oriented Programming	

主な教育・研究設備 Main Facilities for Education and Research

(1) ソフト系設備 Computer System

学生のBYOD演習環境を充実させるための設備が整備してあります。仮想デスクトップ基盤は、学生のBYOD PCで実行することが難しいソフトウェアのために仮想のLinux PCを100台提供します。学生は、自分のPCを校内ネットワークやインターネットを介して仮想のLinux PCに接続して演習します。また、学生のPCを接続して使用できる50台の32インチディスプレイが演習室に設置してあり大画面での作業ができます。他に、卒業研究などで使用するAI用の高価なサーバコンピュータも準備されています。

Students can use the facilities to enhance the BYOD environment. The 100 Ubuntu Linux virtual machines on the virtual desktop infrastructure can be used from both inside the school and at through network. There are also 50 32-inch displays that can be connected to student PCs for large-screen work. High-end, AI-capable server computers, which are used for graduation research and other purposes, are also provided.

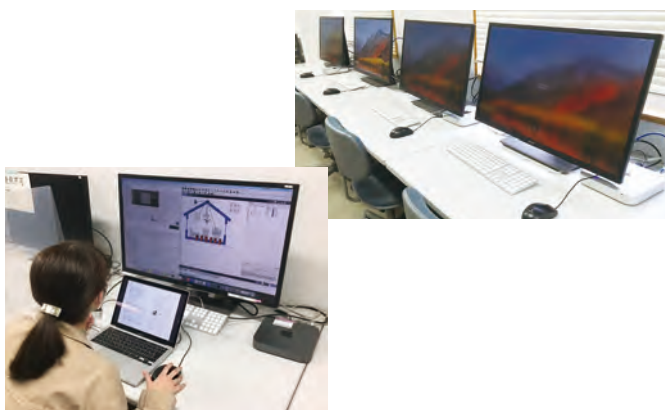
サーバコンピュータ群

HPE DL385 × 2台
VMware Horizon 7 for Linux
(仮想デスクトップ基盤 (VDI) 用サーバ)
Synology FS3400 × 2台
(VDI用ストレージサーバ)
NVIDIA HP Z8 G4 Workstation × 2台
(AI学習用, ビッグデータ学習用)
NVIDIA RTX A6000 GSV-SMC4U8G × 2台
(AI用 GPUサーバ)



学生の演習環境

BYOD PC (学生私物)
Apple MacBook
演習室
32インチディスプレイ × 50台
仮想デスクトップ基盤
仮想Linux PC × 100台
FPGA開発環境 (Xilinx ISE)
組み込みマイコン開発環境 (H8用クロスC言語)



(2) ハード系設備 Facilities for System Development

☆ 工学教育実験用デバイス
Engineering educational laboratory device



☆ 電子工学実験計測器
Measurement equipments for electronic engineering experiments



☆ 電子通信システム実験計測器
Measurement equipments for electronics and communication system laboratory.



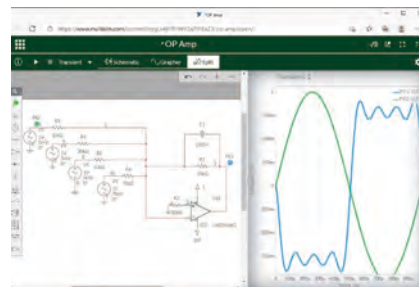
☆ 教育用コンピュータのクロス開発環境
Cross development environment for an educational computer



☆ 電子工学実験室
Electronic engineering laboratory



☆ 回路シミュレータ
Electronic Circuit Simulator



土木建築工学科

Department of Civil Engineering and Architecture

未来を切り拓く、人づくり・まちづくり

橋やダムなどの社会基盤ならびに超高層ビルや住宅などの建築物の建設や維持管理には、様々な技術が活用されています。土木建築工学科の教育目標は、「情報技術を活用し、地域に適した社会基盤や建築空間を設計・施工・管理できる技術者の育成」です。土木建築工学科では、座学で土木技術と建築技術の基礎理論を学び、実験実習で実務に必要な技術を修得する授業編成としています。また、学外で泊まり込みで測量から地形図の作成までを行う集中測量実習(3年生)や、建設会社、設計事務所等でのインターンシップ(4年生)も実施しており、学生はより実践的な技術を修得することができます。さらに、4年生以上では学年横断型の演習科目を導入しており、学生は性別・年齢・国籍を超えて協働する大切さを学んでいきます。最新の建設技術と情報技術は不可分であり、1年生からコンピューターを用いた演習科目を積極的に導入しています。

土木建築工学科では卒業と同時に測量士補の資格を得られるほか、在学中の選択科目の修得状況によって、一級または二級建築士の受験資格や火薬類取扱保全責任者の試験科目の免除も得られます。卒業生は建設会社や設計事務所等の民間企業に加えて、国土交通省、県庁(市役所)や独立行政法人などの公的機関でも活躍しています。

Throughout Japan, we are in the midst of a great undertaking to improve the infrastructure, such as bridges, water supply system, roads, and architecture. The educational concept of the Department of Civil Engineering and Architecture make students to become engineer who can design, develop and maintain infrastructure and architectural space appropriately for society by using the information technology. Our students fundamental principles mainly from lectures, and get more practical skills through experiments and training. Particularly, there are some practical training outside the school including the intensive measuring survey training outdoors in the third year and internship training in a society like a construction company, a government office and some architectural design office. In addition, they also can acquire the collaborative mentality across gender, generation and nationality. At the graduation, all students get a qualification of assistant registered surveyors. Our graduates start working at private design company, construction company or as a public officer, and can also qualify for some qualifications depending on their credits.



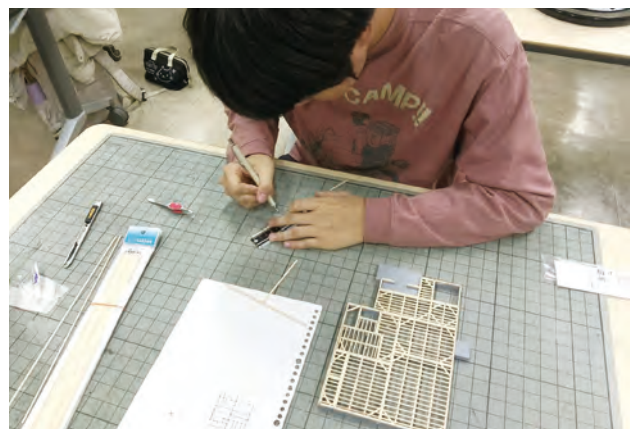
全国高専デザインコンペティション2025の様子



土木建築工学科恒例 現場見学会



3年生測量実習(学内実習)



4年生工学デザイン(軸組模型)

教育課程の特色 Features of Curriculum

4年及び5年生には土木系専門科目と建築系専門科目の約半数に選択科目を設けて、学生の能力と志向によって自主的な勉学と創造力の育成に役立つ配慮がなされています。令和4年度入学生から新カリキュラムが適用されて、より時代に即した人材育成を目指しています。

After the students have learned the basic subjects in civil engineering and architecture for the first three years, students must then select either the Civil engineering program or the Architecture program. Thus, the students in fourth and fifth year select subjects of their interest from many electives offered, in the specific areas of civil engineering or architecture. The new curriculum has been in effect since the 2022 academic year, and aims to develop human resources more in tune with the times.

教育課程 Curriculum

※Ⅰ：学則第14条第2項第1号に定める学修単位のうち、授業30時間、自修15時間で構成されるもの（学修単位Ⅰ）を示す。
 ※Ⅱ：学則第14条第2項第1号に定める学修単位のうち、授業15時間、自修30時間で構成されるもの（学修単位Ⅱ）を示す。

	授業科目	Subjects	単位数 Credits	学年別単位数 Credits by Year					備考	
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th		
必修科目 Required Subjects	設計演習基礎Ⅰ	Design exercise basics I	2	2						
	設計演習基礎Ⅱ	Design exercise basics II	2		2					
	設計演習基礎Ⅲ	Design exercise basics III	2			2				
	力と変形	Force and Deformation	1	1						
	構造力学基礎	Fundamental Structural Mechanics	4		2	2				
	建設材料	Building Materials	1	1						
	情報処理	Computer Applications	5	2	1	2				
	建築デザイン概論	Outline of Architectural Design	1	1						
	建築一般構造	Architectural Structure	1			1				
	建築計画Ⅰ	Architectural Planning I	2			2				
	西洋建築史	History of Western Architecture	1			1				
	地盤工学基礎	Basic Soil Mechanics	2			2				
	水理学基礎	Fundamental Hydraulics	2			2				
	測量学Ⅰ	Surveying I	2	2						
	測量学Ⅱ	Surveying II	2		2					
	測量実習	Surveying Practice	4		2	2				
	基礎工学実験	Basic Technical Experiment	2			2				
	課題発見解決プロジェクトⅡ	Problem Discovery and Resolution Project II	1		1					
	※Ⅰ 構造力学	Structural Mechanics	2				2			
	※Ⅱ 鉄筋コンクリート工学	Reinforced Concrete	4				4			
	鋼構造学Ⅰ	Steel Structure I	1				1			
	都市計画	City Planning	2				2			
	CAD基礎	Fundamental CAD	1				1			
	※Ⅰ 確率・統計	Probability and Statistics	1				1			
	※Ⅰ 環境工学	Environmental Engineering	1				1			
	特別講義	Guest Lecture	1					1		
※Ⅰ 技術者倫理	Engineering Ethics	1					1			
卒業研究	Graduation Research	10					10			
	修得単位数計	Total Credits Required	61	9	10	18	12	12		
選択必修科目 Elective Compulsory Subjects	※Ⅰ 土木設計演習Ⅰ	Civil engineering design exercise I	2				2		いずれかを修得	
	※Ⅰ 建築設計演習Ⅰ	Design Exercise of Architecture I	2				2			
	※Ⅰ 土木設計演習Ⅱ	Civil engineering design exercise II	2					2		
	※Ⅰ 建築設計演習Ⅱ	Design Exercise of Architecture II	2					2	いずれかを修得	
	※Ⅰ 土木創造演習	Experiments II	2				1	1	いずれかを修得	
	※Ⅰ 建築創造演習	Experiments II	2				1	1		
	※Ⅰ 土木工学実験Ⅰ	Experiments I	1				1		いずれかを修得	
	※Ⅰ 建築工学実験Ⅰ	Experiments I	1				1			
	※Ⅰ 土木工学実験Ⅱ	Experiments II	1					1	いずれかを修得	
	※Ⅰ 建築工学実験Ⅱ	Experiments II	1					1		
	土木CAD応用	Applied CAD	1				1		いずれかを修得	
	建築CAD応用	Applied CAD	1				1			
	水理学	Hydraulics	2				2		いずれかを修得	
	※Ⅰ 建築計画Ⅱ	Architectural Planning II	2				2			
	※Ⅰ 河海工学Ⅰ	River and Coastal Engineering I	1				1		いずれかを修得	
	※Ⅰ 近代建築史	History of Modern Architecture	1				1			
	※Ⅰ 土木法規	Administrative Law of Civil Engineering	1					1	いずれかを修得	
	※Ⅰ 建築法規	Administrative Law of Civil Architecture	1					1		
	※Ⅰ 土木施工法	Execution of Construction Work	1					1	いずれかを修得	
	※Ⅰ 建築材料	Building Materials	1					1		
	地盤工学	Geotechnical Engineering	2				2		いずれかを修得	
	※Ⅰ 日本建築史	History of Japanese Architecture	1				1		2単位を修得	
	※Ⅰ 建築施工法	Architectural Execution Method	1				1			
	※Ⅱ 建築構造設計	Structural Design	2					2	いずれかを修得	
	※Ⅰ 火薬学	Explosives	1					1		
	※Ⅰ 河海工学Ⅱ	River and Coastal Engineering II	1					1		
	修得単位数計	Total Credits Required	18	0	0	0	10	8		
選択科目 Elective Subjects	プレストレストコンクリート工学	Pre-stressed Concrete	1					1		
	※Ⅰ 鋼構造学Ⅱ	Steel Structure II	1					1		
	※Ⅰ メンテナンス工学	Maintenance Engineering	1					1		
	振動と耐震	Vibration and Seismic Resistance	1					1		
	道路工学Ⅰ	Highway Engineering I	1				1			
	※Ⅰ 道路工学Ⅱ	Highway Engineering II	1					1		
	※Ⅰ 基礎構造学	Foundation Engineering	1					1		
	※Ⅰ 水環境工学	Water Environmental Engineering	1					1		
	※Ⅰ 建設先端材料	Advanced Construction Materials	1					1		
	※Ⅰ 建設マネジメント	Construction Management	1					1		
	※Ⅰ 建築環境工学	Building Environmental Engineering	1				1			
	※Ⅰ 建築環境工学演習	Seminar in Architectural Environmental Engineering	1					1		
	※Ⅰ 建築設備	Building Equipment	2					2		
	※Ⅰ 応用プログラミング	Applied Programming for Civil Engineering	1					1		
	工学セミナー	Engineering Seminar in Civil Engineering and Architecture	1				1			
	校外実習Ⅰ	Internship I	1				1		注	
	校外実習Ⅱ	Internship II	2				2			
	海外研修	Global Training	2			2 (在学中1回のみ)				
	特別測量実習	Special Practice on Surveying	2			2			外国人留学生科目	
	特別測量学	Special Lecture on Surveying	2			2			外国人留学生科目	
	AI実践	AI Practice	1					1		
		開設単位数計	Credits Offered	22	2	2	2	8	16	
		外国人留学生開設単位数計	Credits Offered for Foreign Students	26	0	0	6	8	16	

注 校外実習Ⅰ及び校外実習Ⅱは、重複して履修することができない。

教員 Teaching Staff

職名 Title	氏名 Name	研究テーマ Subject of Research	専門分野 Field of Expertise	校務 School Affairs
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	桑嶋 啓治 KUWAJIMA, Keiji	破砕性の卓越した土の力学特性 Mechanical Characteristics of Crushable Soils 破砕性地盤における杭の支持力 Pile Bearing Capacity of Pile in Crushable Soils	地盤工学 Geotechnical Engineering	学生相談室長 Chief of Student Counseling Office
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	中川 明子 NAKAGAWA, Akiko	古代ギリシア建築の施工技術に関する研究 Study on Construction Techniques of Ancient Greek Architecture 歴史的建造物の保存修復活用に関する研究 Study on Preservation, Restoration, and Use of Historic Architectures	建築史 History of Architecture 歴史的建造物の保存活用 Preservation, Restoration and Use of Historical Architecture	5年担任 Class Teacher 情報処理センター副センター長 Vice Director of Information Processing Center
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	島袋 淳 SHIMABUKURO, Atsushi	環境・景観を考慮したコンクリートに関する研究 Study on the Concrete for Environment and Landscape 砂地盤以外の液状化現象に関する研究 Study on Liquefaction of Non-Plastic Silt	土木材料学 Construction Material	校長補佐(専攻科長) Assistant President (Chief of Advanced Courses) グローバル教育センター員 Member of Center for Global Education
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	海田 辰将 KAITA, Tatsumasa	鋼橋の耐荷力評価と維持管理に関する研究 Remaining Strength Estimation and Maintenance of Existing Steel Bridges 腐食した鋼部材の残存耐荷力に関する実験・解析 Loading Test and Finite Element Analysis on Corroded Steel Members	鋼構造学 Steel Structure 構造力学 Structural Mechanics	校長補佐(テクノ・リフレッ シュ教育センター長) Assistant President (Director of Center for Collaborative Research and Education) 学科主任 Chief of Department
嘱託教授 Professor on a short-term contract 博士(工学) Dr.Eng.	渡辺 勝利 WATANABE, Katsutoshi	河川護岸の防災機能に関する研究 Study on Disaster Prevention Function of River Bank Protection 開水路流れの乱流特性の解明と制御に関する研究 Clarification and Control of Turbulent Structure in Open Channel Flows	水工学 Hydraulic Engineering	
准教授 Associate Professor 技術士(建設) P.E.Jp (Civil Eng.)	目山 直樹 MEYAMA, Naoki	地方都市の企業立地と市街地形成との関係性 Study on Relation between Industrial Location and Urban Development in Local Cities 防災教育を通じた防災まちづくり Study about Community Design through Education of Disaster Prevention	都市計画・建築計画 City Planning, Archi- tectural Planning	図書館参事 Associate Vice Director of the Library 教育改善IR室員 Institutional Research for Educational Improvement Officer
准教授 Associate Professor 一級建築士 Arch.and Build.Eng.	河野 拓也 KOUNO, Takuya	建築教育における教材開発・思考力育成・PV制作 Development of Educational Resources, Cultivation of Design Thinking, and Architecture Media Production コミュニティデザインを用いた地域連携・まちづくりに関する研究 Research on Regional Collaboration and Town Planning Using Community Design Methodologies	建築設計 Architectural Design コミュニティデザイン Community Design	教務主事補 Vice-Dean of Academic Affairs
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	荒木 功平 ARAKI, Kohei	降雨に伴う斜面崩壊の予知システムに関する研究 Study on Prediction System of Slope Failures Due to Rainfall 不飽和土の数値力学モデルに関する研究 Study on Numerical Models for Unsaturated Soil	地盤工学 Geotechnical Engineering 土砂災害 Land Slides and Flash Flood	4年担任 Class Teacher
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	江本 晃美 EMOTO, Akemi	景観と安全性の両立を目指したコミュニティ主体のまちづ くりに関する研究 Community Design for Landscape and Resiliency インクルーシブ社会実現のためのコミュニティ及び3Dプリ ント技術を活用した補助具とカームダウン施設のデザイン Community, Industrial Design Using 3D Printing and Developing Design of Calm Down Facilities for Realization of Inclusive Society	建築・都市デザイン Architecture and Urban Design	3年担任 Class Teacher
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng. 技術士(建設) P.E.Jp (Civil Eng.)	温品 達也 NUKUSHINA, Tatsuya	鉄筋コンクリートの新材料・新工法開発や耐久性評価に関 する研究 Evaluation of Durability and Development of New Materials or New Construction Techniques about Reinforced Concrete 月および火星の建設材料開発 Development of Construction Material for Moon or Mars Base Infrastructure	コンクリート工学 Concrete Technology 無機材料 Inorganic Materials	テクノ・リフレッシュ 教育センター参事 Associate Vice Director of Center for Collaborative Research and Education
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	段下 剛志 DANSHITA, Tsuyoshi	持続可能な水処理技術の開発に関する研究 Study on Wastewater Treatment Technology for Sustainable Development	環境工学 Environmental Engineering	寮務主事補 Vice-Dean of Dormitory Affairs 専攻科幹事 Secretary of Advanced Course
助教 Assistant Professor 博士(工学) Dr.Eng.	宇根 拓孝 UNE, Hiroataka	河川構造物の周辺の河床変動および流れに関する研究 Study on Riverbed Deformation and Flow Pattern around River Structures	河川工学・水理学 River Engineering Hydraulics	2年担任 Class Teacher
助教 Assistant Professor 博士 (国際協力学) Doctor of International Studies	山根 達郎 YAMANE, Tatsuro	情報技術を活用した構造物の維持管理の高度化 Advanced Maintenance of Structures Utilizing Information Technology	土木情報学・建築 情報学 Civil Engineering Informatics, Architectural informatics	学生主事補 Vice-Dean of Student Affairs キャリア教育・学習支援 室キャリアアドバイザー Career Advisor

非常勤講師 Part-time Lecturer

氏名	Name	担当科目	Subject	勤務先
上 俊二	UE, Shunji	測量学Ⅱ	Surveying II	有限会社TIME 清田環境研究所 (株)ソイル・プレーン 洞崎一級建築士事務所
佐賀 孝徳	SAGA, Takanori	測量学特論	Special Lecture on Surveying	
石丸 和広	ISHIMARU, Kazuhiro	土木/建築創造演習	Creative Practice for Structure Design	
清田 誠良	KIYOTA, Nobuyoshi	建築設備	Building Equipment	
原 隆	HARA, Takashi	土木/建築工学デザインⅡ	Engineering Design II	
洞崎 伸治	HORAZAKI, Shinji	建築工学デザインⅠ	Engineering Design I	

主な教育・研究設備 Main Facilities for Education and Research

地盤工学研究室

多目的高圧三軸試験機

地盤を構成する粘土や砂や岩石などの圧密せん断特性を調べるために用いられる多目的高圧三軸試験機です。この試験機は、鉛直方向に最大500kN、拘束圧は最大20MPa負荷することが可能です。パソコンからの制御により、様々な载荷条件が設定でき、構造物を支持するときの静的な荷重、地震や交通荷重の動的な荷重など様々な荷重が地盤に作用したときの土の変形・強度特性を調べることができます。

Geotechnical Engineering Laboratory

Multi Triaxial Apparatus

This apparatus is used for research on characteristics of consolidation and shear strength of foundation materials, such as clay, sand, rock, etc.

The maximum load capabilities of this apparatus are 500kN for the vertical axis and 20MPa for the horizontal axis. Using a personal computer, various load conditions are setup, and soil mechanical properties can be investigated under various loads (static loads, such as bearing capacity when supporting a structure, and dynamic loads, such as earthquake, traffic load, etc.).



材料研究室

油圧サーボ式強度試験機(2台)、万能試験機、圧縮曲げ試験機

主に、岩石、木材、コンクリートおよび鉄筋コンクリート部材の変形や破壊挙動を調べるための材料試験機です。油圧サーボ強度試験機は試験力が静的450kN、動的300kNのものと静的12kN、動的10kNの2台を有しており、万能試験機と圧縮曲げ試験機の試験力はそれぞれ、2000kNと1000kNです。

Material Engineering Laboratory

Servohydraulic Testing System, Universal Testing System, Compressive and Bending Testing System

These systems consist of material testing apparatuses which are used to study the fracture behavior of concrete, rock, wood and reinforced concrete.

There are two servohydraulic testing apparatuses; one has the maximum loading capacity, 300kN for the dynamic loading and 450kN for the static loading, and the other has the maximum loading capacity, 10kN for the dynamic loading and 12kN for the static loading.

The maximum loading capacity for universal testing machine and compressive and bending testing machine are 2000kN and 1000kN respectively.

水理研究室

3次元角柱周辺の流れ構造の縦断面可視化装置

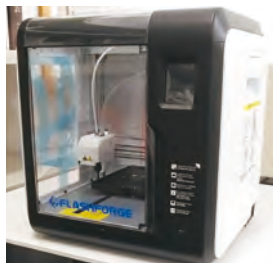
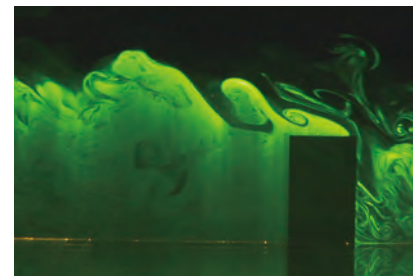
3次元角柱周辺の渦構造の縦断面可視化が示されています。たとえば円柱や角柱などのような物体の後流には多くの解明されていない流体力学の謎が残されていることがよく知られています。しかしながら、本研究室では、流れの可視化法とPIVを用いて、徐々に物体周辺に形成される渦構造とそれに誘起される流速の特性を明らかにしつつあります。

Hydraulics Laboratory

Side view of vortical structure near 3D rectangular cylinder visualized by halogen light sheet method.

This picture shows the side view of many vortical structure near 3D rectangular cylinder. It is known that wake flow of body, as in e.g. cylinder, rectangular cylinder have a lot of undiscovered problem.

But in this laboratory, this vortical structure and induced velocity characteristics near 3D rectangular cylinder gradually are elucidated by flow visualization technique and PIV.



建築・都市デザイン研究室

3Dプリンター

建築物や都市デザインのアイデアを三次元的に製作することで、創造性や表現力を高め、実際のものづくりと地域の就労支援に貢献します。

Architecture and Urban Design Laboratory

The three-dimensional printer can support student's creativity and the impression ability by making the flexible design items. Finally these activities contribute to practical design and local employment support.

水環境研究室

水質分析装置

河川水や生活排水など様々な環境中から採取した水について、有機物(化学的酸素要求量:COD)による汚染や窒素等の観点から、水の汚れ度合いを数値化して評価します。

Water Environmental Laboratory

For the evaluation of water environment, the water quality analyzers can measure various water quality parameters, such as Chemical Oxygen Demand (COD) or nitrogen compounds concentrations of river water, sewage and so on.



一般科目

Liberal Arts Division

一般科目は、広い視野を持った優れた技術者を育成するために、豊かな教養を身につけることと、工学のそれぞれの分野の専門知識や技術を修得するために必要な学問的基礎を学ぶことを目的として設けられています。さらに、21世紀を生きぬく人間のための教養教育としての視点から、「個性豊かな文化を創造し、進んで国際社会の発展に貢献できる、主体性のある調和のとれた教養豊かな人間の育成」を総括目標とする教養課程を編成しています。

一般科目の履修単位数は、卒業に必要な総履修単位数のおよそ49%ですが、1年から3年までに、基礎教養科目を中心にその80%を履修し、さらに4年・5年では、専門性の高い教養科目を学ぶことになっています。

なお、昭和62年度(1987年度)から、1年生については、専門の授業科目を除き、学科の壁を取り除いた混合学級編成を行っています。また外国語教育では、外国人教師による指導や、会話における少人数クラス編成の授業も行われています。

The purpose of Liberal Arts subjects is to make our students well-educated engineers who have achieved basic knowledge of liberal arts, namely, humanities and academic subjects, which is essential to those who aim at obtaining technologies and skills of their own fields or majors. With the coming of the 21st century, we have updated our curriculum with a view to ultimate success in helping our students grow up to be technical experts with well-balanced educational background and identity. We hope our graduates will surely help create rich culture full of individuality and will be willing to contribute to the progress of international society.

Liberal Arts subjects amount to 49% of the total number of liberal arts credits required for graduation, and 80% of them are taken in the first three years as common basic knowledge of liberal arts for the three majors at our college. The fourth-year and the fifth-year students go on to take the rest of liberal arts subjects as well as most of their major subjects. Native speakers teach all of our English Conversation classes. Each of the second-year English Conversation class has been split up into two smaller-size classes.

Since 1987, our college has adopted what is called "Kongo Gakkyu", in which the first-year students are rearranged into three major-mixed classes so as to help them get acquainted with students of the other two majors as well.

※Ⅰ：学則第14条第2項第1号に定める学修単位のうち、授業30時間、自修15時間で構成されるもの(学修単位数Ⅰ)を示す。

※Ⅱ：学則第14条第2項第1号に定める学修単位のうち、授業15時間、自修30時間で構成されるもの(学修単位数Ⅱ)を示す。

教育課程 Curriculum

	授業科目	Subjects	単位数 Credits	学年別単位数 Credits by Year					備考
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	
必修科目 Required Subjects	国語ⅠA	Japanese I A	2	2					
	国語ⅠB	Japanese I B	2	2					
	国語Ⅱ	Japanese II	2		2				
	国語Ⅲ	Japanese III	2			2			外国人留学生除く
	歴史	History	4	2	2				
	倫理	Ethics	2		2				
	政治・経済	Politics and Economics	2	2					
	哲学	Philosophy	2			2			外国人留学生除く
	数学ⅠA	Mathematics I A	3	3					
	数学ⅠB	Mathematics I B	3	3					
	数学ⅡA	Mathematics II A	3		3				
	数学ⅡB	Mathematics II B	3		3				
	数学ⅢA	Mathematics III A	2			2			
	数学ⅢB	Mathematics III B	2			2			
	※Ⅰ 微分積分学Ⅰ	Differential and Integral Calculus I	1				1		
	※Ⅰ 微分積分学Ⅱ	Differential and Integral Calculus II	1				1		
	※Ⅰ ベクトル解析	Vector Analysis	1				1		ME, IE
	※Ⅰ 線形代数	Linear Algebra	1					1	CA
	科学と人間生活	Science and Our Daily Life	2	2					
	物理Ⅰ	Physics I	2		2				
	物理Ⅱ	Physics II	2			2			
	※Ⅰ 応用物理	Applied Physics	2				2		
	化学基礎	Introductory Chemistry	2	2					
	化学Ⅰ	Chemistry I	1		1				
	化学Ⅱ	Chemistry II	1		1				
	体育	Physical Education	8	2	2	2	2		
	保健	Health Education	1	1					
	芸術	Art	2		2				
	基礎英語R	Introductory English R	2	2					
	基礎英語W	Introductory English W	1	1					
	総合英語ⅠR	Comprehensive English I R	2		2				
	総合英語ⅠW	Comprehensive English I W	2		2				
	総合英語ⅡR	Comprehensive English II R	2			2			外国人留学生除く
	総合英語ⅡW	Comprehensive English II W	1		1				
	総合英語演習Ⅰ	Comprehensive English Exercises I	2				2		外国人留学生除く
総合英語演習Ⅱ	Comprehensive English Exercises II	1					1		
英会話	English Conversation	3		1	1	1			
日本語	Japanese	6			4	2		外国人留学生科目	
日本事情	Japanese culture	2			2			外国人留学生科目	
課題発見解決プロジェクトⅠ	Problem Discovery and Resolution Project I	1	1						
修得単位数	Credits Required	77	25	25	16		10 9 2	ME, IE CA	
選択科目 Elective Subjects	人文学・社会	日本語学・日本文学	1				1		注① 注②
		中国文学	1				1		
		歴史学	1					1	
		心理学	1					1	
		人文社会特講	2				1	1	
	外国語	ドイツ語	3				2	1	
		英語特別演習	1					1	
		中国語	3				2	1	
	自然科学	生物学	1				1		
		物理化学	1				1		
		自然科学特講	1				1		
		科学史	1				1		
		応用解析学概論	3				3		
		応用数物演習	1					1	
		語学研修	2			2 (在学中1回のみ)			
開設単位数計	Credits Offered	23	2	2	2	16	9		
特別活動	Special Activities	3	1	1	1				



注① 4年では人文・社会領域から2科目または外国語領域から1科目選択し、自然科学領域から1科目選択する。ただし、応用解析学概論は、通年3単位、他科目は半期1単位で開講する。

注② 5年では人文・社会領域から1~2科目または、人文・社会領域、外国語領域からそれぞれ1科目選択する。ただし、ドイツ語及び中国語は4年まで履修した科目を継続する場合に限り選択することができる。

ME：機械電気工学科 IE：情報電子工学科 CA：土木建築工学科

教員 Teaching Staff

職名 Title	氏名 Name	研究テーマ Subject of Research	専門分野 Field of Expertise	校務 School Affairs
教授 Professor	倉増 泰弘 KURAMASHI, Yasuhiro	英語学習に対する動機づけ Motivation Toward Learning English	英語教育 English Language Teaching	副校長(総務主事) Vice President(Dean of General Affairs) 教育研究支援センター長 Director of Support Center for Education and Research
教授 Professor 博士(文学) Ph.D	高橋 祥吾 TAKAHASHI, Shogo	アリストテレス哲学の研究 A Study of Aristotle's Philosophy	哲学 Philosophy	教務主事補 Vice-Dean of Academic Affairs
准教授 Associate Professor 博士(数学) Ph.D(Mathematics)	米田 郁生 YONEDA, Ikuo	幾何的モデル理論 Geometric Model Theory	論理学と数学基礎論 Logic and Foundations of Mathematics	キャリア教育・学習支援室キャリアアドバイザー Career Advisor
准教授 Associate Professor	上田 真梨子 UEDA, Mariko	英語ディベートの準備指導 Pre-debate Activities for English Classes ディベート自学ツールの開発 Development of Self-learning Materials for Debate	英語教育 English Language Teaching	グローバル教育センター長 Assistant President (Director of Center for Global Education)
准教授 Associate Professor 博士(理学) Ph.D.in Sc.	菊地 右馬 KIKUCHI, Yuma	中性子ハロー核、クラスター構造に関する理論研究 Theoretical Study on Neutron Halo and Cluster Structure in Atomic Nuclei	原子核物理 Nuclear Physics	学科主任 Chief of Department 教育改善 I 室長 Chief of Institutional Research for Educational Improvement Office
准教授 Associate Professor 博士(理学) Dr.Sc.	山本 拓生 YAMAMOTO, Takuo	光子の波動関数 Wave Function of a Photon 実在論の観点からの量子論 Ontological Interpretation of Quantum Mechanics	数理物理学 Mathematical Physics	1年3組担任 Class Teacher
准教授 Associate Professor 博士(文学) Ph.D	奥山 広規 OKUYAMA, Hiroki	ギリシア語碑文 Greek Epigraphy グラフィッティ Graffiti	古代ローマ史 Ancient Roman History	図書館長 Director of the Library 2年担任 Class Teacher
准教授 Associate Professor 博士(体育学) Ph. D.	北 哲也 KITA, Tetsuya	動作解析によるスポーツパフォーマンスの評価 Evaluation of Sports Performance by Motion Analysis 一次救命処置 (BLS) 教育 Basic Life Support Education	スポーツバイオメカニクス Sport Biomechanics 保健・体育科教育 Health & Physical Education	1年1組担任 Class Teacher
准教授 Associate Professor 博士(文学) Dr.D.	木下 響子 KINOSHITA, Kyoko	吉屋信子の〈家庭小説〉における女性像 Female Representations in the Domestic fiction of YOSHIYA Nobuko ジェンダー研究 Gender Studies 女流文学会という〈場〉について The Women's literary association as a cultural site	日本近代文学 Modern Japanese Literature	
准教授 Associate Professor	高槻 侑吾 TAKATSUKI, Yugo	夏目漱石作品とメディアの関係 The Relationship between Soseki Natsume's Works and the Media	日本近代文学 Modern Japanese Literature	学生主事補 Vice-Dean of Student Affairs
准教授 Associate Professor 博士(理学) Dr.Sc.	伊藤 祐太 ITO, Yuta	超弦理論に基づく初期宇宙のダイナミクスの数値的研究 Numerical Study on Dynamics of the Early Universe Based on Superstring Theory	素粒子物理学 Particle Physics	専攻科幹事 Secretary of Advanced Course テクノ・リフレッシュ教育センター参事 Associate Vice Director of Center for Collaborative Research and Education
准教授 Associate Professor 博士(理学) Ph. D. in Sc.	中村 康晴 NAKAMURA, Yasuharu	多自由度のある界面/表面における超伝導の理論研究 Theoretical Research of Superconductivity in Interface/Surface with Multiple Degrees of Freedom	物性物理学 Condensed Matter Physics	1年2組担任 Class Teacher
助教 Assistant Professor	リービス カーティス REVIS, Curtis	内容言語統合型学習 Content and Language Integrated Learning (CLIL)	文芸と量子物理学の学際的研究 Interdisciplinary Studies of Literary Arts and Quantum Physics	グローバル教育センター員 Member of Center for Global Education
助教 Assistant Professor	石飛 朱萌 ISHITOBI, Ayame	体育授業における創造性の育成と変容 Cultivation and Transformation of Creativity in Physical Education Classes	体育科教育学 Physical Education	寮務主事補 Vice-Dean of Dormitory Affairs 学生相談室相談員 Student Counseling Officer

非常勤講師 Part-time Lecturer

氏名 Name	担当科目 Subject	勤務先
長戸 喜隆 NAGATO, Yoshitaka	英語 English	周南公立大学 Shunan University
新枝 美帆 ATARASHI, Miho	英語, ドイツ語 English, German	
ターシー・ドゥワイヤー DWYER, Darcy	英語 English	
ペリー・チェインバース CHAMBERS, Perry	英語 English	
徳永 彩理 TOKUNAGA, Sairi	中国語 Chinese	
山尾 和宏 YAMAO, Kazuhiro	日本語 Japanese	
長廣 恭子 NAGAIRO, Kyoko	数学 Mathematics	
河田 正樹 KAWADA, Masaki	数学 Mathematics	
大橋 正夫 OHASHI, Masao	化学 Chemistry	
谷本 圭司 TANIMOTO, Keiji	中国文学 Chinese Literature	
山田 哲生 YAMADA, Tetsuo	工芸 Industrial Arts	(株) 吉香窯
佐古 淳子 SAKO, Junko	美術 Fine Arts	周南公立大学 Shunan University
古川 昭夫 FURUKAWA, Akio	音楽 Music	
山本 伸 YAMAMOTO, Shin	書道 Art of Calligraphy	
羽瀨 由子 HABUCHI, Yoshiko	心理学 Psychology	
中野 行真 NAKANO, Koushin	倫理 Ethics	
沖田 道世 OKITA, Michiyo	数学 Mathematics	
天内 和人 AMANAI, Kazuhito	生物 Biology	

専攻科

Advanced Courses

専攻科とはなにか What is an Advanced Course ?

専攻科は高専5年間の課程卒業者を主たる対象者として、さらに深く教育研究が行えるように設けられた2年制の課程です。徳山高専には平成7年度に、全国で10番目に設置されました。

専攻科では一定の要件を満たせば、日本技術者教育認定機構 (JABEE) の「設計情報工学」プログラムの修了認定を受けることができます。応用理学部門の技術士補となる資格が与えられ、技術士および国際的技術者への道が大きく広がります。また、一定の要件を満たすことで、大学改革支援・学位授与機構から「学士」の学位を得ることができます。大学の学部卒業者と同一資格を得ることができ、大学院への進学も可能となります。大学院では、学部卒業者とひと味違った活躍が期待されます。これまでの専攻科修了生の大学院での評価は高く、推薦入学を実施する大学院も増えてきています。

入学料は84,600円、年間授業料は234,600円です。これは高専本科と同じ金額であり、国立大学のおよそ4割です。したがって、本科から大学3年次へ編入するコースと比べると、経済的負担がずいぶん軽くなっています。

The advanced course is a two-year educational system that enables students who have graduated from regular course to pursue opportunities for advanced education and research. At present, 59 Colleges of Technology have the advanced course system. Tokuyama College of Technology added the advanced course system in 1995.

The students can obtain the JABEE certificate in Communication and IT-based Design Engineering and a bachelor's degree after the completion of the two-year advanced course and the JABEE program. The National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education certifies the degree. So the completion of the advanced course means that you are qualified as a Fundamental Engineer in Applied Science, which could successfully lead you to be a Professional Engineer and a world-class engineer in the future. After obtaining the bachelor's degree, the students can go on to a graduate school.

The entrance fee is 84,600 yen and the college tuition is 234,600 yen per year. They are both considered to be inexpensive in the Japanese higher educational system.

本校専攻科の特色 Features of Advanced Courses

1. 特別研究の重視・充実 Emphasis on Research

本科において卒業研究を重視・充実した方針を継続発展させ、本校専攻科でも特別研究を学修成果の集大成として位置づけています。専攻科では「さらに高度な開発能力」を育成するため、特別研究の成果の公表に関し、次の基本方針を定めています。

The most important objective is the "Advanced Research". The advanced course encourages students to write their research papers. Research papers should be presented and published in domestic or international journals.

目標：学会誌への掲載
Final Goal : Publishing a Paper

単位取得要件：学協会での発表
Requirement : Presenting a Paper

特別研究の目標 Goal of the Advanced Research

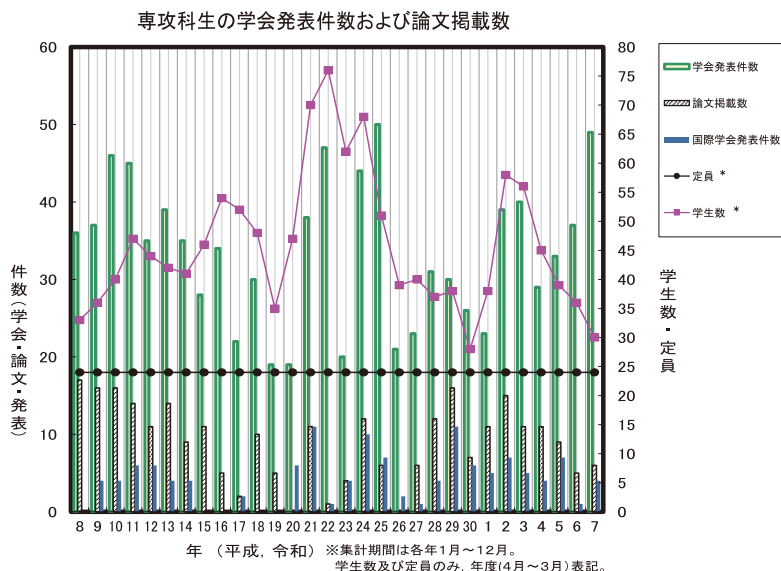
学内では2年次末に特別研究発表会を開き、論文集を刊行しています。なお、特別研究の指導はその資格を満たした教員が担当しています。

The graduation research reports are published every year. Faculty members who are qualified for the Advanced Research assist the students in their thesis.

2. 活発な学協会での発表 Publishing the Thesis

特別研究の成果は広く学協会に発表されており、その状況はきわめて活発です。学協会における講演発表は例年平均25~30件程度行われています。また学生の研究が学会から表彰される例も多く、目標としている「さらに高度な開発能力」を育成しつつあります。これらの実績は、学外からきわめて高い評価を受けています。

The advanced course encourages students to write their thesis papers. Students' research papers are often honored by academic societies.



3. 充実した教養科目

A Wide Variety of Liberal Arts

技術者として「世界に通用する」ためには、地球規模でいろいろなことを考え、行動することが強く求められています。コミュニケーション能力も、英語のみならず日本語に関しても、あるレベルまで養う必要があります。また、基礎科学の知識も広く修得しておくことが肝要です。さらに、リーダーシップのとれる技術者として、就業への心構えを整えることも重要です。これらの要求に対応できるよう、「技術者の倫理」「国際比較文化論」「日本語表現法」「生命科学」「産業論」など、充実した教養科目を開設しています。

In order to be a world-class engineer, one must be able to think and act globally. One should also have a command of English and good communication skills, even in Japanese. Besides an extensive knowledge of fundamental science, one should always be ready to work as an engineer with leadership quality.

A wide variety of liberal arts courses such as Engineering Ethics, Cross-Cultural Study, Japanese Technical Writing, Life Science and Current Industrial Issues is offered to train the students to be such world-class engineers.

4. 基礎学力、特に英語力の充実

Instilling Rudimentary Knowledge and Skills, Putting Special Emphasis on English Communication Skills

「世界に通用する」技術者になるためには、国際的な共通語である英語力の育成抜きにその実現は考えられません。本校専攻科では、その実現のため有用な多くの科目を開設し、具体的にはTOEICを対象に、次の基本方針を定めています。

It is necessary to have a command of English to be a world-class engineer. The advanced course system offers useful courses so that the students can fulfill the desirable score shown below.

目 標 : TOEICスコア470以上
Desirable Score : Over 470 in TOEIC Test

5. 実践力と結びついた知識の総合化と創造力の育成

Training Students to Use Their Extensive Knowledge Practically and Develop Their Creativity

高専では、「高度なモノづくりをなしうる実践力」を養うことをめざしています。それを可能にするには様々な知識が必要であり、特に本校がめざしている複合技術分野ではその必要性が増してきます。本校専攻科では、それらの実現には知識の総合化が不可欠であると考えており、そのためいくつかの総合科目や実験ならびに演習を準備しています。

また、創造力の育成も重要なポイントです。自主的に取り組む講義や演習を通じ、本科で培った創造力に総合力を加味し、さらに磨きをかけるよう努力しています。

One of the aims of technical college education is to ensure the students be able to produce things with technical prowess. Extensive knowledge is necessary for the students to achieve that aim, especially in interdisciplinary fields to which our college pays close attention. The advanced course provides the students with lectures, experiments and exercises useful for helping them use their extensive knowledge in a practical way.

Developing their creativity is also very important. Heuristic classes and exercises help students combine the extensive knowledge and creativity nurtured through the five-year regular study to hone their technical edge.

6. 密度の濃い長期インターンシップの実施

A Practical Internship Program

「実践力」のある「開発型」技術者として成長するためには、現実の課題に取り組む訓練を積むことがきわめて重要です。本校専攻科では、1年次の前期にインターンシップを行います。企業などで課題に取り組むことにより、社会で通用する知識を確認し、それらをさらにブラッシュアップするとともに、不足している知識を知り、新たな課題を見出すことにもなります。インターンシップをより有効に機能させるため、実習期間は約2ヶ月と長期間にわたります。

To be a good engineer requires experience in dealing with actual problems. As an opportunity for such experience, the advanced course assigns internships to all first-year students. They are required to work as interns at various companies and schools for about two months.

By tackling on-the-spot problems at companies, they will find what knowledge is useful, what skills need to be improved and how to solve future problems.

7. 情報関連等外部資格の取得

Passing Qualifying Examinations

本校では、教育プログラムのベースとなる情報技術及びこれまで学習した「実践的」な知識の客観的・総合的な評価のために、情報関連等外部資格の取得を推奨しています。主な資格は以下のとおりです。

To prove objectively that the advanced course students have gained enough practical knowledge and a good command of information technology, they are required to pass at least one of the following qualifying examinations.

- | | | |
|-------------------------|-------------------|-------------------|
| ・情報処理技術者試験 | ・CAD利用技術者試験 | ・二級建築施工管理技術検定（学科） |
| ・電気通信工事担任者試験 | ・機械設計技術者試験 | ・福祉住環境コーディネーター検定 |
| ・デジタル技術検定試験 ※令和5年6月以降休止 | ・二級建築士 | ・土木学会認定2級土木技術者 |
| ・CG-ARTS検定 | ・二級土木施工管理技術検定（学科） | |

8. 社会人の受け入れ

Entrance of Engineers of Company

本校では、企業との共同研究を積極的に行う方針を打ち出しています。その意味からも、企業で活躍している社会人技術者に広く門戸を開放し、積極的に受け入れる体制をとっています。技術や知識のリフレッシュを主目的とする場合はもちろんですが、企業で抱えている問題にじっくり取り組むことも可能です。

National Institute of Technology, Tokuyama College encourages collaboration with companies providing opportunities for the engineers of companies to enter the advanced course. The advanced course enables engineers to resolve engineering problems that have arisen and to refresh their skills.

9. 入学者選抜方法

Peculiar Entrance Examination System

選抜方法は学校長の推薦による選抜、学力検査による選抜、社会人特別選抜の三とおりがあります。本専攻科の大きな特徴は、学校長推薦において卒業研究計画書の提出を課している点であり、研究面における基礎的素養ならびに研究への意欲を評価しています。

There are three entrance examination systems i.e., “Examination by Presidential Recommendation of Various Colleges”, “General Entrance Examination” and “Examination by Industrial Recommendation”.

志願者数と入学者数 Applicants and Admissions

入学年度	2022		2023		2024		2025		2026	
区分 Classification	志願者 Apply	入学者 Admit	志願者 Apply	入学者 Admit	志願者 Apply	入学者 Admit	志願者 Apply	入学者 Admit	志願者 Apply	入学者 Admit
推薦選抜 Pres.Rec.	12	12	12	12	10	10	11	11	12	12
学力選抜 General Exam.	17	8	26	6	11	7	10	2	12	3
社会人特別選抜 Ind.Rec.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計 Total	29	20	38	18	21	17	21	13	24	15

機械制御工学専攻

Mechanical and Control Engineering Course

機械制御工学専攻の教育目標は、「データ・情報・通信技術を活用し、持続可能な社会を実現する機械システムを設計開発する技術者の育成」です。本校の機械電気工学科あるいは他校の機械工学系及び計測制御工学系に共通する自然科学、実験、演習、特別研究さらにインターンシップや英語に重点をおき、さらに専門性を高めるため「材料」、「エネルギー」、「情報」、「設計・加工」に関連する選択科目を開設しています。

The course aims to educate the students to be able to design and develop mechanical systems that contribute to a sustainable society through the application of data science and ICT.

Mechanical and Control Engineering Course puts an emphasis on natural sciences, experiments, practical training, advanced research and internship program. It also offers elective subjects relating to materials, energy, information, and design and production to help the students develop their technical knowledge.

教育課程 Curriculum

授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別開設単位数 Credits you can acquire		
		1年 1st	2年 2nd	
教養科目 General Subjects	日本語表現法 Japanese Technical Writing	2	2	
	科学英語表現法 Technical English Writing	2		2
	技術者の倫理 Ethics for Engineers	2		2
	国際比較文化論 Cross-Cultural Study	2		2
	総合英語 Extensive English Exercises	2	2	
	産業論 Current Industrial Issues	2	2	
	経営管理 Business Administration	2	2	
	安全工学概論 Introduction to Safety Engineering	2		2
	教養必修科目小計 Subtotal	16	8	8
	経営工学 Industrial Engineering	2		2
英会話 English Conversation	2		2	
教養選択科目小計 Subtotal	4		4	
教養科目計 Subtotal	20	8	12	
専門基礎科目 Department Fundamental Subjects	一般化学 General Chemistry	2	2	
	物理科学 Physical Science	2	2	
	生命科学 Life Science	2		2
	機械制御工学専攻英語講読 Technical English of Mechanical and Control Engineering	2	2	
	専門基礎必修科目小計 Subtotal	8	6	2
	応用統計学 Applied Statistics	2	2	
	工学解析 Engineering Analysis	2	2	
	情報論理学 Logic and Software	2	2	
	Engineering Mathematics Engineering Mathematics	2		2
	専門基礎選択科目小計 Subtotal	8	6	2
専門基礎科目計 Subtotal	16	12	4	
必修 Required	インターンシップ Internship	6	6	
	機械制御工学専攻総合実験 Experiment of Mechanical and Control Engineering	2	2	
	コンピュータ総合演習 Practice of Computer	2	2	
	機械制御工学専攻総合演習 Practice of Mechanical and Control Engineering	2		2
	応用研究 Applied Research	2	2	
	特別研究 Thesis Work	6		6
	専門必修科目小計 Subtotal	20	12	8
	電気電子材料 Electrical and Electronic Materials	2		2
	弾性力学 Mechanics of Elasticity	2	2	
	材料強度学 Strength and Fracture of Materials	2		2
バイオメカニクス Biomechanics	2		2	
# 材料設計工学 Materials for Design	2		2	
流体制御工学 Fluid Control Engineering	2	2		
# 熱流体工学 Dynamics of Heat and Fluid Flow	2		2	
# CAE Computer Aided Engineering	2		2	
応用計測工学 Applied Measurement Engineering	2	2		
回路応用設計 Applied Circuit Design	2	2		
応用電磁気学 Applied Electromagnetism	2		※2	
電気電子工学特論 Electrical and Electronics Engineering	2		※2	
情報工学特論 Advanced Information Engineering	2		※2	
応用通信工学特論 Applied Communication Engineering	2		※2	
システム制御工学 System Control Engineering	2		2	
# システム設計工学 System Design Engineering	2		2	
# ロボット制御工学 Robot Control Engineering	2		2	
半導体電子工学 Semiconductor Electronics	2		2	
専門選択科目小計 Subtotal	36	8	20	
専門科目計 Subtotal	56	20	28	
合計 Total of Required Credits	92	40	44	
		8 ※		

専攻科修得単位数 66単位以上修得【必修44単位（教養科目16単位、専門基礎科目8単位、専門科目20単位）、選択22単位以上（専門基礎科目2単位以上、専門科目20単位以上、ただし総合科目（#印）を4単位以上修得すること）】 ※印は、いずれかの学年で開設（隔年開講）

情報電子工学専攻

Computer Science and Electronic Engineering Course

情報電子工学専攻の教育目標は、「コンピュータを核とする多様なシステムを設計・開発する技術者の育成」です。本校の情報電子工学科あるいは他校の情報工学系及び電子工学系に共通する自然科学、実験、演習、特別研究さらにインターンシップや英語に重点をおき、高度化する情報化社会に対応するため、コンピュータを核とする「情報処理システム」、「情報通信システム」、「コンピュータ応用機器システム」などの融合システムに関連する選択科目を開設しています。

The course aims to educate the students to be able to design and develop various computer-based systems.

Computer Science and Electronic Engineering Course puts an emphasis on natural sciences, experiments, practical training, advanced research and internship program. In order to meet the needs of a highly-developed information-oriented society, it also offers elective subjects relating to compound systems, such as information processing system, information and communications system, and system for computer-applied machines.

教育課程 Curriculum

授業科目		Subjects	単位数 Credits	学年別開設単位数 Credits you can acquire		
				1年 1st	2年 2nd	
教養科目 General Subjects	必修 Required	日本語表現法	Japanese Technical Writing	2	2	
		科学英語表現法	Technical English Writing	2		2
		技術者の倫理	Ethics for Engineers	2		2
		国際比較文化論	Cross-Cultural Study	2		2
		総合英語	Extensive English Exercises	2	2	
		産業論	Current Industrial Issues	2	2	
		経営管理	Business Administration	2	2	
		安全工学概論	Introduction to Safety Engineering	2		2
		教養必修科目小計	Subtotal	16	8	8
	選択 Elective	経営工学	Industrial Engineering	2		2
英会話		English Conversation	2		2	
教養選択科目小計		Subtotal	4		4	
教養科目計		Subtotal	20	8	12	
専門基礎科目 Department Fundamental Subjects	必修 Required	一般化学	General Chemistry	2	2	
		物理科学	Physical Science	2	2	
		生命科学	Life Science	2		2
		情報電子工学専攻英語講読	Technical English of Computer Science and Electronic Engineering	2	2	
		専門基礎必修科目小計	Subtotal	8	6	2
	選択 Elective	応用統計学	Applied Statistics	2	2	
		工学解析	Engineering Analysis	2	2	
		情報論理学	Logic and Software	2	2	
		Engineering Mathematics	Engineering Mathematics	2		2
		専門基礎選択科目小計	Subtotal	8	6	2
専門基礎科目計		Subtotal	16	12	4	
必修 Required	インターンシップ	Internship	6	6		
	情報電子工学専攻総合実験	Experiment of Computer Science and Electronic Engineering	2	2		
	論理設計	Logic Design	2	2		
	情報電子工学専攻総合演習	Practice of Computer Science and Electronic Engineering	2		2	
	応用研究	Applied Research	2	2		
	特別研究	Thesis Work	6		6	
	専門必修科目小計	Subtotal	20	12	8	
専門科目 Department Subjects	選択 Elective	電気電子材料	Electrical and Electronic Materials	2		2
		# 深層学習応用	Applied Deep Learning	2		2
		分散システム概論	Introduction to Distributed Systems	2		2
		通信ネットワーク工学	Communication Network	2		2
		# コンピュータネットワークプロトコル	Computer Network Protocol	2		2
		光情報処理	Optical Information Processing	2		2
		# コンピュータ構成学	Computer Architecture	2		2
		半導体電子工学	Semiconductor Electronics	2		2
		システム計測工学	System Measurement	2	2	
		# メディア信号処理	Media Signal Processing	2		2
フィードバック制御論	Introduction to Feedback Control	2	2			
システム制御工学	System Control Engineering	2		2		
専門選択科目小計	Subtotal	24	4	20		
専門科目計		Subtotal	44	16	28	
合計		Total of Required Credits	80	36	44	

専攻科修得単位数 66単位以上修得【必修44単位（教養科目16単位、専門基礎科目8単位、専門科目20単位）、選択22単位以上（専門基礎科目2単位以上、専門科目20単位以上、ただし総合科目（#印）を4単位以上修得すること）】

環境建設工学専攻

Environmental and Civil Engineering Course

環境建設工学専攻の教育目標は、「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・開発する技術者の育成」です。本校の土木建築工学科あるいは他校の土木工学系に共通する自然科学、実験、演習、特別研究さらにインターンシップや英語に重点をおき、さらに専門性を高めるため「都市・交通」、「防災」、「環境」、「建築」に関連する選択科目を開設しています。

The course aims to educate the students to be able to design and develop infrastructure and architectural space, making the best use of computers.

Environmental and Civil Engineering Course puts an emphasis on natural sciences, experiments, practical training, advanced research and internship program. It also offers elective subjects relating to cities and traffics, disaster prevention, environment, and architecture to help the students develop their technical knowledge.

教育課程 Curriculum

授業科目		Subjects	単位数 Credits	学年別開設単位数 Credits you can acquire		
				1年 1st	2年 2nd	
教養科目 General Subjects	必修 Required	日本語表現法	Japanese Technical Writing	2	2	
		科学英語表現法	Technical English Writing	2		2
		技術者の倫理	Ethics for Engineers	2		2
		国際比較文化論	Cross-Cultural Study	2		2
		総合英語	Extensive English Exercises	2	2	
		産業論	Current Industrial Issues	2	2	
		経営管理	Business Administration	2	2	
		安全工学概論	Introduction to Safety Engineering	2		2
	教養必修科目小計		Subtotal	16	8	8
	選択 Elective	経営工学	Industrial Engineering	2		2
		英会話	English Conversation	2		2
		教養選択科目小計		Subtotal	4	
	教養科目計		Subtotal	20	8	12
	専門基礎科目 Department Fundamental Subjects	必修 Required	一般化学	General Chemistry	2	2
物理科学			Physical Science	2	2	
生命科学			Life Science	2		2
環境建設工学専攻英語講読			Technical English of Environmental and Civil Engineering	2	2	
専門基礎必修科目小計			Subtotal	8	6	2
選択 Elective		応用統計学	Applied Statistics	2	2	
		工学解析	Engineering Analysis	2	2	
		情報論理学	Logic and Software	2	2	
		Engineering Mathematics	Engineering Mathematics	2		2
		専門基礎選択科目小計		Subtotal	8	6
専門基礎科目計		Subtotal	16	12	4	
専門科目 Department Subjects	必修 Required	インターンシップ	Internship	6	6	
		環境建設工学専攻総合実験	Experiment of Environmental and Civil Engineering	2	2	
		建設プログラミング	Programming for Construction Engineers	2	2	
		環境建設工学専攻総合演習	Practice of Environmental and Civil Engineering	2		2
		応用研究	Applied Research	2	2	
		特別研究	Thesis Work	6		6
		専門必修科目小計		Subtotal	20	12
	選択 Elective	#耐震工学	Dynamic Analysis of Foundation	2		2
		鉄筋コンクリート特論	Advanced Concrete Technology	2	2	
		構造設計論	Structural Design	2	2	
		維持管理工学	Infrastructure Maintenance Engineering	2	2	
		計算工学	Computational Mechanics	2		2
		土質力学	Soil Mechanics	2		2
		建築生産論	Building Production Theory	2	2	
		#耐震基礎構造学	Dynamic Analysis of Foundation	2		2
		水理科学	Hydraulics	2	2	
		応用水理学	Applied Hydraulics	2		2
		#環境システム工学	Environmental System Engineering	2		2
		#住宅計画学	Planning of Housing	2	2	
		#都市環境計画学	Urban and Environmental Planning	2		2
		#建築設計計画学	Architectural Design and Planning	2		2
		専門選択科目小計		Subtotal	28	12
専門科目計		Subtotal	48	24	24	
合計		Total of Required Credits	84	44	40	

専攻科修得単位数 66単位以上修得【必修44単位（教養科目16単位、専門基礎科目8単位、専門科目20単位）、選択22単位以上（専門基礎科目2単位以上、専門科目20単位以上、ただし総合科目（#印）を4単位以上修得すること）】

図書館

Library

図書館は学術研究支援と教育資料の収集を目的として設置されています。

本校の図書館は、学校の中心部に位置し利用者にとって便利であると共に周南市街や瀬戸内海の美しい景色が一望できます。閲覧室には、約4万冊の図書と300種類の雑誌などがあり、学生証で借り出しができます。また、パソコンを利用して学内外の資料の検索が可能です。

Our college library is in the administration office building. From the library you can see a beautiful view of the Inland Sea and Shunan City.

About 40,000 books (including 800 books in foreign languages) and 300 magazines of various kinds are housed in an open air-conditioned room.

Students can borrow books with their ID cards. Literary references are easily through computers.

開館時間

月曜日～金曜日 9時～19時

（春季・夏季・冬季・学年末の休業期間中は）
月曜日～金曜日 9時～17時

Open

Monday ~ Friday 9:00-19:00

（Spring, Summer & Winter Vacations）
Monday ~ Friday 9:00-17:00

休館日

土曜日・日曜日・国民の祝日
年末・年始

Closed

Saturday, Sunday, National holidays
New year's holidays

蔵書冊数（令和8年3月31日現在） Collections of Books (As of March 31,2026)

	図書(冊) Books (Vols)	雑誌(種類) Periodicals (Kinds)	その他の資料(点) Other Materials (Kinds)
和漢書 Japanese	78,548冊	606種	1,049点
洋書 Foreign	8,988冊	251種	179点
合計 Total	87,536冊	857種	1,228点



実習工場・起業家工房

Workshop & Creation room

実習工場は機械加工、溶接、電子工作などを行うための設備がそろった施設です。機械電気工学科と土木建築工学科の授業で利用されるほか、NHK高専ロボコンのような課外活動や卒業研究など、様々な活動で利用されます。また、令和5年度には新たに起業家工房として3Dプリンタや卓上レーザー加工機などを備えた部屋をテクノ・リフレッシュ教育センター内に整備し、学生が気軽に製作活動を行える環境を整えています。

Our workshop is a facility equipped with equipment for machining, welding, and electronics work. In addition to being used for classes in the Mechanical and Electrical Engineering and Civil Engineering and Architectural Departments, it is also utilized for various extracurricular activities, such as the Robot Contest and graduation research. In 2023, a room equipped with 3D printers and desktop laser cutting machines was newly established as a Creation Room, fostering an environment where students can easily engage in manufacturing activities.



情報処理センター

Information Processing Center

情報処理センターは、外部接続回線、校内LANシステムおよび学内共有の教育用電算機システムの管理・運用を担当します。校内全ての部屋にネットワークの接続口である情報コンセントが設置されており、Wi-Fiについては校内のどこからでもネットワークに接続できる環境が整備されています。

令和5年4月より、高専機構共通システムが更新されました。認証アプライアンスサーバを用いて、教職員および学生の認証を一元管理し、安定したサービスの提供を行っています。

また、令和7年10月より教育用電算機システムも新しくなりました。ネットワークブート方式を採用し、OSやソフトウェアの更新作業の更なる効率化を図り、最新のソフトウェアを提供する環境を整えています。学生が自由に利用できるネットワーク端末（パソコン）が情報処理センターのパソコン室に合計50台用意されています。放課後（19時まで）は学生相談員が常駐し、学生は課題やレポートの作成などで、大いに利用しています。

The information processing center manages and operates leased lines connected to the Internet, a school LAN system, and an educational computer system shared in the school. Ethernet outlets are available in all rooms, and Wi-Fi access points are installed throughout the school to enable internet connectivity for our computers from anywhere within the school.

The Administration System for National Institute of Technology was updated in April of 2023. With this updated system, the information processing center manages the authentication and authorization of faculty members and students with the authentication appliance server and provides stable services.

In addition, we have renewed the educational computer system in October of 2025. Thanks to network boot technology, the OS and applications can be updated more efficiently, allowing the users to use the latest software. The computer rooms in the center have a total of 50 personal computers that students can use freely. Senior students who are good at using computers are assigned to work as assistants for other students until 7 p.m. after school. The center is full of students who are doing their homework and writing their papers.

情報処理センター管理システム Computer Systems of Information Processing Center

高専機構共通システム Administration System for National Institute of Technology	ファイヤウォール、認証アプライアンスサーバ、内部DNS/DHCPサーバ、NTPサーバ、システム監視サーバ、ログ管理サーバ、電源制御、無線LAN統合管理等	FortiGate FG-200F	1台
		Dell PowerEdgeR440 Server	2台
		Buffalo TeraStation TS5410RN0804	1台
校内LANシステム LAN Control System	DNSサーバ、Mailサーバ、Webサーバ、バックアップサーバ、Syslogサーバ、ファイルサーバ等	仮想化用サーバ ProLiant BL460c Gen8	3台
		共有ストレージサーバ StorageWoks P4500G2	2台
		バックアップサーバ ProLiant DL380p Gen8	1台
教育用電算機システム Computer Systems for Educational Use	ADサーバ、ファイルサーバ、ネットワークブートシステムサーバ	Dell PowerEdge R360	1台
		Synology FlashStation FS2500	1台
	学生用／教師用クライアントPC	Lenovo ThinkStation P2 Tower Gen2	51台
		管理用PC	Lenovo ThinkStation P2 Tower Gen2



テクノ・リフレッシュ教育センター

Center for Collaborative Research and Education

徳山高専が位置する周南地域（山口県東南部）は山口県での技術と企業の一大集積地です。徳山高専に対して周南地域唯一の工業系高等教育機関として多くの期待が寄せられています。

テクノ・リフレッシュ教育センターは、地域連携の拠点をめざして、技術相談、共同研究、各種セミナー等による技術交流の促進及び各種人材育成プログラム等による生涯学習の支援のための活動を行っています。特に、会員企業と徳山高専により構成される「徳山高専テクノ・アカデミア」では、これらのことをさらに進める特別な事業を展開しています。

Shunan is a great integrating area of technology and enterprises in Yamaguchi prefecture.

A large expectation is placed on National Institute of Technology, Tokuyama College a unique advanced educational institution of technology in Shunan area.

The objectives of the Center are to assist with the arrangement and accomplishment of cooperative projects, to be a consultant of technical problems for private enterprises and to hold refresher education for professionals.

Our college plays a vital role in research and development, and construction activities of Shunan area.

目的

山口県と周南地域の諸機構、大学、他高専等と連携して、地域産業界との技術交流や地域市民の生涯学習支援を推進することにより、徳山高専の教育研究の充実発展に寄与し、併せて地域社会に貢献する。

産学官技術交流

（1）技術相談

科学技術相談のみならず、地域社会の様々なニーズに関する相談に対応しています。また、徳山高専テクノ・アカデミア事業の一環として、徳山高専の教員が企業に出向いて交流を実施し、企業の抱えている課題等の解決策を探る技術相談にも積極的に応じています。

（2）各種セミナー・講演会の開催

徳山高専テクノ・アカデミア事業として、技術セミナー、特別セミナー及び特別講演会を開催しています。

（3）共同研究の推進

企業・団体等が徳山高専と行う共同研究、受託研究、試験研究等を仲介するとともに、その実施を支援します。徳山高専テクノ・アカデミア事業の中にも独自の共同研究制度があります。

（4）研究会活動の支援

地域の企業ニーズを集約し、産業振興のブレークスルーとなるような製品や商品の研究開発を目指して、個別の課題毎に産官学からなる小規模の研究会を設立し、その活動を支援します。

生涯学習支援

（1）人材養成講座（出前講座を含む）

徳山高専テクノ・アカデミアと共同で企業の若手技術者の人材育成を目的とした基礎技術講座を開設し、地元産業界の技術者育成を支援しています。

（2）出前授業・公開講座・サテライトイベント

「防災出前授業」などの出前授業、小・中学生を対象とした「サイエンス・ピクニック」、「プログラミング教室」などの公開講座を毎年実施しています。この他にも、科学技術の振興を図ることを目的とした講座や、「いんぐりっしゅ☆る〜む」などサテライトでのイベントを開催しています。

（3）出前授業・公開講座プラットフォーム

山口県東部地区を中心とした山口県全域対象の地域住民や企業に対し出前授業・公開講座メニューをプラットフォームの形で提供し、地域住民の生活・文化レベルの向上や企業活動の活性化に貢献することを目的とし、併せて徳山高専の山口県におけるプレゼンスの向上、入学希望者の維持・増加を図り地域住民・教育機関・産業界の好循環を推進することを目指し、地域にお住まいの子どもから大人の方まで、幅広い世代の方に提供できる魅力的な講座やイベントを実施します。

研究活動の推進

研究者の外部資金の獲得に関する取組の支援や、研究活動に係る審査等業務を担い、徳山高専における研究活動の推進・向上や研究環境の整備・管理につとめます。

主な活動状況

活動状況については「教員の研究活動」、「社会との連携」のページをご覧ください。

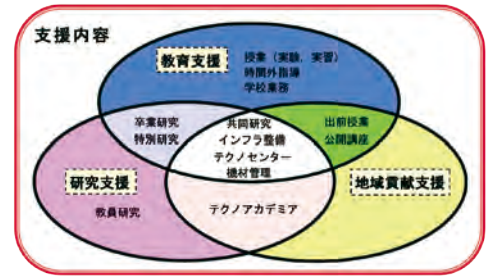


テクノ・リフレッシュ教育センターは令和2年度に改修工事を実施しました。駐車場からの歩道、身障者用駐車場及びトイレ等を設け、新しくなった建物はこれまでよりもさらに地域の皆様が訪れやすいセンターとなっています。

教育研究支援センター

Support Center for Education and Research

教育研究支援センターは、教育、研究、地域貢献活動を技術的側面から支援します。教育研究支援センター長と技術長を中心に、技術職員が3つの部署に分かれて、それぞれの専任業務を行っています。主な業務内容は授業や研究への支援、情報システム・情報セキュリティに関する支援、各種依頼への対応です。また、企業との共同研究、小・中学校への出前授業、公開講座など学内外問わず多岐にわたり支援をしています。

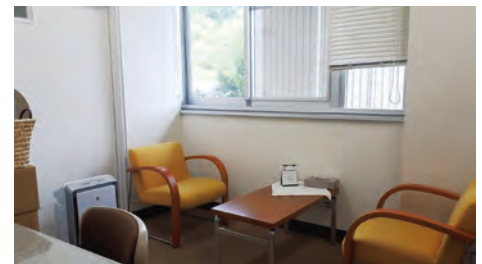


学生相談室

Student Counseling Office

学生相談室は、学生が抱えている悩みなどについての相談に応じ、その相談内容に関する適切な助言を行って、学生の精神的な面での健全な育成を図ることを目的として設置されています。具体的には、(1) 学生の抱える悩みに関する相談および助言、(2) 悩みを抱える学生を持つ学級担任への支援、(3) 相談・助言に関する調査などを行っています。

学生相談室には、一般科目を含めた各学科の相談員と健康相談員（看護師）がいます。希望に応じて、学生本人と保護者に対し、非常勤のスクールカウンセラーによるカウンセリングをしてもらうように仲介しています。



キャリア教育・学習支援室

Career and Learning Support Office

キャリア教育・学習支援室は、低学年から専攻科まで一貫したキャリア教育支援プログラムに基づく継続的なキャリア教育支援を行うことにより、キャリア形成とキャリアプラン実現のためのサポート体制の充実・強化を図ること、及び学生達の日々の学習をサポートし、安心して学生生活が送れるように支援することを目的に活動しています。

具体的には、学生が企業・自治体の採用担当者等から最新の採用情報・大学情報などを直接聞くことができる「キャリア・デー」や、県内企業を対象とした合同説明会「やまぐち企業交流フェス」の開催のほか、放課後の時間を利用した学習機会の確保のサポートなどを行っています。

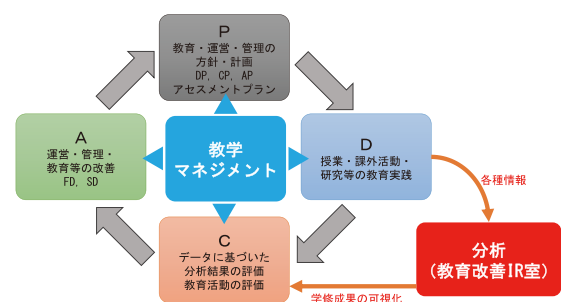


「キャリア・デー」の様子

教育改善IR室

Institutional Research for Educational Improvement Office

教育改善 IR 室は、本校の教育内容、教育手段、学習環境等について恒常的に点検・評価し、その結果に基づく継続的な教務運営にかかる意思決定を支援することにより、本校教育の質の向上を図ることを目的として設置されました。具体的には、教務データに基づいた各種分析、成績評価資料の分析、学生の状況を調査するための各種アンケートの実施・解析等を行い、その結果を学校全体で共有しています。これら一連の活動は、教学マネジメントの基盤として機能し、本校の教育の質保証に貢献しています。



教育改善IR室の位置づけ
(国立高専機構本部作成の教学マネジメントに関する資料を基に作成)

教員のFD / SD活動

Faculty Development / Staff Development

徳山高専では、社会に対する教育の質を保証することを目的として、この目的の達成に必要な不可欠な教員の教授能力や技能を向上させるための研修を実施しています。

In order to guarantee the quality of education for students, we conduct training to improve the educational skills.

徳山工業高等専門学校教育力向上FDプログラム実績（令和7年度）

○オープンクラスウィーク・授業見学（前期2回、後期2回）

○Faculty Café

開催日	テーマ
2025年7月11日	オープンクラスウィークを終えて等

その他学内でのFD活動 Participation in Faculty Development inside Tokuyama College

開催日	演題等	講師等
2025年12月1日	KIS評価について	国立高等専門学校機構本部 理事長特別補佐 本江 哲行 氏 学務参事補 上原 信知 氏

学外でのFD活動参加 Participation in Faculty Development outside Tokuyama College

開催日	参加研修名等	実施団体・組織等
2025年8月26日他	令和7年度高等専門学校新任教員研修会	国立高等専門学校機構
2025年10月28日他	令和7年度中堅教員研修会	国立高等専門学校機構
2026年3月25日	令和7年度中国地区高等専門学校教員研修	呉工業高等専門学校

学内でのSD活動 Participation in Staff Development inside Tokuyama College

開催日	演題等	講師等
2025年4月1日他	令和7年度新任教職員研修会	徳山工業高等専門学校教職員
2025年7月31日	採択される科研費申請のノウハウ	東北大・八戸高専名誉教授 長岡技術科学大学特任教授 岡田 益男 氏
2025年9月10日	学校生活での困り感を抱える学生への理解と支援	徳山工業高等専門学校スクールソーシャルワーカー 黒葛原 健太郎 氏
2025年9月30日	ハラスメントを起こさないコミュニケーション術	一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 アンガーマネジメントファシリテーター 植代 智子 氏
2025年11月6日他	令和7年度語学研修	eラーニング
2025年11月5日	高専の国際化について	国立高等専門学校機構理事 中島 英治 氏
2026年3月6日	教員の学生に対する接し方(コミュニケーション)	山口大学教育学部教授 春日 由美 氏
2026年3月10日	救命講習会(心臓マッサージ、AED取扱い)	周南市消防本部救急救命士

学外でのSD活動参加 Participation in Staff Development outside Tokuyama College

開催日	参加研修名等	実施団体・組織等
2025年4月16日他	令和7年度初任職員研修会	国立高等専門学校機構
2025年5月26日他	第54回会計事務職員契約管理研修	財務省
2025年6月12日	令和7年度中国地区メンター養成研修	人事院中国事務局
2025年7月1日	令和7年度「子供の健康とスマホ・ゲーム依存」講習会(オンデマンド開催)	公益財団法人日本学校保健会
2025年7月7日他	令和7年度新任課長研修会	国立高等専門学校機構
2025年7月22日他	令和7年度山口大学係長研修	山口大学
2025年8月1日	学校における飲酒防止教育支援研修会	公益財団法人日本学校保健会
2025年8月12日他	令和7年度情報セキュリティe-Learning	国立高等専門学校機構
2025年8月27日他	令和7年度西日本地域高等専門学校技術職員特別研修会(機械系)	国立高等専門学校機構
2025年9月4日	教育関係共同利用拠点令和7年度第1回FD/SD研修会 「マジョリティ特権を可視化する」の開催について	筑波大学ヒューマンエンバowerメント推進局
2025年9月4日他	令和7年度中国地区高等専門学校技術職員研修	呉工業高等専門学校
2025年9月24日	令和7年度中国地区キャリア支援研修30	人事院中国事務局
2025年9月25日	令和7年度中国地区キャリア支援研修20	人事院中国事務局
2025年10月2日	教育関係共同利用拠点 第5回FD/SD研修会 「キャンパスから社会へ!障害者雇用とDE&Iの新たな視点」	筑波大学ヒューマンエンバowerメント推進局
2025年10月16日他	令和7年度中国・四国地区国立大学法人等労務担当職員研修会	一般社団法人国立大学協会中国・四国支部
2025年11月6日	第2回中国地区管理監督者研修	人事院中国事務局
2025年11月19日他	令和7年度中国・四国地区国立大学法人等係長研修	一般社団法人国立大学協会中国・四国支部
2025年11月20日	令和7年度中国地区マネジメント研修	人事院中国事務局
2025年12月2日他	第55回中国地区中堅係員研修	人事院中国事務局
2025年12月15日他	令和7年度山口大学主任研修	山口大学
2025年12月10日他	ハラスメント防止に関する研修	国立高等専門学校機構
2025年12月19日他	法人文書・個人情報管理研修	国立高等専門学校機構
2025年12月19日	研究インテグリティ・研究セキュリティ研修会	文部科学省
2026年2月4日	研究セキュリティの確保に関する取組のための手順書説明会	内閣府
2026年2月16日	令和7年度学校保健研修会「保健管理」「学校の定期健康診断における脊柱の検査と脊柱側弯症について」(オンデマンド開催)	公益財団法人日本学校保健会
2026年3月26日	令和7年度科研費申請支援勉強会	国立高等専門学校機構

教員の研究活動

Research Activities

(1) 科学研究費助成事業応募状況 Number of Applicants Scientific Research

注：() は継続課題で内数

種目 年度	基盤研究 (B)	基盤研究 (C)	挑戦的研究 (開拓)	挑戦的研究 (萌芽)	若手研究	研究活動 スタート支援	学術図書	奨励研究	特別研究員 奨励費	計
令和 6	申請 採択	1 13(4)		1 6(4)				6 2		31(6)
令和 7	申請 採択	2 1		12(5) 5(5)		1 7(4)		6 1		29(9) 12(9)

(2) 科学研究費助成事業採択状況 (令和7年度) Grant-in-Aid for Scientific Research (2025)

(単位：千円)

研究種目 Research Items	研究課題 Research Theme	交付額 Funds
基盤研究(B)	月面道路および月面ブロック構造物の製造施工技術の開発-月面基地建設を目指して-	2,900
基盤研究(C)	KOSEN技術者英語教育における「国際自主探究」の教材開発と教育効果の検証	400
基盤研究(C)	グループウェアを活用した英語ディベート自学システムの開発	200
基盤研究(C)	窒化物半導体における励起子多体効果の発光デバイスへの応用可能性の検討	1,300
基盤研究(C)	航路予測モデルを軸とした不完全空間情報によるMaaSデータ連携基盤の研究	600
基盤研究(C)	自己位置推定で録音を変える：アドホックマイクロホンアレーシステムの実用化	1,200
基盤研究(C)	救命レジリエンスの構築に向けたBLS教育モデルの開発・実証に関する研究	550
若手研究	歩行中の関節間シナジー発現に関わる身体構造とその機構の解明	500
若手研究	Exploring dark energy inhomogeneities beyond the standard cosmology	800
若手研究	膨張宇宙における磁場を介した重力波とベクトル場の相互作用に関する研究	1,100
若手研究	生成モデルを用いた画像補完による橋梁3次元モデルの構築精度向上および損傷情報反映	900
若手研究	コンピュータ診断技術を活用した舌診断のためのeラーニングに関する研究	700
奨励研究	組込み教育の基礎に向けたマイコン学習教材の改良	380

(3) 寄附金受入状況 The Amount of Donations Received

(単位：千円)

令和3年度 2021		令和4年度 2022		令和5年度 2023		令和6年度 2024		令和7年度 2025	
件数 Number	金額 Funds	件数 Number	金額 Funds	件数 Number	金額 Funds	件数 Number	金額 Funds	件数 Number	金額 Funds
18	16,520	23	13,679	27	18,972	31	20,696	32	22,558

(4) 共同研究受入状況 (令和7年度) Joint Research with Private Enterprises (2025)

研究題目 Research Theme	研究方式 Form
3Dプリンターを用いた医療用インソールの開発に関する研究	分担型
通学路での危険事象の把握と対策効果に関する実践的研究	
3Dプリンターにて作製した咽頭モデル人形を活用した教育効果の検証	
高炉C種セメントコンクリートの実用化における耐塩害性能の検討	
BOOK HOTELを対象とする建築計画・都市計画的課題の検証	
CMPドレッシングシミュレーションの開発	
支援学校における生徒・教員の芸術創作活動を通じた交流と連携の促進のための基礎研究	
高圧洗浄フレキシブルランスの送り動作の自動化に関する調査研究と試作装置の開発	
MgOコンクリートの耐水性に関する研究	
汎用の個別化教育に関する研究	
超音波を利用した建設材料の減容化技術の開発	
機械加工に配慮した設計を行うための実技指導を通じた教育方法の研究	
マグネシウム系固化材と竹短繊維を用いた土系舗装材「かぐやロード」の性能評価に関する研究	
海水を使用したMOCコンクリートの強度特性、耐水性に関する研究	
公園に設置するインクルーシブ遊具としてのカムダウンボックスのデザイン開発	
酸素消費速度に着目した汚水処理の効率化に関する実践的研究	
障害者就労支援に関する実践研究	
生産設備の予知保全に関する基礎研究	
自走型ピンホールテスター走査用ロボットへの障害物回避機能の追加	
マグネシウム活用におけるCO2吸収性能とその他環境配慮に係る研究	
スポット溶接によって接合された2枚の帯鉄の引張強度の評価方法の模索(4)	
カシメによって接合された2枚の帯鉄の引張強度の評価方法の模索(4)	
自動草刈り機運転ロボットの試作品開発について	
モデル対象地区における土砂災害の危険性評価システムの開発と検討	
ゴムシート成型時における加熱手法および評価方法の検索	
Mg系固化材による土系舗装に関する研究	
TERP分散剤を使用したCMPスラリーの研磨評価	
施工管理（コンクリート品質確保）に関する検討	
カーボンニュートラル土系舗装材研究並びに生石灰副産物のCO2吸収研究	
水和硬化性マットにおけるCO2吸収特性の精査に関する研究	
水和硬化性マットによる減災方法に関する研究	
点群データを活用した景観検討教材の開発に関する実践的研究	
抵抗素子作製プロセス技術の高度化に関する研究	
フラNavi（山口県の現場見学会の総合プラットフォーム）による現場見学のすすめ	
既設構造物図面からの3次元モデルの自動生成による維持管理システムの構築	
DX技術活用による斜面情報取得の精度検証	
N23-ATTAC（トース土）の土中水分依存性評価モデルの開発	
生産設備の予知保全に関する応用研究	
侵食防止用植生マットの原材料変更による各種性能への影響検証	
カシメによって接合された2枚の帯鉄の引張強度の評価方法の模索(5)	
小学生向けの交通安全教材の開発と運用に関する実践的研究	

社会との連携

Cooperation with Society

(1) 徳山高専テクノ・アカデミア事業 What the Techno Academia Has Done with or for Local Companies

・アカデミア共同研究（令和7年度） Academia Collaborative Researches (2025)

研 究 題 目 Research Theme
生産設備の予知保全に関する基礎研究
マグネシウム系固化材による土系舗装に関する研究
超音波を利用した建設材料の減容化技術の開発
N23-ATTAC（トース土）の土中水分依存性評価モデルの開発
侵食防止用植生マットの原材料変更による各種性能への影響検証
水和硬化性マットによる減災方法に関する研究
水和硬化性マットにおけるCO2吸収特性の精査に関する研究
DX技術活用による斜面情報取得の精度検証
点群データを活用した景観検討教材の開発に関する実践的研究
酸素消費速度に着目した汚水処理の効率化に関する実践的研究

・産学連携研究会、人材養成講座（令和7年度） Industry-Academia Collaborative Study Groups, Human Resource Development Course (2025)

産学連携研究会	人材養成講座
ものづくりカアップ研究会 パート7	ネットワーク技術基礎講座5 ～実践！アクセス制御とトラブル対応編～
周南地域地盤防災技術研究会	技術士受験講座 ～技術士第二次試験対策講座「論文試験対策」～
働きながら資格を獲る2025 建築士部会	
プリント基板のインピーダンスコントロール	
社会人のための数学・物理学の学び直し研究会	
多様性の共生を目指した就労支援技術研究会	
防災教育の教材開発と実践に関する産学連携研究会	
通学路の交通安全に関する技術開発研究会	
地域活性のための連携推進研究会	

(2) 公開講座等（令和7年度） Extension Courses (2025)

講 座 名 Course Name	対 象 Target	日 程 Dates	会 場 Venue
いんぐりっしゅ☆る～む	市民一般	月2～3回程度 金曜日	徳山駅前賑わい交流施設
Jポップde国語2025夏一歌詞で学ぶことばの世界一	中学生	7月26日	徳山高専
紙飛行機を作ろう！	小学生	7月30日	徳山高専
流れと河川の科学	小学5年生～中学3年生	8月18日	徳山高専
体験型 ICTなぞとき+電子工作	小学4年生～中学3年生	8月19日	徳山高専
楽しく学ぶ！ArduinoとLEDでIoTプログラミング2025	小学5年生～中学3年生	8月20日	徳山高専
まるごと徳山高専2025 「空気で動く機械を作ろう！」 「針で聞こえるアナログスピーカーを作ろう！」 「三角の力を活かしたカラフル立体模型を作ろう！」	幼児、小学生	8月9日	徳山駅前賑わい交流施設

(3) 夏休みジュニア科学教室（主催：夏休みジュニア科学教室実行委員会）（令和7年度）

Science Courses Offered for Children during Summer Vacation (2025)

講座名 Course Name	対象 Target	日程 Dates	会場 Venue
放射線って何？身近な放射線の利用例から宇宙の解明まで	小学生	8月19日	徳山高専
パスタ・粘土タワーコンテスト～限りなき“高さ”への挑戦～	小学生	8月3日	徳山高専

(4) 地域からの依頼による開設講座等（令和7年度） Science and Engineering Classes Offered for the Local Communities (2025)

講座名 Course Name	対象 Target	日程 Dates	場所 Venue	
周南市役所企画部 企画課企画担当	橋の工作教室（レオナルドブリッジと石橋編）	一般	5月3日	TOSOH PARK 永源山
光市立浅江中学校	防災出前授業	中学2年生	5月30日	光市立浅江中学校
防府市立右田小学校	防災出前授業	小学5年生	6月16日・23日	防府市立右田小学校
阿武町立阿武中学校	防災出前授業	中学生	6月30日	阿武町立阿武中学校
周南市立菊川中学校	レイアウト講座	中学2年生	7月8日	周南市立菊川中学校
公立大学法人周南公立大学	周遊型ICTなぞとき（うばわれた色をとりもどそう！）	小学4～6年生	8月2日	公立大学法人周南公立大学
防府市青少年科学館 ソラール	サイエンスアカデミー 「水の汚れを調べよう！」	小学3～6年生	8月13日	防府市青少年科学館 ソラール
上関町教育委員会	ひみつ基地づくり	上関町放課後 子ども教室	8月27日	上関町総合 文化センター
下松市立東陽小学校	プログラミング学習	小学5～6年生	9月4日	下松市立東陽小学校
岩国市中央公民館 （愛宕地区）	高齢者セミナーさくら大学（愛宕） 「月面基地開発 -夢をあきらめないこと-」	地域住民	9月4日	岩国市装港供用会館
周南市立菊川中学校	レイアウト講座	中学1年生	9月16日	周南市立菊川中学校
岩国市中央公民館 （装港地区）	高齢者セミナーさくら大学（東） 「人を育て、人と人を繋ぐ地域の架け橋 ～だから橋はオモシロイ！～」	地域住民	9月17日	岩国市東小中学校
下松市立下松小学校	防災出前授業	小学4年生	9月22日	下松市立下松小学校
長州科楽維新プロジェクト 運営委員会	周南ゆめ物語～かがくスクウェア～	一般	9月28日	下松タウンセンター
徳山駅前図書館	月での暮らしを、想像しよう	小学4～6年生 及び保護者	10月19日	徳山駅前図書館
光市環境市民部 地域づくり推進課	地域づくり市民講座 「私も大丈夫!?に備えるための防災実践ワーク」	地域住民	10月25日	光市地域づくり 支援センター
周南市役所地域福祉課	デザインレイアウト講座	周南市民生委員 児童委員協議会 情報誌編集委員会委員	11月4日	徳山高専
学校法人徳山中央幼稚園	STEAM型コンクリート出前授業	年長園児	11月7日	学校法人徳山中央幼稚園
周南市立遠石小学校	交通安全出前授業	小学5年生	11月12日	周南市立遠石小学校
光市立室積小学校	防災出前授業	小学4年生	11月13日	光市立室積小学校
岩国市中央公民館	月面基地開発一月の暮らしを考えようー	地域住民	12月19日	岩国市中央公民館
周南市立遠石小学校	自転車の交通安全教育	小学4年生	1月13日	周南市立遠石小学校
周南市立桜木小学校	防災出前授業	小学4年生	1月23日	周南市立桜木小学校
周南市立桜木小学校	プログラミング学習	小学6年生	2月25日	周南市立桜木小学校
周南市立德山小学校	プログラミング学習	小学6年生	2月27日	周南市立德山小学校

(5) 公的な機関からの依頼による各種委員会等（令和7年度）

Committee Member Posts Appointed by Public Organizations (2025)

依頼機関 Requested by ~	内容 Name of the Committee or the Course
国土交通省中国地方整備局	中国地方橋梁保全委員会委員 橋梁保全アドバイザー
国土交通省中国地方整備局	中国地方整備局総合評価審査委員会委員
国土交通省中国地方整備局	中国地方整備局総合評価審査委員会山口県部会委員
国立研究開発法人科学技術振興機構	大学発新産業創出基金事業「ディーテック・スタートアップ国際展開プログラム（D-Global）」「早晩プログラム」および研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム（START）プロジェクト推進型「SBIRフェーズ1支援」外部専門家
公立大学法人周南公立大学	教育研究審議会委員
山口県	山口県環境影響評価技術審査会委員
山口県	山口県土木建築部建設工事総合評価審査委員会委員
山口県	山口県屋外広告物審議会委員
山口県	山口県公共事業評価委員会委員
山口県	山口県文化財保護審議会委員
山口県	山口県大規模小売店舗立地協議会委員
山口県	外部アドバイザー（橋梁）
山口県	外部アドバイザー（橋梁）
山口県	外部アドバイザー（下水処理）
山口県	外部アドバイザー（建設環境）
山口県	外部アドバイザー（コンクリート）
山口県	外部アドバイザー（地盤基礎／法面・斜面）
岩国市	歴史的風致維持向上計画検討会委員
柳井市	柳井市都市計画審議会委員
田布施町	田布施町地域公共交通協議会委員
光市	光市環境審議会委員
光市	光市都市計画審議会委員
光市	光市都市再生推進協議会委員
光市	光市廃棄物減量等推進審議会委員
光市	光市文化財審議会委員
光市	光市防災会議委員
光市	光市地域公共交通協議会委員
光市	光市福祉有償運送運営協議会委員
下松市	下松駅周辺まちづくりエリアプラットフォーム参加者
下松市	下松市空家等対策協議会委員
下松市	下松市景観審議会委員
下松市	下松市住居表示審議会委員
下松市	下松市地域公共交通活性化協議会委員
下松市	下松市都市計画審議会委員
下松市	下松市都市再生推進協議会委員
下松市	下松市緑化審議会委員
周南市	学校運営協議会委員
周南市	環境活動推進部会委員
周南市	周南市空家等審議会委員
周南市	周南市行政改革審議会委員
周南市	周南市景観審議会委員
周南市	周南市建築審査会委員
周南市	周南市公共施設等LED証明導入事業プロポーザル評価会評価者
周南市	周南市国民保護協議会委員
周南市	周南市ごみ対策推進審議会委員
周南市	周南市市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画策定支援業務プロポーザル評価委員
周南市	周南市市民参画推進審議会委員
周南市	周南市人権施策推進審議会委員
周南市	周南市水素利活用協議会委員
周南市	周南市生成AI導入・支援業務委託プロポーザル評価会委員
周南市	周南市総合戦略会議委員
周南市	周南市男女共同参画審議会委員
周南市	周南市地域公共交通会議委員
周南市	周南市地理空間情報利用促進分科会委員
周南市	周南市都市計画審議会委員
周南市	周南市都市再生推進協議会委員
周南市	周南市都市再生整備計画事業評価委員会委員
周南市	周南市入札監視委員会委員
周南市	周南市文化・スポーツ活動推進協議会委員
周南市	周南市防災会議委員
周南市	周南市道の駅ソレーネ周南リニューアルに係る業者選定アドバイザー業務プロポーザル評価会委員
周南市	プロポーザル評価委員会評価者
周南市	周南市ウォーカーカブルなまちづくり推進協議会委員
周南市	周南市市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画に関する有識者会議委員
周南市	周南市都心軸景観デザイン方針作成業務委託プロポーザル評価会評価者
周南市	周南市木質バイオマス材利活用推進協議会委員
防府市	防府市空き家対策防府モデル事業選定委員会委員
防府市	防府市空家等対策協議会委員
防府市	防府市地域公共交通活性化協議会委員
防府市	防府市文化財審議会委員

(1) 学科定員及び現員 Quota and Enrollment in Departments

令和8年4月1日現在
As of April. 1. 2026

学 科 Department	区分 Classification	入学定員 Quota	1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	計 Total
機 械 電 気 工 学 科 Mechanical and Electrical Eng.		40	40(4)	52(7)	35(1) <1(0)>	44(7) <1(0)>	36(5) <1(0)>	207(24) <3(0)>
情 報 電 子 工 学 科 Computer Science and Electronic Eng.		40	41(10)	40(9)	41(15) <1(0)>	41(9) <1(1)>	36(4)	199(47) <2(1)>
土 木 建 築 工 学 科 Civil Eng. and Architecture		40	42(21)	43(20)	42(19)	43(17)	44(19)	214(96)
計 Total		120	123(35)	135(36)	118(35) <2(0)>	128(33) <2(1)>	116(28) <1(0)>	620(167) <5(1)>

() は女子学生内数 Female Students < > は外国人留学生内数 Foreign Students

(2) 専攻科定員及び現員 Quota and Enrollment in Advanced Course

令和8年4月1日現在
As of April. 1. 2026

専 攻 Course	区分 Classification	入学定員 Quota	1年 1st	2年 2nd	計 Total
機 械 制 御 工 学 専 攻 Mechanical and Control Engineering Course		4	4(1)	5(0)	9(1)
情 報 電 子 工 学 専 攻 Computer Science and Electronic Engineering Course		4	5(1)	3(0)	8(1)
環 境 建 設 工 学 専 攻 Environmental and Civil Engineering Course		4	6(2)	5(1)	11(3)
計 Total		12	15(4)	13(1)	28(5)

() は女子学生内数 Female Students

(3) 学科別入学志願者状況 Number of Applicants in Departments

区分 Classification		学 科 Department	機械電気工学科 ME	情報電子工学科 IE	土木建築工学科 CA	計 Total
令和6 2024	志願者 Applicants		72 (8)	135 (35)	100 (45)	307 (88)
	入学者 Students Admitted		40 (2)	40 (15)	42 (21)	122 (38)
	倍 率 Ratio of Competition		1.8	3.4	2.5	2.6
令和7 2025	志願者 Applicants		79 (8)	74 (17)	80 (39)	233 (64)
	入学者 Students Admitted		44 (6)	41 (9)	42 (19)	127 (34)
	倍 率 Ratio of Competition		2.0	1.9	2.0	1.9
令和8 2026	志願者 Applicants		65 (5)	81 (21)	87 (38)	233 (64)
	入学者 Students Admitted		40 (4)	40 (10)	41 (21)	121 (35)
	倍 率 Ratio of Competition		1.6	2.0	2.2	1.9

※倍率は定員に対する志願

() は女子学生内数 Female Students

(4) 専攻別入学志願者状況 Number of Applicants in Advanced Course

区分 Classification		専 攻 Course	機械制御工学専攻 MC	情報電子工学専攻 CE	環境建設工学専攻 EC	計 Total
令和6 2024	志願者 Applicants		7 (1)	8 (3)	6 (2)	21 (6)
	入学者 Students Admitted		4 (1)	7 (2)	6 (2)	17 (5)
令和7 2025	志願者 Applicants		8 (1)	5	8 (2)	21 (3)
	入学者 Students Admitted		5	3	5 (1)	13 (1)
令和8 2026	志願者 Applicants		6 (1)	10 (2)	8 (4)	24 (7)
	入学者 Students Admitted		4 (1)	5 (1)	6 (2)	15 (4)

() は女子学生内数 Female Students

(5) 本科出身地別在学学生数 Classification of Student Hometown

地域 Region	学年 Grade	1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	合計 Total
岩 国 市 Iwakuni		12 (5)	8 (1)	18 (8)	9 (2)	11 (3)	58 (19)
玖 珂 郡 Kuga		1 (0)		1 (0)		1 (0)	3 (0)
大 島 郡 Oshima			3 (1)			1 (0)	4 (1)
柳 井 市 Yanai		1 (0)	2 (0)	5 (3)	2 (0)	3 (1)	13 (4)
熊 毛 郡 Kumage		4 (2)	4 (0)	3 (1)	5 (0)	5 (0)	21 (3)
下 松 市 Kudamatsu		16 (1)	15 (3)	19 (6)	26 (6)	16 (2)	92 (18)
光 市 Hikari		14 (5)	16 (7)	18 (5)	12 (2)	13 (4)	73 (23)
周 南 市 Shunan		48 (12)	67 (21)	37 (8)	56 (20)	49 (15)	257 (76)
山 口 市 Yamaguchi		9 (2)	7 (1)	1 (0)	4 (1)	5 (1)	26 (5)
防 府 市 Hohu		9 (4)	10 (1)	11 (2)	8 (0)	10 (2)	48 (9)
宇 部 市 Ube			1 (1)	1 (1)	1 (0)		3 (2)
山陽小野田市 Sanyoonoda					1 (0)		1 (0)
下 関 市 Shimonoseki		3 (1)	1 (0)		1 (1)	1 (0)	6 (2)
萩 市 Hagi				1 (0)	1 (0)		2 (0)
長 門 市 Nagato		1 (1)					1 (1)
広 島 県 Hiroshima Pref.		2 (0)		1 (1)			3 (1)
愛 媛 県 Ehime Pref.			1 (0)				1 (0)
島 根 県 Shimane Pref.		3 (2)					3 (2)
外国人留学生 Foreign students				2 (0)	2 (1)	1 (0)	5 (1)
計 Total		123 (35)	135 (36)	118 (35)	128 (33)	116 (28)	620 (167)

() は女子学生内数 Female Students

(6) 修学経費 (令和8年度) Tuition Fee (2026)

学科入学生 For the Students of Regular Course

入 学 料	84,600円	実習服・製図用具等	約 39,000円
授 業 料 (年 額)	234,600円	日本スポーツ振興センター掛金	1,550円
教 科 書	約 45,000円	そ の 他 諸 経 費	約 60,000円
体 育 服 等	約 22,000円	合 計	約 486,750円

Entrance Fee(84,600 yen),Tuition(234,600 yen), Textbooks(approx. 45,000 yen),Sports Wear etc.(approx. 22,000yen), Trainee Uniform and Drawing Gear etc.(approx. 39,000 yen),Insurance(1,550 yen),Other expenses(approx. 60,000 yen),Total(approx. 486,750 yen).

専攻科入学生 For the Students of Advanced Course

入 学 料	84,600円	教 科 書 等	約 30,000円
授 業 料 (年 額)	234,600円	日本スポーツ振興センター掛金	1,550円
		そ の 他 諸 経 費	約 35,000円
		合 計	約 385,750円

Entrance Fee(84,600 yen),Tuition(234,600 yen), Textbooks etc. (approx. 30,000 yen),Insurance(1,550 yen),Other expenses(approx. 35,000 yen),Total(approx. 385,750 yen).

(7) 高等学校等就学支援金制度 High School Tuition Support Fund System

国立高等専門学校(1~3年生)も本制度の対象となっており、保護者等全員の「課税標準額(課税所得額)×6% -市町村民税の調整控除額」の合計額が304,200円未満の世帯に「就学支援金」が支給されます。(令和7年度現在)

First, second and third-year students at national colleges of technology are eligible for the government support fund. The sum of the student's guardians etc. {standard amount of taxation (taxable income) × 6% - the deductible amount from the resident tax }, is less than 304,200yen are eligible for curriculum fee assistance from the "Tuition Support Fund".(As of 2025 fiscal year)

(8) 奨学制度 Student Financial Services

経済的理由により修学が困難な学生に学資を貸与又は給付する各種の奨学制度があります。代表的なものに日本学生支援機構の奨学制度があり、人物・学業に優れた学生に貸与もしくは給付されます。

There are mainly two types of scholarships. One is JASSO scholarship and the other is Local scholarship.

本科奨学生 (令和7年度)

For the students of Regular Course (2025)

区分 Classification	学年 Grade	1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	計 Total
日本学生支援機構 JASSO scholarship	貸与 Financial Aid	3	1		2	6	12
	給付 Grant				30	26	56
その他奨学制度 Others		2	1	3	6	10	22
計 Total		5	2	3	38	42	90

専攻科奨学生 (令和7年度)

For the students of Advanced Course (2025)

区分 Classification	学年 Grade	1年 1st	2年 2nd	計 Total
日本学生支援機構 JASSO scholarship	貸与 Financial Aid			
	給付 Grant	1	2	3
その他奨学制度 Others		1	1	2
計 Total		2	3	5

(9) 授業料減免制度 Reduction of the Tuition Fee System

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生は、一定の学力基準を満たせば、授業料の満額もしくは3分の2、3分の1の額が免除もしくは減額され、同時に、日本学生支援機構給付奨学金も併せて支給されます。

For students with good grades but financial difficulties, there is a system to reduce the tuition fee by one-third, two-thirds or the full amount.

外部からの学生の受け入れ

Acceptance of Foreign Students and Transferees

令和8年4月1日現在
As of April. 1. 2026

(1) 外国人留学生(3年次編入)及び編入学生(4年次編入) Foreign Students and Transferees

学 年 Year	学 科 Department	外国人留学生(編入) Foreign Students	編入生 Transferees	
本 科 Course	3年 3rd	機械電気工学科 Mechanical and Electrical Eng.	モンゴル 1 Mongolia	
		情報電子工学科 Computer Science and Electronic Eng.	マレーシア 1 Malaysia	
		土木建築工学科 Civil Eng. and Architecture		
	4年 4th	機械電気工学科 Mechanical and Electrical Eng.	タイ 1 Thailand	
		情報電子工学科 Computer Science and Electronic Eng.	インドネシア 1 (1) Indonesia	1
		土木建築工学科 Civil Eng. and Architecture		
	5年 5th	機械電気工学科 Mechanical and Electrical Eng.	タイ 1 Thailand	
		情報電子工学科 Computer Science and Electronic Eng.		
		土木建築工学科 Civil Eng. and Architecture		
計 Total		5 (1)	1	

() は女子学生内数 Female Students

(2) 編入学生志願状況 Number of Applicants of Transfer

区分 Classification		学 科 Department	機械電気工学科 ME	情報電子工学科 IE	土木建築工学科 CA	計 Total
令和5 2023	志願者 Applicants		1	1	1 (1)	3 (1)
	入学者 Students Admitted		0	0	1 (1)	1 (1)
令和6 2024	志願者 Applicants		3			3
	入学者 Students Admitted		0			0
令和7 2025	志願者 Applicants			1		1
	入学者 Students Admitted			0		0
令和8 2026	志願者 Applicants			1		1
	入学者 Students Admitted			1		1

() は女子学生内数 Female Students

(3) 研究生及び聴講生制度 Research Students and Auditors

特定の研究あるいは専門事項の研究を希望する場合は、研究生として、また、一般科目及び専門科目の授業を聴講したい場合は、聴講生として入学を許可する制度があります。

国際交流

International Exchange

本校ではこれまで多様な海外派遣プログラムを構築し、学生の海外研修への参加や海外留学を奨励してきました。一方で、海外協定校からの学生招致も積極的に行い、2014年度以降、約100名以上もの短期留学生を受け入れてきました。これら以外にも、学生が国際化に対応する言語能力や国際感覚を身に付け、国際社会に貢献できる人材へと成長してくれるよう、現在でも様々な取り組みを行っています。

We have developed various outbound programs and encouraged students to join these programs and study overseas. On the other hand, we also have actively recruited students from international partner institutions for short-term study, resulting in, as of present, over 100 students since 2014. Besides these examples, currently we are making a wide range of attempts to cultivate students' language skills and international outlooks so that they will grow up to contribute to the international community.

令和7年度海外派遣および海外協定校受入実績

派遣プログラム Outbound Program	人数	期間
マレーシアインターンシップ Panasonic Automotive Systems Malaysia	5名	夏休み
タイ・サイエンスフェア Thai-Japan Student Science Fair (TJ-SSF)2025	2名	12/15 ~12/20
タイ研修プログラム KOSEN-KMITL	4名	春休み
シンガポール研修プログラム Singapore Polytechnic	11名	春休み
フィリピン・セブ島語学研修 Joyful Education Center	5名	夏休み 春休み

受入プログラム Inbound Program	人数	期間
シンガポール・ポリテクニク Singapore Polytechnic	14名	10日間 程度

海外協定校 International Partner Institutions
ウボン・ラーチャタニ・ラーチャパット大学 (タイ) Ubon Ratchatani Rajabhat University
キングモンクット工科大学トンブリ校 (タイ) King Mongkut's University of Technology Thonburi
正修科技大學 (台湾) Cheng Shiu University
大連東軟信息学院 (中国) Dalian Neusoft University of Information
スラバヤ電子工学ポリテクニク (インドネシア) Politeknik Elektronika Negeri Surabaya (PENS)
文藻外語大学 (台湾) Wenzao Ursuline University of Languages
ウダヤナ大学 (インドネシア) Udayana University
エンデランカレッジ (フィリピン) Enderun Colleges
マラ工科大学 (マレーシア) Universiti Teknologi Mara
國立聯合大学 (台湾) National United University
タイ高専KMUTT (タイ) King Mongkut's University of Technology Thonburi
モンゴル科学技術大学附属高等専門学校 (モンゴル) College of Technology (KOSEN) of Must
ウムヌゴビ高等専門学校 (モンゴル) Technology Institute In Umnugobi of Must
エルデネット高等専門学校 (モンゴル) Erdenet Institute of Technology of Must
タイ高専KMITL (タイ) Kosen Institute of King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang
プリンセス・チュラポーン科学高校 サケーオ校 (タイ) Princess Chulabhorn Science High School Sa Kaeo
モンゴル工業技術大学附属モンゴルコーセン技術カレッジ (モンゴル) Institute of Engineering and Technology, Mongol Koosen College of Technology
NTIストックホルム・オーデンプラン校 (スウェーデン) NTI Stockholm Odenplan



学 寮

Dormitory

学内に鉄筋コンクリート造4階建ての学寮「高城寮」(男子定員120名、女子定員31名(外国人留学生を含む))があり、「自立の志が高い人」を受け入れています。充実した生活環境の中で勉学や課外活動にも集中でき、時間を有効に活用した学生生活を楽しむことができます。令和元年度に大規模改修が実施され、居室や一部の共通スペースが新しく生まれ変わりました。

入寮は書類(場合によっては面接)選考により、「入寮の目的、向学意欲、適性」を確認した上で受け入れを許可しています。専攻科の学生も入寮を希望することができますが、入寮を認められた場合、寮生活の全般にわたって本科の寮生と同じ学寮日課、学寮諸規則を守らなければなりません。

We have a dormitory "Takajo-Ryo" on the campus. It can accommodate 120 male students and 31 female students. It accepts students who want to be independent. Foreign students can also live in the dormitory. Since dormitory renovation was implemented in the second half of 2019, all residential rooms and some common spaces were renewed and became more comfortable.

Dormitory students can lead an orderly, enjoyable and full life, surrounded with excellent facilities and equipment. Since they don't have to spend time traveling to school, they have enough time not only to devote themselves to extracurricular activities but also to concentrate on studying in a nice, quiet environment.

If you want to live in the dormitory, you need to submit an application form. Based on the application form or on an interview in some cases, whether you are suitable as a dormitory student or not is judged.

Advanced-course students can also apply to be admitted as a dormitory student. They are admitted as long as they observe all the rules in the dormitory that regular-course students have to obey.

(1) 本科寮生 Regular-course students

令和8年4月1日現在
As of April. 1, 2026

区 分	1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	計 Total
在学者数 Number of Students	123(35)	135(36)	118(35)	128(33)	116(28)	620(167)
入寮者数 Number of Boarders	25(10)	23(3)	27(8) < 2(0)>	18(3) < 2(1)>	21(7) < 1(0)>	114(31) < 5(1)>

() は女子学生内数 Female Students < > は外国人留学生内数 Foreign Students

(2) 専攻科寮生 Two-year advanced-course students

区 分	1年 1st	2年 2nd	計 Total
在学者数 Number of Students	15 (4)	13 (1)	28 (5)
入寮者数 Number of Boarders	0 (0)	0 (0)	0 (0)

() は女子学生内数 Female Students

(3) 学寮経費 Expenses

種 別	金 額
寄 宿 料(月額)	700円、800円
寮費(光熱水費・雑費)(月額)	8,000円
寮費(空調機維持管理費)(半期)	3,000円
食費材料費(1日)	920円
食費諸経費(月額)	15,030円
入 寮 費(入寮時)	1,000円
寮 生 会 費(年額)	1,500円



高城寮の前景 Front View of Takajo-Ryo



居室の一例 An example of single room

学生会

Student Council

学生会組織図

Organization of Student Council



学校行事

College Calendar

学年は前期と後期の2学期制です。

The academic year is divided into two semesters.

前期

First Semester

令和8年		2026	
4月 1日(水)	春季休業	April	Spring Vacation
4月 2日(木)	第53回入学式・第32回専攻科入学式		Entrance Ceremony
4月 3日(金)	前期始業・オリエンテーション		Opening of First Semester ・ Orientation
4月 6日(月)	前期授業開始		First semester classes start
4月21日(火)	1年生研修		Freshmen's Orientation Days
5月 8日(金)	クラスマッチ	May	Spring Field Day
6月 1日(月)～ 6月 9日(火)	前期中間試験(特別時間割期間を含む)	June	Midterm Examinations
6月 7日(日)	開校記念日		School's Anniversary
7月 3日(金)～ 7月 5日(日)	中国地区高専体育大会	July	Chugoku District Intercollegiate Sports Competition
7月27日(月)～ 7月31日(金)	前期末試験		Term End Examinations
8月 7日(金)	前期終業	August	Closing of First Semester
8月 8日(土)～ 9月29日(火)	夏季休業		Summer Vacation

後期

Second Semester

9月27日(日)	高専ロボットコンテスト中国地区大会(松江高専)	September	Chugoku District Intercollegiate Robot Contest
9月30日(水)	後期始業・後期授業開始		Opening of the Second Semester, Second semester
10月 7日(水)	クラスマッチ	October	Autumn Field Day
10月10日(土)～10月11日(日)	全国高専プログラミングコンテスト(香川高専)		National Intercollegiate Programming Contest
10月30日(金)	高専祭準備		Preparation for College Festival
10月31日(土)～11月 1日(日)	高専祭		College Festival
11月 2日(月)	臨時休業	November	Holiday
11月 7日(土)～11月 8日(日)	全国高専デザインコンペティション(函館高専)		National Intercollegiate Design Competition
11月15日(日)	高専ロボットコンテスト全国大会(両国国技館)		National Intercollegiate Robot Contest
11月30日(月)～12月 8日(火)	後期中間試験(特別時間割期間を含む)		Midterm Examinations
12月25日(金)～ 1月 5日(火)	冬季休業	December	Winter Vacation
令和9年		2027	
1月23日(土)～24日(日)	全国高専英語プレゼンテーションコンテスト(オリセン)	January	National Intercollegiate English presentation Contest
2月 4日(木)～10日(水)	後期末試験	February	Term End Examinations
2月15日(月)	臨時休業		Holiday
2月19日(金)	後期終業		Closing of Second Semester
2月20日(土)～	春季休業		Spring Vacation
3月19日(金)	第49回卒業式・第31回専攻科修了式	March	Graduation Ceremony

就職・進学状況

Employment and Entering to Universities

(1) 求人及び進路状況 (令和7年度) Job offers and Classification of Graduates (2025)

区分 Classification		卒業生数 Graduates	就職者 Applicants for Employment	進学者 Admission into Univ.	その他 Number of the Others	求人数 Number of Job Offered	求人倍率 Rate of Post Offered
学科 Department							
本科	機械電気工学科 ME	35 (4)	29 (3)	6 (1)	0 (0)	695	24.0
	情報電子工学科 IE	35 (8)	20 (6)	15 (2)	0 (0)	656	32.8
	土木建築工学科 CA	43 (20)	27 (12)	15 (7)	1 (1)	481	17.8
専攻科	機械制御工学専攻 MC	4 (1)	3 (0)	1 (1)	0 (0)	641	213.7
	情報電子工学専攻 CE	7 (2)	4 (2)	3 (0)	0 (0)	614	153.5
	環境建設工学専攻 EC	6 (2)	6 (2)	0 (0)	0 (0)	442	73.7
計		130 (37)	89 (25)	40 (11)	1 (1)	3,529	39.7

() 内は女子学生内数 Female Students 外国人留学生を含む Including Foreign Students

(2) 就職先 (令和7年度) Employment (2025)

※50音順

機械電気工学科	旭化成(株)、関西電力(株)、鋼鉄工業(株)、サントリーホールディングス(株)、新明和工業(株)、ダイキン工業(株)、大晃機械工業(株)、武田薬品工業(株)、帝人(株)、(株)東芝、東ソー・エスジーエム(株)、東ソー・ハイテック(株)、(株)トクヤマ、日本ゼオン(株)、富士フイルムホールディングス(株)、フードテクノエンジニアリング(株)、Primetals Technologies Japan (株)、プラザー工業(株)、(株)三井E&S、三菱ケミカルグループ(株)、三菱重工業(株)、三菱電機(株)電子通信システム製作所、山口県産業技術センター
情報電子工学科	アイテック阪急阪神(株)、(株)NTTデータMSE、(株)NTTデータフロンティア、大村印刷(株)、(株)科学情報システムズ、独立行政法人国立印刷局、サントリー食品インターナショナル(株)、JFEエンジニアリング(株)、四国電力(株)、島津プレジジョンテクノロジー(株)、ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株)、ソフトバンク(株)、ダイキン工業(株)、東海旅客鉄道(株)、東ソー情報システム(株)、トーテックアモニティ(株)、(株)トプコン、(株)日立アドバンスドシステムズ、(株)日立情報通信エンジニアリング、富士電機(株)
土木建築工学科	青木あすなる建設(株)、あおみ建設(株)、川田工業(株)、(株)鴻池組、(株)シーエム・エンジニアリング、ショーボンド建設(株)、新日本空調(株)、大成建設(株)、(株)竹中工務店、中国電力(株)、中電技術コンサルタント(株)、東海旅客鉄道(株)、西日本高速道路(株)、(株)乃村工藝社、(株)横河ブリッジ、宇部市役所、下松市役所、柳井地域広域水道企業団、周南市役所、広島市役所、廿日市市役所
機械制御工学専攻	西日本旅客鉄道(株)、Primetals Technologies Japan (株)、メタウォーター(株)
情報電子工学専攻	(株)西京銀行、(株)ドコモCS中国、(株)日立ソリューションズ、(株)日立ハイテク
環境建設工学専攻	ヴェオリア・ジェネッツ(株)、(株)シーエム・エンジニアリング、日本工営(株)、日本工営都市空間(株)、復建調査設計(株)、国土交通省中国地方整備局

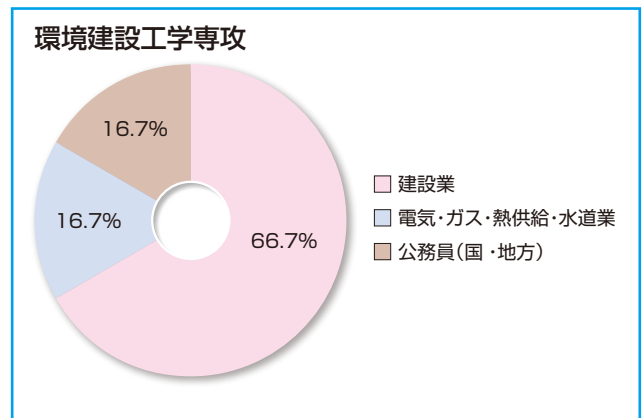
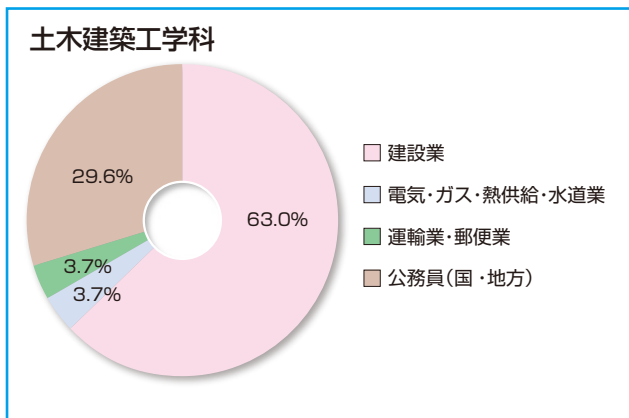
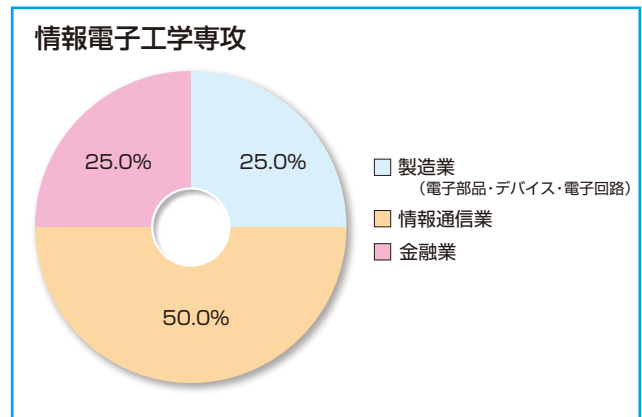
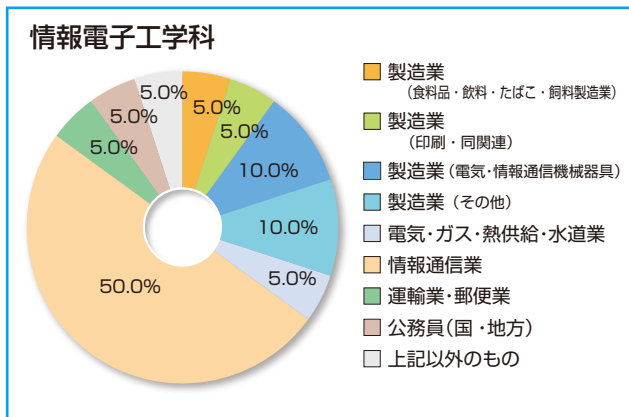
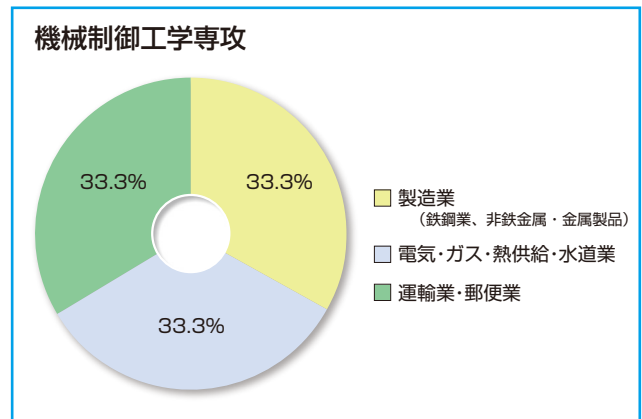
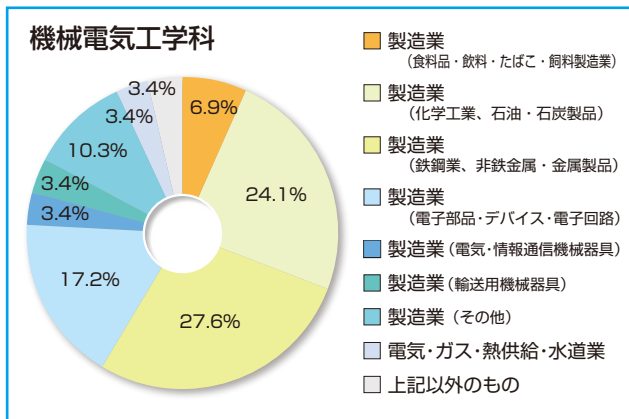
(3) 進学 (編入学) 状況 (令和7年度) Entrance to Universities (2025)

大学・専攻科	本科			専攻科			計 Total
	機械電気工学科 ME	情報電子工学科 IE	土木建築工学科 CA	機械制御 MC	情報電子 CE	環境建設 EC	
北海道大学		1					1 (0) <0>
東京大学		2					2 (0) <0>
東京都立大学		1 <1>	1				2 (0) <1>
横浜国立大学		1	2 (2)				3 (2) <0>
長岡技術科学大学		1					1 (0) <0>
豊橋技術科学大学			1 (1)				1 (1) <0>
三重大学		1	1				2 (0) <0>
滋賀県立大学			1 (1)				1 (1) <0>
大阪大学		1	1				2 (0) <0>
広島大学	1		1 <1>				2 (0) <1>
香川大学		1					1 (0) <0>
九州工業大学		1 (1)					1 (1) <0>
九州大学	1		1 (1)				2 (1) <0>
徳山工業高等専門学校専攻科	4 (1)	5 (1)	6 (2)				15 (4) <0>
東京科学大学物質理工学院				1 (1)			1 (1) <0>
奈良先端科学技術大学院大学					1		1 (0) <0>
広島大学大学院先進理工系科学研究科					1		1 (0) <0>
九州工業大学大学院生命体工学研究科					1		1 (0) <0>
計	6 (1) <0>	15 (2) <1>	15 (7) <1>	1 (1) <0>	3 (0) <0>	0 (0) <0>	40 (11) <2>

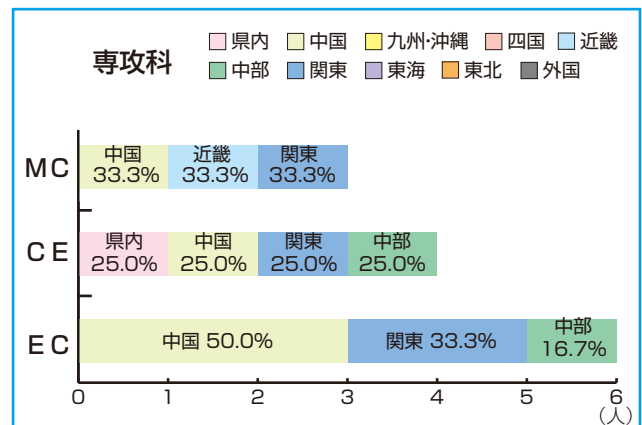
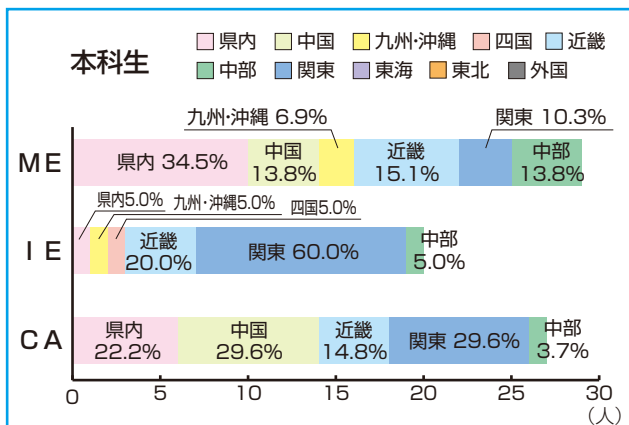
() は女子学生内数 Female Students < > は外国人留学生内数 Foreign Students

(4) 職種・就職先地域 (令和7年度) Job Classification and The Area of the Employment (2025)

【職種】



【就職先地域】

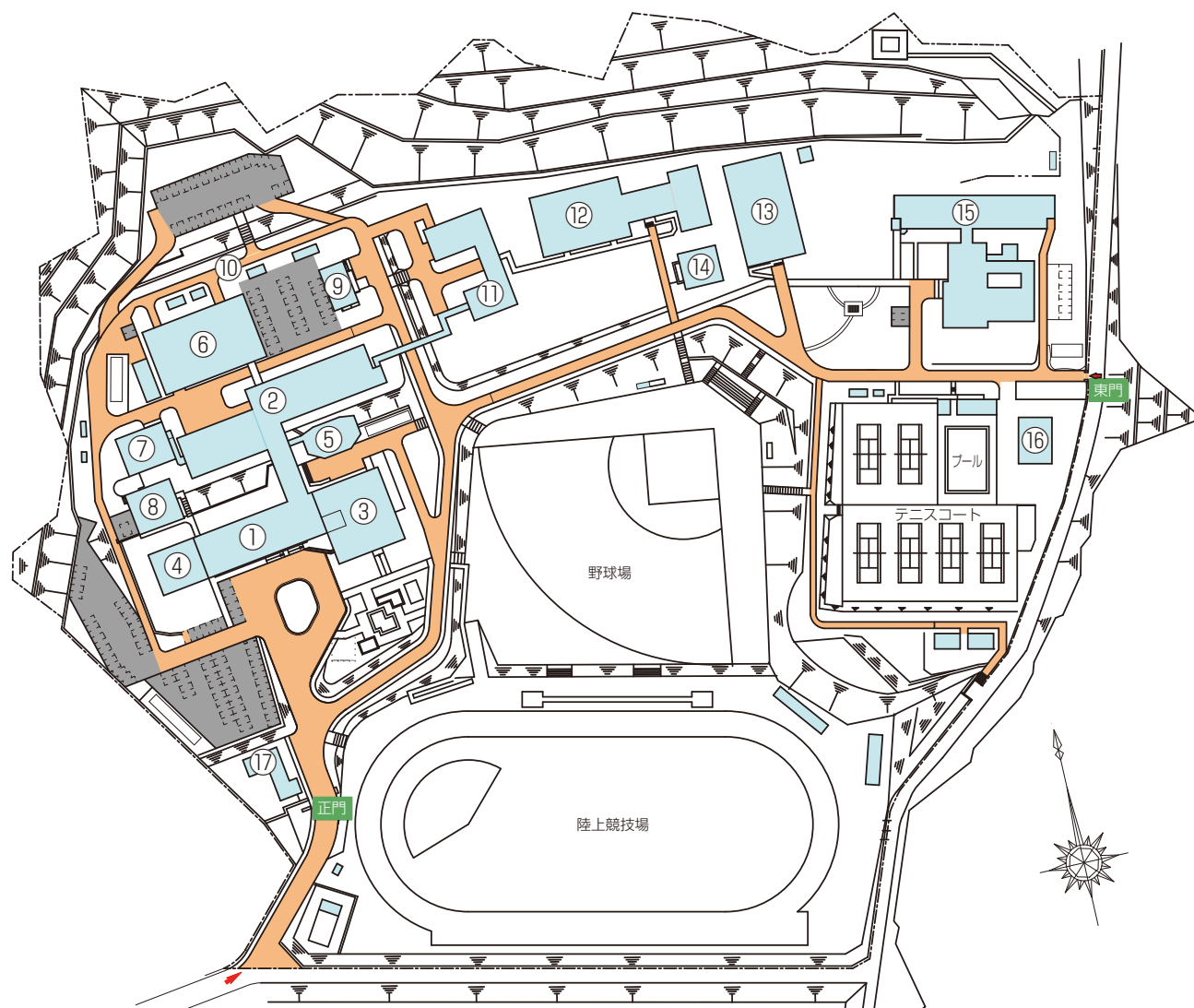


ME：機械電気工学科 IE：情報電子工学科
CA：土木建築工学科

MC：機械制御工学専攻 CE：情報電子工学専攻
EC：環境建設工学専攻

キャンパスマップ

Campus Map

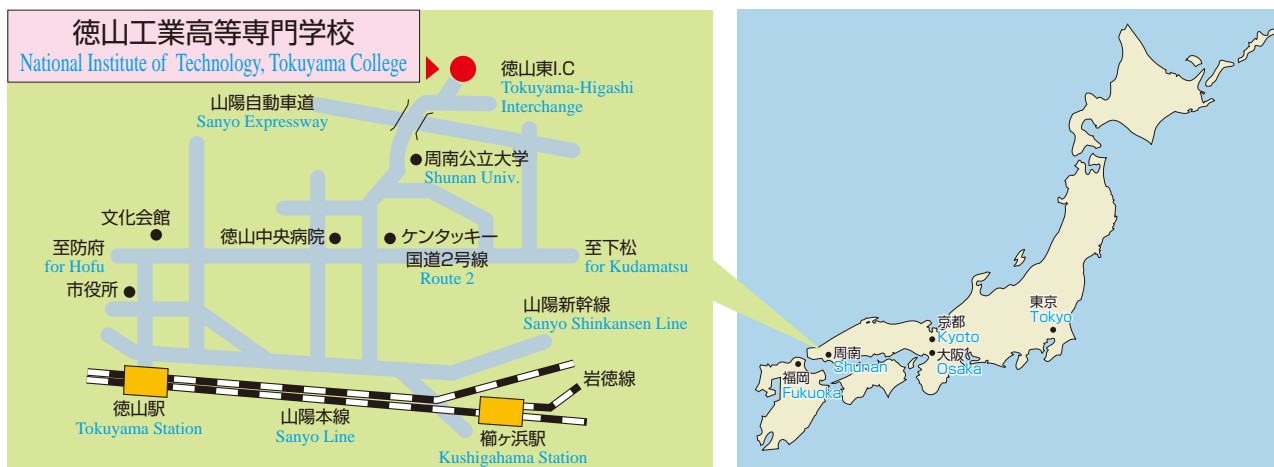


- ①教室・管理棟
General Education and Administration Office Building
- ②専門科目棟
Engineering Department Building
- ③図書館
Library
- ④情報処理センター
Information Processing Center
- ⑤メディアホール
Audio-visual Building
- ⑥クリエイションセンター
Creation Center
- ⑦専攻科棟
Advanced Course Building
- ⑧テクノ・リフレッシュ教育センター
Center for Collaborative Research and Education
- ⑨実験実習棟
Building for Practice and Experiments

- ⑩土石流実験室
Laboratory for Avalanche of Earth and Rocks
- ⑪福祉厚生センター
Welfare Facilities
- ⑫体育館・武道場
Gymnasium(1st) and Budo Hall
- ⑬第2体育館
Gymnasium(2st)
- ⑭柔道場
Judo Hall
- ⑮高城寮
Dormitory
- ⑯合宿研修施設
Training Institute
- ⑰車庫・守衛所
Garage and Guard Room

学校所在地

Location Map



学校への交通機関

- バス** JR徳山駅前から防長交通バス「徳山高専」行に乗車、「徳山高専」下車
「久米温泉口」行に乗車、「大学高専下」下車、徒歩10分
JR櫛ヶ浜駅前から防長交通バス「徳山高専」行に乗車、「徳山高専」下車
- 自動車** 山陽自動車道徳山東インターから約5分
- タクシー** JR徳山駅から約15分
JR櫛ヶ浜駅から約10分

By Railroad

Take the Sanyo Line or Sanyo Sinkansen Line and get off at Tokuyama Station.

Take a Bocho Bus bound for Kosen, it will take you directly to the school.

If you take a bus bound for Kume Onsenguchi, get off at Daigaku-Kosenshita bus stop and walk up the slope for ten minutes.

By Car

Take the Sanyo Expressway to exit No.37, Tokuyama-Higashi. It takes only five minutes from the exit to the school.

周南市の紹介

Guide to Shunan City

平成の大合併の中、平成15年4月、徳山・新南陽・熊毛・鹿野の2市2町が山口県内先駆けとなる合併を実現し、「周南市」が誕生しました。

周南市は、県東南部に位置する656.29km²のまちで、北に中国山地を背に、南に瀬戸内海を臨み、その海岸線に沿って、県経済を牽引する大規模工業が立地し、それに接して東西に比較的幅の狭い市街地が続いています。北側には、なだらかな丘陵地が広がり、その背後の広大な山稜には農山村地帯が散在しています。また、島しょ部は、瀬戸内海国立公園区域にも指定されており、美しい自然景観を有しています。

また、地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的として、周南市・周南公立大学・徳山高専が連携協力に関する協定を平成18年度に締結し、「産業の振興」「教育・文化・スポーツの振興」「保健福祉の充実」「都市環境の向上」など、さまざまな協働事業を実施しています。

During the Great Heisei-Era Merger, in April 2003, Tokuyama City, Shinnanyo City, Kumage Town and Kano town merged to form Shunan City.

Our city is located in the southeast of Yamaguchi Pref., facing the Chugoku mountains to the north and Inland Sea to the south. Along the coast, there are a number of major industrial companies. Behind this industrial area the long narrow strip of the city center spreads from east to west. To the north of the city lie gentle hills and there are farming areas and mountain villages scattered behind vast ridges. In addition, the beautiful natural environment is surrounded by islands, which are designated as Setonaikai national park.

In 2007 Shunan city made an arrangement to collaborate with Tokuyama Kosen and Shunan University on making contributions to develop the community and nurture human resources. Together they have worked on a variety projects such as promotion of industry, promotion of education, culture, sports, health and improvement of city environment.

写真提供：周南市役所



令和8年度 徳山高専学校要覧

令和8年4月発行

発行 徳山工業高等専門学校 総合企画室

印刷 株式会社新周南クリエイティブワークス



本校の「設計情報工学」プログラムは、日本技術者教育認定機構 (JABEE) からの認定を受けています。



COLLEGE OF TECHNOLOGY
ACCREDITED
March 2026

本校は、令和7年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認証評価を受け、認証評価基準を満たしていると認定されました。平成18年度に同機構による認証評価を得ており、引き続き認定されたものです。

独立行政法人国立高等専門学校機構

徳山工業高等専門学校

National Institute of Technology, Tokuyama College

所在地 〒745-8585 山口県周南市学園台
代表 TEL (0834) 29-6200 FAX (0834) 28-7605
U R L <https://www.tokuyama.ac.jp/>

National Institute of Technology, Tokuyama College

Address Gakuendai, Shunan City,
Yamaguchi Prefecture, Japan 745-8585

Telephone +81-834-29-6200

Facsimile +81-834-28-7605